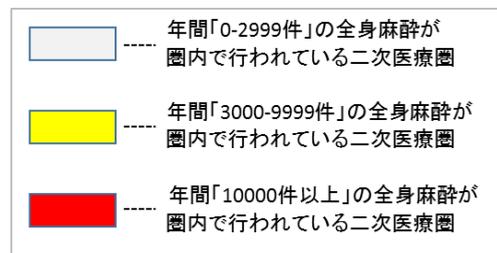
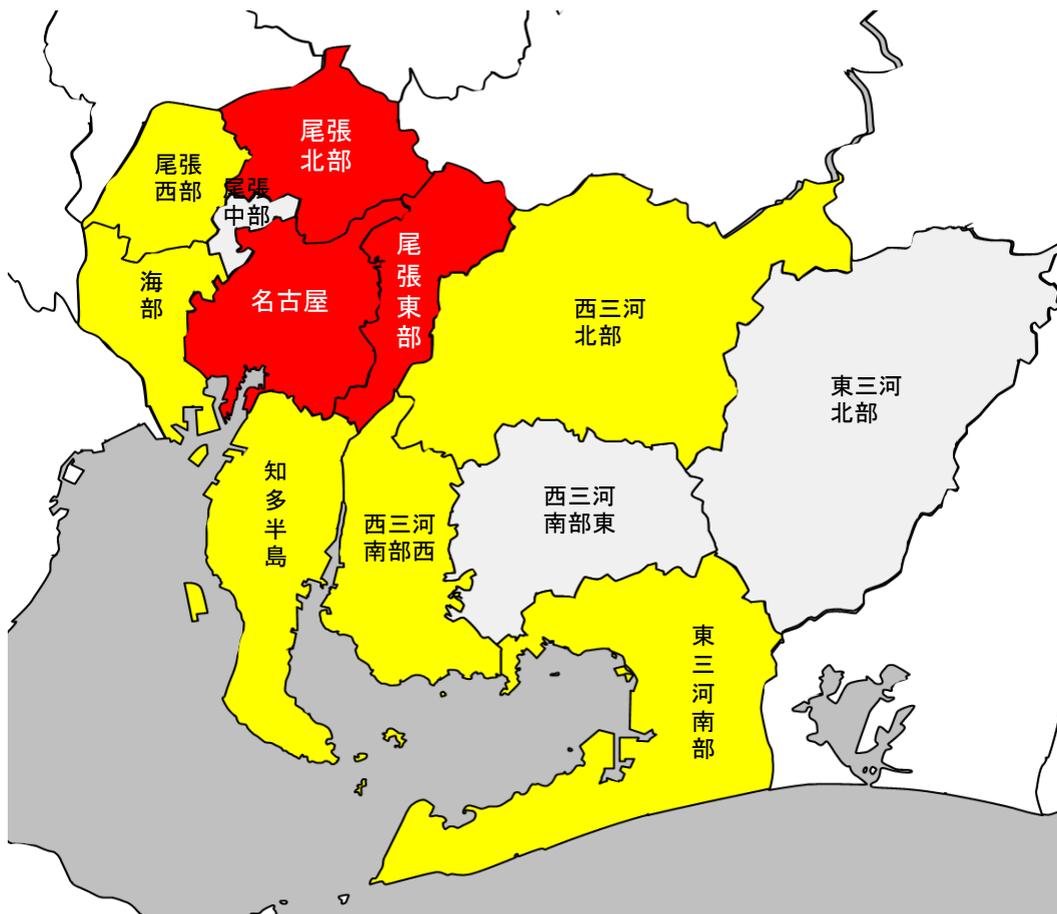


# 23. 愛知県

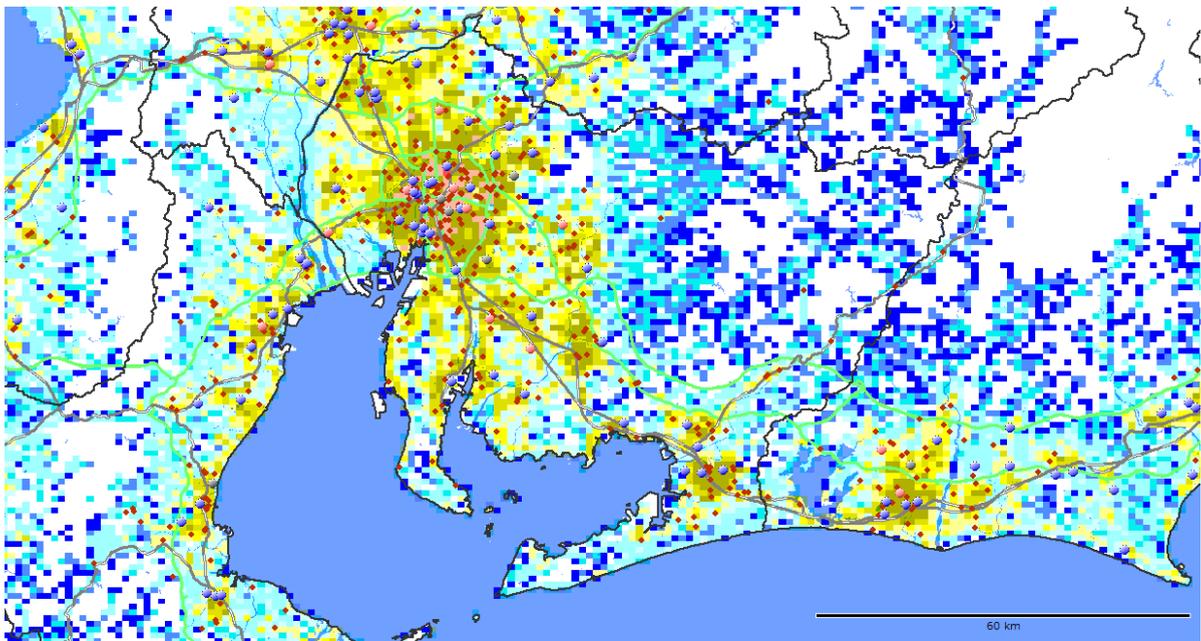


目次

愛知県	23	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	23	-	8
1. 名古屋医療圏	23	-	26
2. 海部医療圏	23	-	31
3. 尾張中部医療圏	23	-	36
4. 尾張東部医療圏	23	-	41
5. 尾張西部医療圏	23	-	46
6. 尾張北部医療圏	23	-	51
7. 知多半島医療圏	23	-	56
8. 西三河北部医療圏	23	-	61
9. 西三河南部西医療圏	23	-	66
10. 西三河南部東医療圏	23	-	71
11. 東三河北部医療圏	23	-	76
12. 東三河南部医療圏	23	-	81

# 23. 愛知県

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (愛知県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 愛知県は、総人口約7470千人(2015年推計)、面積5164km<sup>2</sup>、人口密度は1447人/km<sup>2</sup>である。

\*人口の将来予測： 愛知県の総人口は2025年に7348千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に6856千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の817千人が、2025年にかけて1166千人へと増加し(2015年比+43%)、2040年には1203千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 愛知県の一人当たり医療費(国保)は294千円(偏差値44)、介護給付費は225千円(偏差値42)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 愛知県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.82、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.7で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が46(病院医師数46、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は45で診療所数はやや少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 愛知県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、71507人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が44211床(偏差値46)、高齢者住宅等が27296床(偏差値46)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、54833人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム49、軽費ホーム48、グループホーム47、サ高住45である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、11040人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-54%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

愛知県の総人口は、2005年7254704人が、2015年に7470407人と3%増加し、2025年の人口が7348135人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

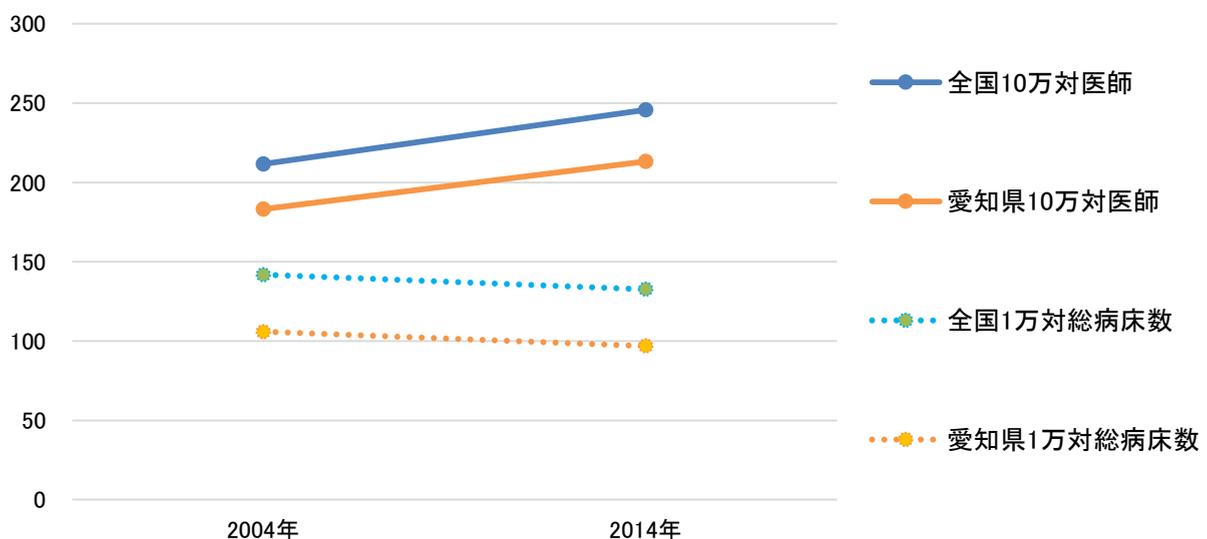
2004年の病院数が353(人口10万人当たり4.9病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に321(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で32病院が減少した。

2004年の診療所数が4707(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に5227(人口10万人当たり70診療所(全国平均79)偏差値45)と、520診療所が増加した。

2004年の総病床数が76799床(人口1万人当たり106(全国平均142)偏差値44)であったが、2014年に72404床(人口1万人当たり97(全国平均133)偏差値44)と、4395床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が13295人(人口10万人当たり183人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に15927人(人口10万人当たり213人(全国平均246人)偏差値47)と、2632人の増加、率にして20%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

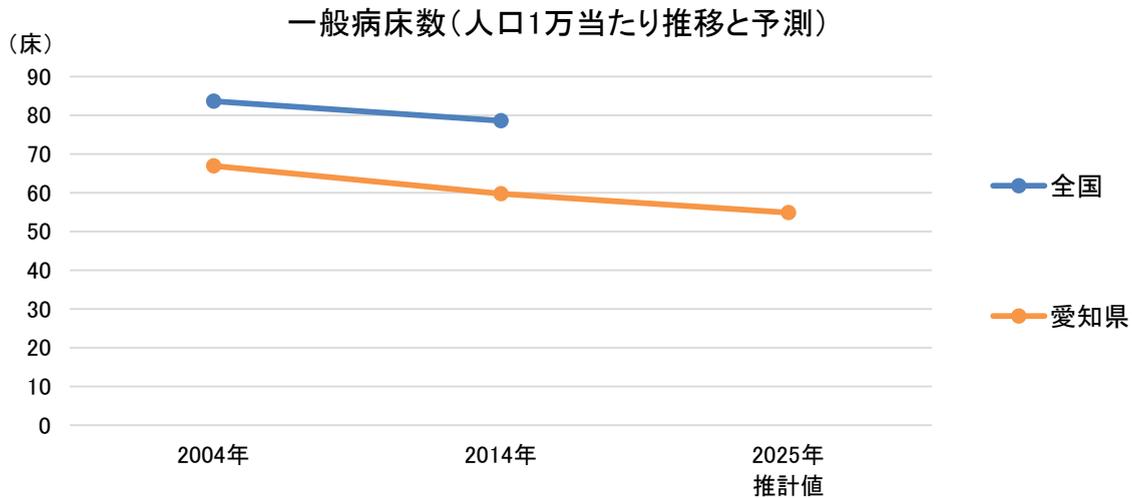
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



## 23. 愛知県（2016年版）

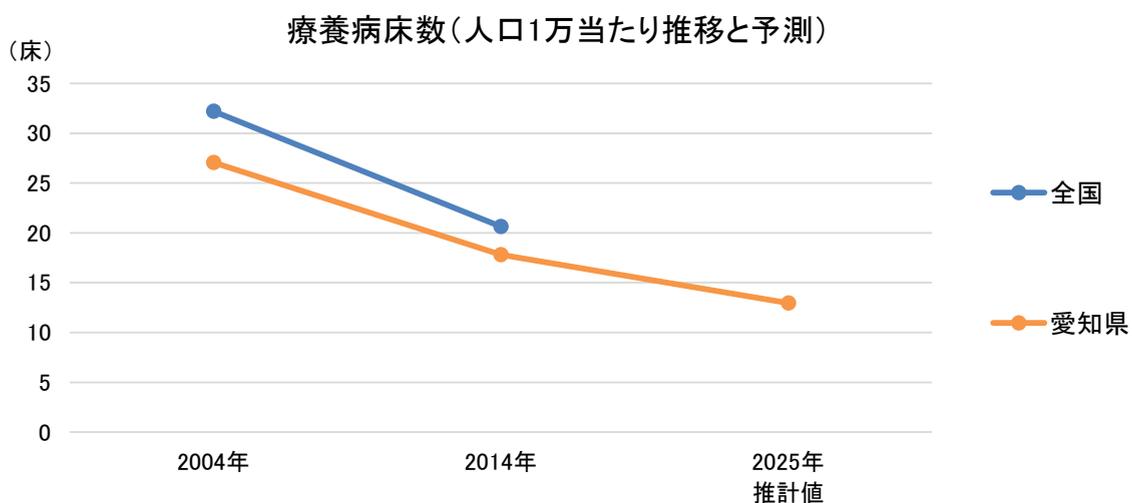
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が48556床(人口1万人当たり67(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に44631床(人口1万人当たり60(全国平均79)偏差値43)と、3925床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には40315床(2025年の推計人口1万人当たり55)になることが予想される。



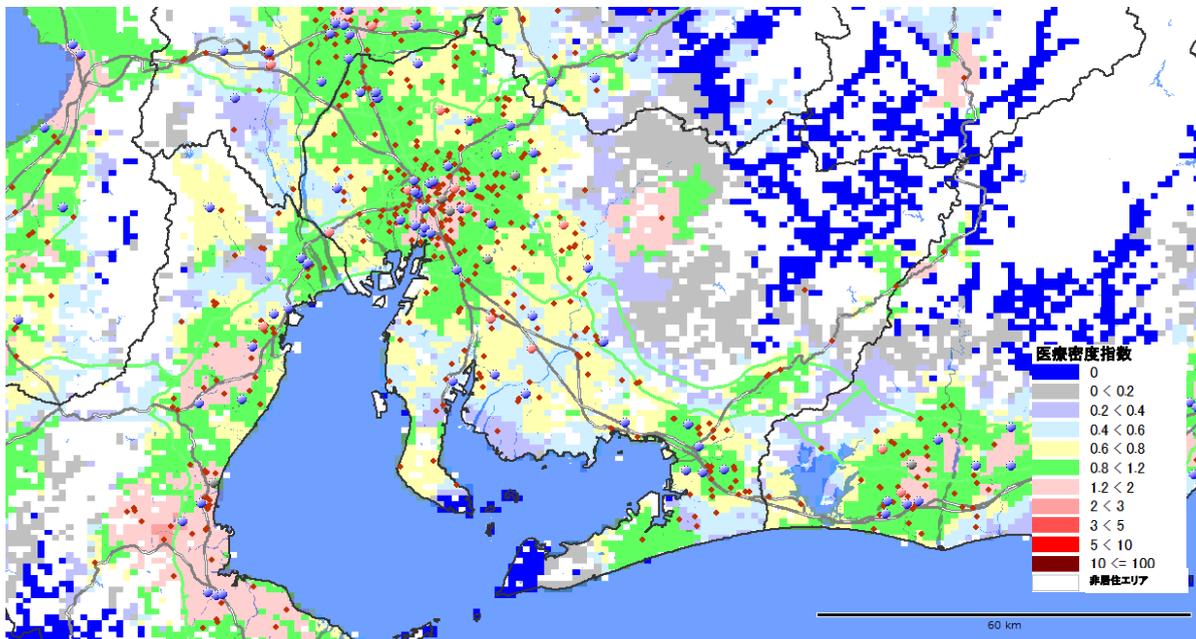
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が14021床(75歳以上1000人当たり27(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に14538床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、517床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には15106床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

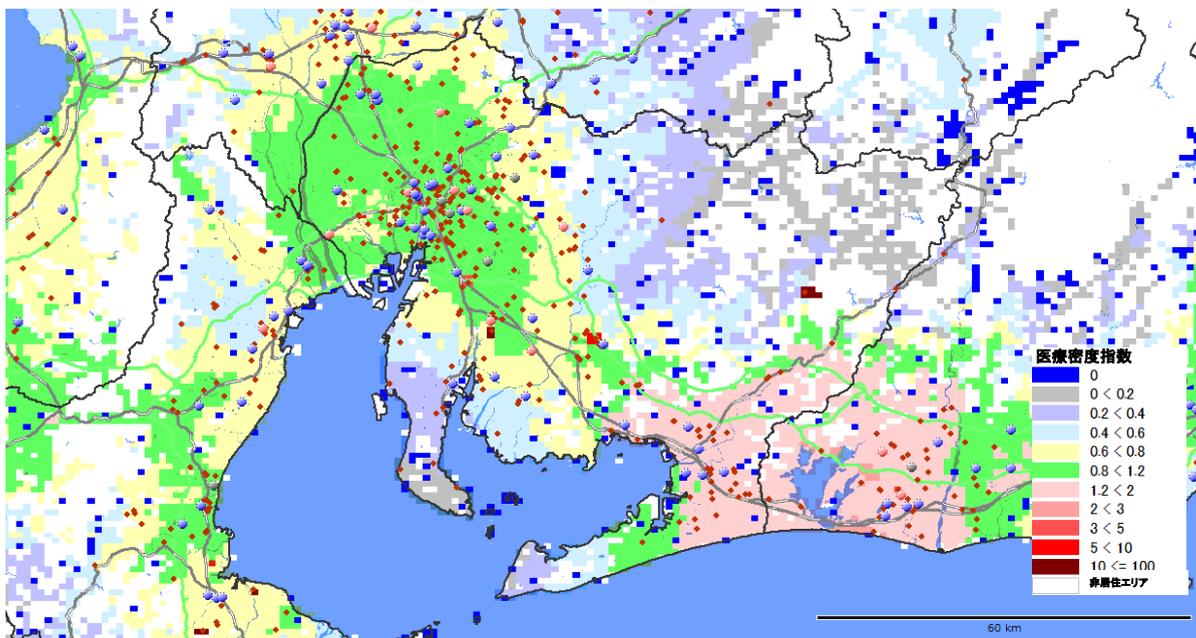


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-2 慢性期医療密度指数マップ



23. 愛知県 (2016年版)

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>6</sup>

資\_図表 23-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
愛知県	7,470	4位	5,164	27位	1,446.7		24%	7,348	6,856	817	1,166	1,203	-2%	-7%	43%	3%
名古屋	2,289	31%	326	6%	7,011.7	大都市型	25%	2,248	2,088	275	377	397	-2%	-7%	37%	5%
海部	329	4%	208	4%	1,578.8	地方都市型	26%	316	283	37	54	50	-4%	-10%	46%	-7%
尾張中部	165	2%	42	1%	3,947.5	大都市型	23%	166	160	17	25	23	1%	-4%	47%	-8%
尾張東部	472	6%	230	4%	2,048.2	大都市型	23%	475	457	48	73	76	1%	-4%	52%	4%
尾張西部	513	7%	193	4%	2,656.8	大都市型	26%	495	447	59	83	80	-4%	-10%	41%	-4%
尾張北部	734	10%	296	6%	2,481.3	大都市型	25%	718	661	78	118	113	-2%	-8%	51%	-4%
知多半島	621	8%	391	8%	1,586.7	地方都市型	24%	613	577	66	93	93	-1%	-6%	41%	0%
西三河北部	489	7%	951	18%	514.9	地方都市型	20%	492	473	40	66	74	1%	-4%	65%	12%
西三河南部西	685	9%	362	7%	1,891.0	地方都市型	21%	686	661	65	93	104	0%	-4%	43%	12%
西三河南部東	416	6%	444	9%	935.8	地方都市型	22%	414	394	39	59	67	0%	-5%	51%	14%
東三河北部	57	1%	1,052	20%	54.3	過疎地域型	35%	50	40	11	12	11	-12%	-20%	9%	-8%
東三河南部	701	9%	668	13%	1,049.2	地方都市型	25%	676	614	81	112	116	-4%	-9%	38%	4%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月  
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資\_図表 23-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
愛知県	0.82	0.70	-49.4%	-54.2%
名古屋	1.08	0.75	-30.5%	-37.6%
海部	0.69	0.51	-54.8%	-42.1%
尾張中部	0.85	0.64	-64.8%	-51.9%
尾張東部	0.80	0.54	-46.4%	-51.7%
尾張西部	0.86	0.53	-71.7%	-64.9%
尾張北部	0.74	0.35	-89.9%	-80.6%
知多半島	0.67	0.40	-42.1%	-41.8%
西三河北部	0.62	0.58	-90.8%	-113.8%
西三河南部西	0.57	0.67	-76.5%	-97.0%
西三河南部東	0.59	1.36	-77.8%	-102.3%
東三河北部	0.58	1.50	-0.2%	6.0%
東三河南部	0.73	0.65	-59.9%	-65.2%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均、0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。  
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資\_図表 23-3 医療費、介護給付費<sup>7</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
愛知県	294	44	0.974	225	42
名古屋	298	45	0.969	268	54
海部	292	44	0.912	201	36
尾張中部	281	41	0.898	196	34
尾張東部	309	48	0.940	206	37
尾張西部	294	44	0.914	211	39
尾張北部	297	45	0.906	190	33
知多半島	300	45	0.920	218	40
西三河北部	297	45	0.898	186	32
西三河南部西	284	41	0.888	209	38
西三河南部東	278	40	0.879	212	39
東三河北部	304	47	0.862	271	55
東三河南部	281	41	0.893	214	39
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資\_図表 23-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
愛知県	321	3.8%	4.3	44	5,227	5.2%	70	45
名古屋	129	40%	5.6	47	2,040	39%	89	55
海部	10	3%	3.0	41	204	4%	62	41
尾張中部	5	2%	3.0	41	92	2%	56	38
尾張東部	19	6%	4.0	43	312	6%	66	43
尾張西部	19	6%	3.7	43	324	6%	63	42
尾張北部	24	7%	3.3	42	475	9%	65	42
知多半島	19	6%	3.1	41	378	7%	61	41
西三河北部	18	6%	3.7	43	260	5%	53	37
西三河南部西	22	7%	3.2	42	387	7%	57	38
西三河南部東	15	5%	3.6	42	251	5%	60	40
東三河北部	6	2%	10.5	59	49	1%	86	53
東三河南部	35	11%	5.0	46	455	9%	65	43
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

23. 愛知県 (2016年版)

資\_図表 23-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
愛知県	5,227	5.2%	70	45	4,842	5.3%	65	46	385	4.6%	5.2	48
名古屋	2,040	39%	89	55	1,922	40%	84	56	118	31%	5.2	48
海部	204	4%	62	41	185	4%	56	41	19	5%	5.8	49
尾張中部	92	2%	56	38	86	2%	52	39	6	2%	3.6	46
尾張東部	312	6%	66	43	283	6%	60	43	29	8%	6.1	49
尾張西部	324	6%	63	42	291	6%	57	42	33	9%	6.4	50
尾張北部	475	9%	65	42	421	9%	57	42	54	14%	7.4	51
知多半島	378	7%	61	41	353	7%	57	42	25	6%	4.0	46
西三河北部	260	5%	53	37	244	5%	50	38	16	4%	3.3	45
西三河南部西	387	7%	57	38	361	7%	53	39	26	7%	3.8	46
西三河南部東	251	5%	60	40	238	5%	57	42	13	3%	3.1	45
東三河北部	49	1%	86	53	44	1%	77	52	5	1%	8.7	53
東三河南部	455	9%	65	43	414	9%	59	43	41	11%	5.9	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 23-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
愛知県	67,758	4.3%	907	43	4,646	4.1%	62	47	72,404	4.3%	969	44
名古屋	25,162	37%	1,099	47	1,432	31%	63	48	26,594	37%	1,162	47
海部	2,300	3%	699	39	184	4%	56	47	2,484	3%	755	40
尾張中部	730	1%	442	34	85	2%	51	46	815	1%	493	35
尾張東部	5,809	9%	1,232	50	336	7%	71	48	6,145	8%	1,303	50
尾張西部	4,433	7%	864	43	382	8%	74	49	4,815	7%	938	43
尾張北部	5,938	9%	809	41	659	14%	90	50	6,597	9%	898	42
知多半島	3,997	6%	644	38	344	7%	55	47	4,341	6%	699	39
西三河北部	3,211	5%	656	38	203	4%	41	46	3,414	5%	697	39
西三河南部西	4,922	7%	719	40	354	8%	52	47	5,276	7%	771	40
西三河南部東	3,005	4%	723	40	119	3%	29	44	3,124	4%	752	40
東三河北部	496	1%	868	43	41	1%	72	48	537	1%	940	43
東三河南部	7,755	11%	1,107	47	507	11%	72	48	8,262	11%	1,179	47
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 23-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
愛知県	40,237	4.5%	539	43	14,286	4.4%	191	47	12,914	3.8%	173	46
名古屋	16,269	40%	711	50	4,164	29%	182	46	4,596	36%	201	47
海部	1,186	3%	360	35	622	4%	189	47	486	4%	148	45
尾張中部	314	1%	190	27	416	3%	252	50	0	0%	0	38
尾張東部	3,702	9%	785	53	781	5%	166	46	1,276	10%	271	50
尾張西部	2,764	7%	538	43	692	5%	135	44	953	7%	186	46
尾張北部	3,415	8%	465	39	1,363	10%	186	47	1,154	9%	157	45
知多半島	2,622	7%	422	38	398	3%	64	41	971	8%	156	45
西三河北部	1,929	5%	394	36	547	4%	112	43	729	6%	149	45
西三河南部西	2,890	7%	422	38	1,611	11%	235	49	415	3%	61	41
西三河南部東	1,429	4%	344	34	749	5%	180	46	771	6%	186	46
東三河北部	301	1%	527	42	195	1%	341	54	0	0%	0	38
東三河南部	3,416	8%	488	40	2,748	19%	392	56	1,563	12%	223	48
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 23-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>8</sup>

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
愛知県	3,563	5.1%	48	48	1,775	4.9%	24	48
名古屋	1,075	30%	47	48	731	41%	32	50
海部	258	7%	78	55	68	4%	21	47
尾張中部	100	3%	60	51	58	3%	35	50
尾張東部	40	1%	8	40	122	7%	26	48
尾張西部	269	8%	52	49	174	10%	34	50
尾張北部	336	9%	46	48	76	4%	10	45
知多半島	222	6%	36	46	105	6%	17	46
西三河北部	30	1%	6	39	98	6%	20	47
西三河南部西	529	15%	77	55	162	9%	24	48
西三河南部東	296	8%	71	53	12	1%	3	43
東三河北部	0	0%	0	38	59	3%	103	64
東三河南部	408	11%	58	51	110	6%	16	46
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

23. 愛知県 (2016年版)

資\_図表 23-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
愛知県	26,267	24,262	694	40,699	15,962	12,785	60.3%	53	5.1%	48
名古屋	10,879	9,573	422	14,202	6,825	3,484	58.4%	53	10.8%	51
海部	1,192	1,186	0	1,212	24	702	98.0%	69	0.0%	46
尾張中部	0	0	0	730	314	416	0.0%	29	0.0%	46
尾張東部	2,386	2,285	0	3,300	1,347	728	62.9%	54	0.0%	46
尾張西部	1,320	1,169	76	3,016	1,520	594	43.5%	46	11.3%	51
尾張北部	2,159	2,074	54	3,768	1,362	1,288	60.4%	53	4.0%	48
知多半島	2,037	2,004	15	1,855	569	317	77.9%	61	4.5%	48
西三河北部	1,026	918	102	2,127	1,011	387	47.6%	48	20.9%	55
西三河南部西	1,469	1,469	0	3,370	1,535	1,436	48.9%	49	0.0%	46
西三河南部東	1,096	1,040	0	1,919	397	751	72.4%	58	0.0%	46
東三河北部	239	239	0	220	60	160	79.9%	61	0.0%	46
東三河南部	2,464	2,305	25	4,980	998	2,522	69.8%	57	1.0%	47
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資\_図表 23-10 全身麻酔件数、分娩件数 (年間)

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
愛知県	126,288	4.5%	1,691	45	60,552	5.9%	811	50
名古屋	50,748	40%	2,217	50	19,668	32%	859	52
海部	3,804	3%	1,156	40	2,172	4%	660	45
尾張中部	432	0%	261	32	0	0%	0	22
尾張東部	14,352	11%	3,043	58	3,228	5%	684	46
尾張西部	8,928	7%	1,739	45	4,848	8%	944	55
尾張北部	12,300	10%	1,675	45	5,436	9%	740	48
知多半島	6,312	5%	1,017	39	3,408	6%	549	41
西三河北部	5,256	4%	1,074	39	5,028	8%	1,027	58
西三河南部西	11,028	9%	1,611	44	7,968	13%	1,164	62
西三河南部東	2,400	2%	578	34	3,384	6%	814	50
東三河北部	156	0%	273	32	0	0%	0	22
東三河南部	10,572	8%	1,509	43	5,412	9%	772	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 23-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
愛知県	17,357	5.1%	232	46	10,413	5.0%	139	46	6,944	5.3%	93	47
名古屋	7,251	42%	317	55	4,399	42%	192	54	2,852	41%	125	57
海部	573	3%	174	40	317	3%	96	40	256	4%	78	42
尾張中部	169	1%	102	32	62	1%	37	31	107	2%	65	38
尾張東部	1,797	10%	381	62	1,379	13%	292	69	418	6%	89	46
尾張西部	1,014	6%	197	42	593	6%	115	42	421	6%	82	44
尾張北部	1,352	8%	184	41	750	7%	102	40	602	9%	82	44
知多半島	1,005	6%	162	38	513	5%	83	38	492	7%	79	43
西三河北部	861	5%	176	40	494	5%	101	40	367	5%	75	41
西三河南部西	1,238	7%	181	40	766	7%	112	42	472	7%	69	40
西三河南部東	638	4%	154	37	320	3%	77	37	318	5%	77	42
東三河北部	89	1%	156	38	47	0%	83	38	42	1%	73	41
東三河南部	1,370	8%	196	42	774	7%	111	42	596	9%	85	44
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 23-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
愛知県	774	4.9%	10.4	47	634	5.1%	8.5	47	577	5.5%	7.7	49
名古屋	348	45%	15.2	54	268	42%	11.7	54	289	50%	12.6	61
海部	27	3%	8.2	44	14	2%	4.3	38	9	2%	2.7	36
尾張中部	11	1%	6.7	42	6	1%	3.6	36	0	0%	0	28
尾張東部	74	10%	15.7	55	55	9%	11.7	54	45	8%	9.5	53
尾張西部	57	7%	11.1	48	38	6%	7.4	45	31	5%	6.0	44
尾張北部	63	8%	8.6	44	49	8%	6.7	43	40	7%	5.4	43
知多半島	37	5%	6.0	41	56	9%	9.0	48	31	5%	5.0	42
西三河北部	33	4%	6.7	42	29	5%	5.9	41	26	5%	5.3	42
西三河南部西	29	4%	4.2	38	35	6%	5.1	40	34	6%	5.0	41
西三河南部東	34	4%	8.2	44	30	5%	7.2	44	25	4%	6.0	44
東三河北部	5	1%	8.7	45	2	0%	3.5	36	1	0%	1.7	33
東三河南部	56	7%	8.0	44	52	8%	7.4	45	46	8%	6.6	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

23. 愛知県 (2016年版)

資\_図表 23-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
愛知県	292	5.5%	3.9	49	545	5.8%	7.3	50	446	6.0%	6.0	50
名古屋	118	40%	5.2	55	252	46%	11.0	61	187	42%	8.2	59
海部	15	5%	4.6	52	8	1%	2.4	34	9	2%	2.7	38
尾張中部	3	1%	1.8	39	6	1%	3.6	38	8	2%	4.8	46
尾張東部	28	10%	5.9	58	51	9%	10.8	61	42	9%	8.9	62
尾張西部	22	8%	4.3	51	32	6%	6.2	46	33	7%	6.4	52
尾張北部	25	9%	3.4	46	49	9%	6.7	48	31	7%	4.2	44
知多半島	18	6%	2.9	44	32	6%	5.2	43	30	7%	4.8	46
西三河北部	10	3%	2.0	40	21	4%	4.3	40	22	5%	4.5	45
西三河南部西	19	7%	2.8	43	39	7%	5.7	45	39	9%	5.7	49
西三河南部東	11	4%	2.6	43	21	4%	5.1	43	16	4%	3.9	42
東三河北部	1	0%	1.7	39	0	0%	0	27	0	0%	0	27
東三河南部	22	8%	3.1	45	34	6%	4.9	42	29	7%	4.1	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 23-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
愛知県	388	4.7%	5.2	46	972	4.8%	13.0	46	744	4.8%	10.0	45
名古屋	176	45%	7.7	53	448	46%	19.6	55	332	45%	14.5	55
海部	10	3%	3.0	40	20	2%	6.1	36	25	3%	7.6	40
尾張中部	2	1%	1.2	35	10	1%	6.0	36	8	1%	4.8	34
尾張東部	33	9%	7.0	51	102	10%	21.6	58	64	9%	13.6	53
尾張西部	15	4%	2.9	40	67	7%	13.1	46	39	5%	7.6	40
尾張北部	26	7%	3.5	41	75	8%	10.2	42	56	8%	7.6	40
知多半島	24	6%	3.9	42	43	4%	6.9	37	52	7%	8.4	42
西三河北部	23	6%	4.7	45	42	4%	8.6	39	35	5%	7.2	39
西三河南部西	29	7%	4.2	43	67	7%	9.8	41	38	5%	5.6	35
西三河南部東	23	6%	5.5	47	33	3%	7.9	39	31	4%	7.5	40
東三河北部	1	0%	1.7	36	4	0%	7.0	37	1	0%	1.7	27
東三河南部	26	7%	3.7	42	61	6%	8.7	40	63	8%	9.0	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 23-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
愛知県	280	4.9%	3.7	46	293	4.6%	3.9	45	208	3.9%	2.8	45
名古屋	114	41%	5.0	52	124	42%	5.4	52	100	48%	4.4	51
海部	7	3%	2.1	38	9	3%	2.7	40	10	5%	3.0	46
尾張中部	3	1%	1.8	37	2	1%	1.2	34	1	0%	0.6	38
尾張東部	28	10%	5.9	57	31	11%	6.6	56	30	14%	6.4	57
尾張西部	15	5%	2.9	42	22	8%	4.3	47	10	5%	1.9	42
尾張北部	17	6%	2.3	39	20	7%	2.7	40	8	4%	1.1	40
知多半島	18	6%	2.9	42	17	6%	2.7	40	7	3%	1.1	40
西三河北部	10	4%	2.0	38	10	3%	2.0	37	4	2%	0.8	39
西三河南部西	24	9%	3.5	45	24	8%	3.5	44	17	8%	2.5	44
西三河南部東	11	4%	2.6	41	3	1%	0.7	32	9	4%	2.2	43
東三河北部	3	1%	5.2	54	2	1%	3.5	44	1	0%	1.7	42
東三河南部	30	11%	4.3	49	29	10%	4.1	46	11	5%	1.6	41
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資\_図表 23-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
愛知県	262	4.0%	3.5	45	84	5.5%	1.1	49	134	4.1%	1.8	45
名古屋	128	49%	5.6	51	38	45%	1.7	55	57	43%	2.5	49
海部	4	2%	1.2	37	3	4%	0.9	47	4	3%	1.2	42
尾張中部	1	0%	0.6	35	0	0%	0	37	0	0%	0	35
尾張東部	25	10%	5.3	50	11	13%	2.3	62	23	17%	4.9	63
尾張西部	13	5%	2.5	41	5	6%	1.0	47	9	7%	1.8	45
尾張北部	27	10%	3.7	45	7	8%	1.0	47	10	7%	1.4	43
知多半島	10	4%	1.6	38	3	4%	0.5	42	9	7%	1.5	43
西三河北部	8	3%	1.6	39	3	4%	0.6	43	8	6%	1.6	44
西三河南部西	17	6%	2.5	41	6	7%	0.9	46	6	4%	0.9	40
西三河南部東	6	2%	1.4	38	2	2%	0.5	42	4	3%	1.0	41
東三河北部	1	0%	1.7	39	0	0%	0	37	0	0%	0	35
東三河南部	22	8%	3.1	43	6	7%	0.9	46	4	3%	0.6	38
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

23. 愛知県 (2016年版)

資\_図表 23-17 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
愛知県	70	3.5%	0.9	45	115	4.9%	1.5	47
名古屋	22	31%	1.0	45	47	41%	2.1	51
海部	3	4%	0.9	45	5	4%	1.5	47
尾張中部	0	0%	0	37	3	3%	1.8	50
尾張東部	13	19%	2.8	60	14	12%	3.0	58
尾張西部	3	4%	0.6	42	7	6%	1.4	46
尾張北部	8	11%	1.1	46	7	6%	1.0	43
知多半島	7	10%	1.1	46	6	5%	1.0	43
西三河北部	3	4%	0.6	42	5	4%	1.0	44
西三河南部西	4	6%	0.6	42	9	8%	1.3	46
西三河南部東	2	3%	0.5	41	5	4%	1.2	45
東三河北部	0	0%	0	37	0	0%	0	36
東三河南部	5	7%	0.7	43	7	6%	1.0	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資\_図表 23-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
愛知県	54,039	4.9%	723	45	42,585	4.7%	570	44	11,455	5.8%	153	50
名古屋	19,818	37%	866	50	16,021	38%	700	49	3,797	33%	166	51
海部	1,821	3%	553	39	1,393	3%	423	38	429	4%	130	47
尾張中部	489	1%	296	30	354	1%	214	29	135	1%	81	40
尾張東部	4,574	8%	970	53	3,981	9%	844	55	593	5%	126	46
尾張西部	3,608	7%	703	44	2,891	7%	563	44	717	6%	140	48
尾張北部	4,909	9%	669	43	3,797	9%	517	42	1,113	10%	152	49
知多半島	3,376	6%	544	39	2,448	6%	394	37	928	8%	150	49
西三河北部	2,928	5%	598	41	2,246	5%	459	39	682	6%	139	48
西三河南部西	4,507	8%	658	43	3,370	8%	492	41	1,137	10%	166	51
西三河南部東	2,256	4%	543	39	1,703	4%	410	37	553	5%	133	47
東三河北部	330	1%	577	40	257	1%	449	39	73	1%	128	46
東三河南部	5,424	10%	774	47	4,125	10%	589	45	1,299	11%	185	54
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資\_図表 23-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
愛知県	5,483	4.6%	73	46	14,056	4.9%	188	46
名古屋	1,879	34%	82	48	6,004	43%	262	54
海部	238	4%	72	46	423	3%	129	40
尾張中部	88	2%	53	42	197	1%	119	39
尾張東部	298	5%	63	44	983	7%	208	48
尾張西部	434	8%	84	48	808	6%	157	43
尾張北部	508	9%	69	45	1,123	8%	153	42
知多半島	296	5%	48	41	868	6%	140	41
西三河北部	266	5%	54	42	702	5%	143	41
西三河南部西	613	11%	89	49	1,020	7%	149	42
西三河南部東	308	6%	74	46	692	5%	167	44
東三河北部	23	0%	41	40	80	1%	140	41
東三河南部	531	10%	76	46	1,156	8%	165	44
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資\_図表 23-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
愛知県	750	5.1%	0.9	51	33	2.9%	0.0	46	533	5.6%	0.7	54
名古屋	301	40%	1.1	54	17	52%	0.1	49	235	44%	0.9	65
海部	28	4%	0.8	47	2	6%	0.1	48	14	3%	0.4	39
尾張中部	14	2%	0.8	49	0	0%	0	39	11	2%	0.7	54
尾張東部	59	8%	1.2	57	3	9%	0.1	49	37	7%	0.8	60
尾張西部	53	7%	0.9	50	2	6%	0.0	45	41	8%	0.7	56
尾張北部	73	10%	0.9	51	2	6%	0.0	43	37	7%	0.5	44
知多半島	62	8%	0.9	51	1	3%	0.0	42	41	8%	0.6	52
西三河北部	26	3%	0.6	45	2	6%	0.0	47	17	3%	0.4	41
西三河南部西	45	6%	0.7	46	2	6%	0.0	44	34	6%	0.5	47
西三河南部東	30	4%	0.8	47	0	0%	0	39	24	5%	0.6	51
東三河北部	2	0%	0.2	34	0	0%	0	39	4	1%	0.4	38
東三河南部	57	8%	0.7	46	2	6%	0.0	43	38	7%	0.5	44
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

23. 愛知県 (2016年版)

資\_図表 23-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
愛知県	71,507	4.4%	88	43	44,211	4.5%	54	46	27,296	4.2%	33	46
名古屋	26,737	37%	97	49	15,003	34%	54	46	11,734	43%	43	52
海部	3,277	5%	88	43	2,305	5%	62	52	972	4%	26	41
尾張中部	1,418	2%	85	42	828	2%	50	42	590	2%	36	47
尾張東部	4,675	7%	98	49	2,690	6%	56	47	1,985	7%	42	51
尾張西部	4,481	6%	75	36	2,991	7%	50	43	1,490	5%	25	40
尾張北部	5,475	8%	70	33	3,834	9%	49	42	1,641	6%	21	38
知多半島	6,190	9%	94	47	3,949	9%	60	50	2,241	8%	34	46
西三河北部	3,085	4%	77	37	2,187	5%	54	46	898	3%	22	39
西三河南部西	5,447	8%	83	40	3,461	8%	53	45	1,986	7%	30	44
西三河南部東	3,276	5%	83	40	1,932	4%	49	41	1,344	5%	34	46
東三河北部	1,021	1%	92	46	706	2%	64	53	315	1%	28	43
東三河南部	6,425	9%	79	38	4,325	10%	53	45	2,100	8%	26	41
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資\_図表 23-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
愛知県	18,022	5.0%	22	50	23,979	4.3%	29	46	2,210	3.3%	2.7	47
名古屋	6,848	38%	25	55	7,627	32%	28	44	528	24%	1.9	45
海部	952	5%	26	56	1,139	5%	31	47	214	10%	5.8	54
尾張中部	292	2%	18	42	436	2%	26	43	100	5%	6.0	55
尾張東部	1,101	6%	23	52	1,460	6%	31	47	129	6%	2.7	47
尾張西部	1,185	7%	20	46	1,784	7%	30	46	22	1%	0.4	41
尾張北部	1,443	8%	19	44	2,343	10%	30	46	48	2%	0.6	42
知多半島	1,627	9%	25	55	2,222	9%	34	50	100	5%	1.5	44
西三河北部	773	4%	19	45	1,351	6%	34	50	63	3%	1.6	44
西三河南部西	1,495	8%	23	52	1,864	8%	29	45	102	5%	1.6	44
西三河南部東	696	4%	18	42	1,129	5%	29	45	107	5%	2.7	47
東三河北部	233	1%	21	48	323	1%	29	45	150	7%	13.5	73
東三河南部	1,377	8%	17	41	2,301	10%	28	45	647	29%	8.0	59
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 23-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値	全国	軽費ホーム	全国	75歳以上	偏差値	全国	グループホーム	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は
		県内	当り	標準	標準		県内	当り	偏差	標準		県内	当り	偏差
		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)		22,728		1.4	(2.1)		191,184		11.6	(5.6)
愛知県	10,388	4.7%	12.7	49		852	3.7%	1.0	48		8,051	4.2%	9.9	47
名古屋	5,607	54%	20.4	57		20	2%	0.1	44		2,944	37%	10.7	48
海部	175	2%	4.7	41		200	23%	5.4	69		323	4%	8.7	45
尾張中部	254	2%	15.3	52		0	0%	0	43		126	2%	7.6	43
尾張東部	863	8%	18.1	54		150	18%	3.1	58		393	5%	8.2	44
尾張西部	332	3%	5.6	42		142	17%	2.4	55		563	7%	9.5	46
尾張北部	627	6%	8.0	45		50	6%	0.6	46		693	9%	8.9	45
知多半島	968	9%	14.8	51		0	0%	0	43		729	9%	11.1	49
西三河北部	330	3%	8.2	45		0	0%	0	43		420	5%	10.5	48
西三河南部西	214	2%	3.3	40		110	13%	1.7	51		510	6%	7.8	43
西三河南部東	542	5%	13.7	50		30	4%	0.8	47		342	4%	8.7	45
東三河北部	52	1%	4.7	41		0	0%	0	43		198	2%	17.8	61
東三河南部	424	4%	5.2	42		150	18%	1.9	52		810	10%	10.0	47
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの													

資\_図表 23-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	サ高住(特定施設)	全国	75歳以上	偏差値	全国	サ高住(非特定施設)	全国	75歳以上	偏差値
		シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は			シェア	1,000人	*全国は
		県内	当り	標準	標準		県内	当り	偏差	標準		県内	当り	偏差
		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差	偏差		シェア		偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)		13,027		0.8	(1.6)		199,454		12.1	(6.3)
愛知県	8,005	3.8%	9.8	45		12	0.1%	0.0	45		7,993	4.0%	9.8	46
名古屋	3,163	40%	11.5	48		0	0%	0	45		3,163	40%	11.5	49
海部	274	3%	7.4	42		0	0%	0	45		274	3%	7.4	42
尾張中部	210	3%	12.7	50		12	100%	0.7	50		198	2%	11.9	50
尾張東部	579	7%	12.1	49		0	0%	0	45		579	7%	12.1	50
尾張西部	453	6%	7.6	42		0	0%	0	45		453	6%	7.6	43
尾張北部	271	3%	3.5	36		0	0%	0	45		271	3%	3.5	36
知多半島	544	7%	8.3	43		0	0%	0	45		544	7%	8.3	44
西三河北部	148	2%	3.7	36		0	0%	0	45		148	2%	3.7	37
西三河南部西	1,152	14%	17.6	57		0	0%	0	45		1,152	14%	17.6	59
西三河南部東	430	5%	10.9	47		0	0%	0	45		430	5%	10.9	48
東三河北部	65	1%	5.9	40		0	0%	0	45		65	1%	5.9	40
東三河南部	716	9%	8.9	44		0	0%	0	45		716	9%	8.9	45
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計		平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの							

23. 愛知県 (2016年版)

資\_図表 23-25 介護サービス従事看護師数 (介護施設、訪問看護) (常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
愛知県	7,652	4.8%	9.4	48	5,194	4.4%	6.4	46	2,458	5.8%	3.0	55
名古屋	3,007	39%	10.9	55	1,800	35%	6.5	47	1,207	49%	4.4	71
海部	340	4%	9.2	47	284	5%	7.6	52	56	2%	1.5	38
尾張中部	151	2%	9.1	47	112	2%	6.8	48	39	2%	2.3	47
尾張東部	485	6%	10.2	52	340	7%	7.1	50	146	6%	3.0	56
尾張西部	502	7%	8.5	45	313	6%	5.3	41	189	8%	3.2	57
尾張北部	508	7%	6.5	36	352	7%	4.5	38	156	6%	2.0	43
知多半島	636	8%	9.7	50	463	9%	7.1	49	173	7%	2.6	51
西三河北部	325	4%	8.1	43	258	5%	6.4	46	68	3%	1.7	40
西三河南部西	535	7%	8.2	43	389	7%	6.0	44	146	6%	2.2	46
西三河南部東	345	5%	8.7	46	247	5%	6.3	46	98	4%	2.5	49
東三河北部	98	1%	8.8	46	87	2%	7.8	53	11	0%	1.0	31
東三河南部	719	9%	8.9	46	549	11%	6.8	48	170	7%	2.1	45
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 23-26 介護サービス従事介護職員数 (介護施設等、在宅介護) (常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
愛知県	65,873	4.4%	81	42	54,833	4.4%	67	42	11,040	4.9%	13.5	50
名古屋	23,937	36%	87	47	18,344	33%	67	41	5,593	51%	20.3	62
海部	2,896	4%	78	40	2,607	5%	70	45	288	3%	7.8	39
尾張中部	1,311	2%	79	41	1,187	2%	72	46	125	1%	7.5	39
尾張東部	3,929	6%	82	44	3,164	6%	66	41	765	7%	16.0	54
尾張西部	4,790	7%	81	42	3,967	7%	67	42	823	7%	13.9	50
尾張北部	6,131	9%	79	41	5,204	9%	67	42	927	8%	11.9	47
知多半島	5,346	8%	82	43	4,792	9%	73	47	555	5%	8.5	41
西三河北部	2,795	4%	70	33	2,493	5%	62	37	302	3%	7.5	39
西三河南部西	4,821	7%	74	37	4,208	8%	64	39	613	6%	9.4	42
西三河南部東	3,081	5%	78	40	2,741	5%	69	44	340	3%	8.6	41
東三河北部	824	1%	74	37	757	1%	68	43	66	1%	6.0	36
東三河南部	6,012	9%	74	37	5,368	10%	66	41	644	6%	8.0	40
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 23-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
愛知県	58,187	5.4%	71	52	20,832	5.1%	26	50	62,730	4.2%	77	46
名古屋	31,285	54%	114	66	9,983	48%	36	60	29,272	47%	106	55
海部	1,025	2%	28	38	443	2%	12	38	2,081	3%	56	39
尾張中部	688	1%	41	42	151	1%	9	35	850	1%	51	37
尾張東部	4,596	8%	96	60	1,568	8%	33	57	3,972	6%	83	48
尾張西部	2,889	5%	49	45	1,605	8%	27	52	3,992	6%	67	42
尾張北部	5,800	10%	74	53	1,630	8%	21	46	5,391	9%	69	43
知多半島	3,059	5%	47	44	1,697	8%	26	51	3,920	6%	60	40
西三河北部	1,548	3%	39	41	707	3%	18	43	2,041	3%	51	37
西三河南部西	2,565	4%	39	42	1,161	6%	18	43	3,673	6%	56	39
西三河南部東	1,176	2%	30	38	692	3%	18	43	2,752	4%	70	43
東三河北部	167	0%	15	34	74	0%	7	33	406	1%	37	33
東三河南部	3,389	6%	42	42	1,121	5%	14	40	4,380	7%	54	38
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 23-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
愛知県		7,254,704	7,470,407	3%	7,348,135	1%	18%	7%	27%
名古屋	大都市型	2,215,062	2,288,845	3%	2,247,647	1%	19%	7%	27%
海部	地方都市型	328,605	329,082	0%	315,544	-4%	17%	5%	23%
尾張中部	大都市型	155,001	165,321	7%	166,044	7%	23%	7%	32%
尾張東部	大都市型	443,072	471,683	6%	474,542	7%	23%	10%	35%
尾張西部	大都市型	508,652	513,312	1%	494,710	-3%	17%	5%	23%
尾張北部	大都市型	718,396	734,273	2%	718,415	0%	20%	7%	29%
知多半島	地方都市型	596,891	620,641	4%	612,917	3%	18%	7%	26%
西三河北部	地方都市型	468,393	489,468	4%	492,104	5%	21%	12%	35%
西三河南部西	地方都市型	654,460	684,538	5%	685,700	5%	17%	9%	27%
西三河南部東	地方都市型	399,403	415,515	4%	414,317	4%	17%	10%	29%
東三河北部	過疎地域型	64,348	57,144	-11%	50,004	-22%	-1%	-4%	-5%
東三河南部	地方都市型	702,421	700,585	0%	676,191	-4%	13%	6%	20%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

23. 愛知県 (2016年版)

資\_図表 23-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
愛知県	353	4.9	44	321	4.3	44	-32	-9%	287
名古屋	141	6.4	48	129	5.6	47	-12	-9%	116
海部	12	3.7	41	10	3.0	41	-2	-17%	8
尾張中部	6	3.9	42	5	3.0	41	-1	-17%	4
尾張東部	19	4.3	43	19	4.0	43	0	0%	19
尾張西部	21	4.1	42	19	3.7	43	-2	-10%	17
尾張北部	25	3.5	41	24	3.3	42	-1	-4%	23
知多半島	19	3.2	40	19	3.1	41	0	0%	19
西三河北部	22	4.7	44	18	3.7	43	-4	-18%	14
西三河南部西	22	3.4	40	22	3.2	42	0	0%	22
西三河南部東	18	4.5	43	15	3.6	42	-3	-17%	12
東三河北部	6	9.3	56	6	10.5	59	0	0%	6
東三河南部	42	6.0	47	35	5.0	46	-7	-17%	27
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 23-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
愛知県	4,707	65	44	5,227	70	45	520	11%	5,799
名古屋	1,869	84	54	2,040	89	55	171	9%	2,228
海部	184	56	40	204	62	41	20	11%	226
尾張中部	78	50	37	92	56	38	14	18%	107
尾張東部	262	59	42	312	66	43	50	19%	367
尾張西部	291	57	41	324	63	42	33	11%	360
尾張北部	423	59	41	475	65	42	52	12%	532
知多半島	318	53	39	378	61	41	60	19%	444
西三河北部	215	46	35	260	53	37	45	21%	310
西三河南部西	338	52	38	387	57	38	49	14%	441
西三河南部東	232	58	41	251	60	40	19	8%	272
東三河北部	54	84	54	49	86	53	-5	-9%	44
東三河南部	443	63	44	455	65	43	12	3%	468
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資\_図表 23-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
愛知県	13,295	183	47	15,927	213	47	2,632	20%	18,823
名古屋	5,895	266	56	7,008	306	56	1,113	19%	8,232
海部	351	107	38	449	136	39	98	28%	557
尾張中部	104	67	33	135	82	33	31	30%	169
尾張東部	1,417	320	63	1,798	381	64	381	27%	2,217
尾張西部	726	143	42	902	176	43	176	24%	1,096
尾張北部	934	130	40	1,148	156	41	214	23%	1,383
知多半島	740	124	40	871	140	39	131	18%	1,015
西三河北部	592	126	40	722	148	40	130	22%	865
西三河南部西	836	128	40	1,021	149	40	185	22%	1,225
西三河南部東	557	139	41	574	138	39	17	3%	593
東三河北部	86	134	41	75	131	38	-11	-13%	63
東三河南部	1,057	150	43	1,224	175	43	167	16%	1,408
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資\_図表 23-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
愛知県	76,799	106	44	72,404	97	44	-4,395	-6%	67,571
名古屋	28,641	129	48	26,594	116	47	-2,047	-7%	24,342
海部	2,523	77	38	2,484	75	40	-39	-2%	2,441
尾張中部	759	49	33	815	49	35	56	7%	877
尾張東部	6,710	151	52	6,145	130	50	-565	-8%	5,524
尾張西部	5,010	98	42	4,815	94	43	-195	-4%	4,601
尾張北部	6,655	93	41	6,597	90	42	-58	-1%	6,533
知多半島	4,839	81	39	4,341	70	39	-498	-10%	3,793
西三河北部	3,637	78	39	3,414	70	39	-223	-6%	3,169
西三河南部西	4,929	75	38	5,276	77	40	347	7%	5,658
西三河南部東	3,494	87	40	3,124	75	40	-370	-11%	2,717
東三河北部	637	99	42	537	94	43	-100	-16%	427
東三河南部	8,965	128	47	8,262	118	47	-703	-8%	7,489
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

23. 愛知県 (2016年版)

資\_図表 23-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
愛知県	48,556	67	44	44,631	60	43	-3,925	-8%	40,315	55
名古屋	19,527	88	52	17,641	77	49	-1,886	-10%	15,566	69
海部	1,306	40	34	1,355	41	36	49	4%	1,409	45
尾張中部	248	16	26	399	24	30	151	61%	565	34
尾張東部	4,431	100	56	4,038	86	53	-393	-9%	3,606	76
尾張西部	3,348	66	44	3,107	61	43	-241	-7%	2,842	57
尾張北部	3,971	55	40	4,000	54	41	29	1%	4,032	56
知多半島	3,413	57	41	2,948	47	39	-465	-14%	2,437	40
西三河北部	2,309	49	38	2,132	44	37	-177	-8%	1,937	39
西三河南部西	3,345	51	38	3,210	47	38	-135	-4%	3,062	45
西三河南部東	1,907	48	37	1,548	37	35	-359	-19%	1,153	28
東三河北部	404	63	43	330	58	42	-74	-18%	249	50
東三河南部	4,347	62	42	3,923	56	42	-424	-10%	3,457	51
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資\_図表 23-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
愛知県	14,021	27	47	14,538	18	48	517	4%	15,106	13
名古屋	4,073	24	45	4,224	15	45	151	4%	4,390	12
海部	725	32	50	637	17	47	-88	-12%	540	10
尾張中部	511	54	63	416	25	54	-95	-19%	312	13
尾張東部	931	33	50	781	16	46	-150	-16%	616	8
尾張西部	597	17	41	731	12	43	134	22%	878	11
尾張北部	1,333	29	48	1,437	18	48	104	8%	1,551	13
知多半島	418	10	37	416	6	38	-2	0%	414	4
西三河北部	516	21	43	547	14	44	31	6%	581	9
西三河南部西	1,151	26	47	1,645	25	54	494	43%	2,188	24
西三河南部東	660	25	46	749	19	49	89	13%	847	14
東三河北部	233	24	45	207	19	48	-26	-11%	178	15
東三河南部	2,873	50	60	2,748	34	62	-125	-4%	2,611	23
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

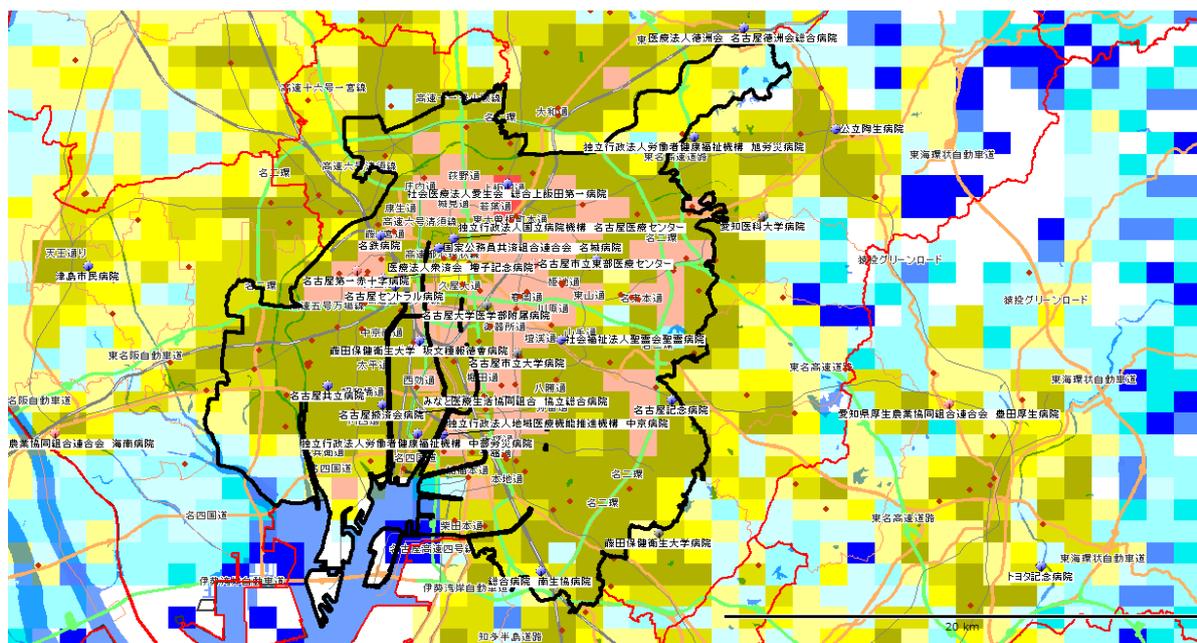
資\_図表 23-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費<sup>9</sup>

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
愛知県	299	43	0.918	102	42	0.812	172	47	0.971
名古屋	303	44	0.961	105	43	0.866	172	47	1.009
海部	300	43	0.911	99	41	0.786	176	49	0.985
尾張中部	286	40	0.891	97	40	0.790	163	42	0.936
尾張東部	317	48	0.938	106	43	0.815	184	54	1.002
尾張西部	301	44	0.910	107	43	0.838	168	45	0.940
尾張北部	299	43	0.890	100	41	0.776	172	47	0.945
知多半島	306	45	0.914	103	42	0.802	176	49	0.968
西三河北部	309	46	0.905	105	43	0.803	178	50	0.962
西三河南部西	282	39	0.866	91	38	0.726	165	43	0.937
西三河南部東	291	41	0.883	91	38	0.722	173	47	0.967
東三河北部	315	47	0.870	115	46	0.827	175	49	0.893
東三河南部	288	41	0.888	101	41	0.807	162	41	0.927
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

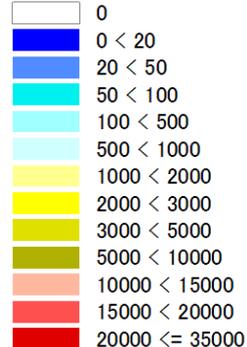
# 23-1. なごや 名古屋医療圏

構成市区町村 <sup>10</sup>	<a href="#">千種区</a>	<a href="#">東区</a>	<a href="#">北区</a>	<a href="#">西区</a>
	<a href="#">中村区</a>	<a href="#">中区</a>	<a href="#">昭和区</a>	<a href="#">瑞穂区</a>
	<a href="#">熱田区</a>	<a href="#">中川区</a>	<a href="#">港区</a>	<a href="#">南区</a>
	<a href="#">守山区</a>	<a href="#">緑区</a>	<a href="#">名東区</a>	<a href="#">天白区</a>

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (名古屋医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など：名古屋(名古屋市千種区)は、総人口約2289千人(2015年推計)、面積326km<sup>2</sup>、人口密度は7012人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測：名古屋の総人口は2025年に2248千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に2088千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の275千人が、2025年にかけて377千人へと増加し(2015年比+37%)、2040年には397千人へと増加する(2025年比+5%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費：名古屋の一人当たり医療費(国保)は298千円(偏差値45)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度：名古屋の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.75で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状：総医師数<sup>3</sup>の偏差値が55(病院医師数54、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

\*一般病床等の現状：人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。名古屋には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構名古屋医療センター(Ⅱ群・救命)、JCHO中京病院(Ⅲ群・救命)、愛知県がんセンター中央病院(Ⅲ群)、名古屋大学医学部附属病院(Ⅰ群)、名古屋市立大学病院(Ⅰ群・救命)、名古屋第二赤十字病院(Ⅱ群・救命)、名古屋第一赤十字病院(Ⅱ群・救命)、1000例以上の大同病院(Ⅲ群)、中部労災病院(Ⅲ群)、坂文種報徳會病院(Ⅲ群)、名古屋掖済会病院(Ⅲ群・救命)、名古屋市立西部医療センター(Ⅲ群)、総合上飯田第一病院(Ⅲ群)、名古屋市立東部医療センター(Ⅱ群)、500例以上の名古屋記念病院(Ⅲ群)、名城病院(Ⅲ群)、名古屋セントラル病院(Ⅲ群)、名鉄病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状：人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

\*リハビリの現状：総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状：人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

\*診療所の現状：人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状：名古屋の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、26737人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が15003床(偏差値46)、高齢者住宅等が11734床(偏差値52)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、18344人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム57、軽費ホーム44、グループホーム48、サ高住48である。

\*在宅ケアの現状：在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、5593人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

\*介護の2040年の需要予測：2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-38%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

名古屋医療圏の総人口は、2005年2215062人が、2015年に2288845人と3%増加し、2025年の人口が2247647人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

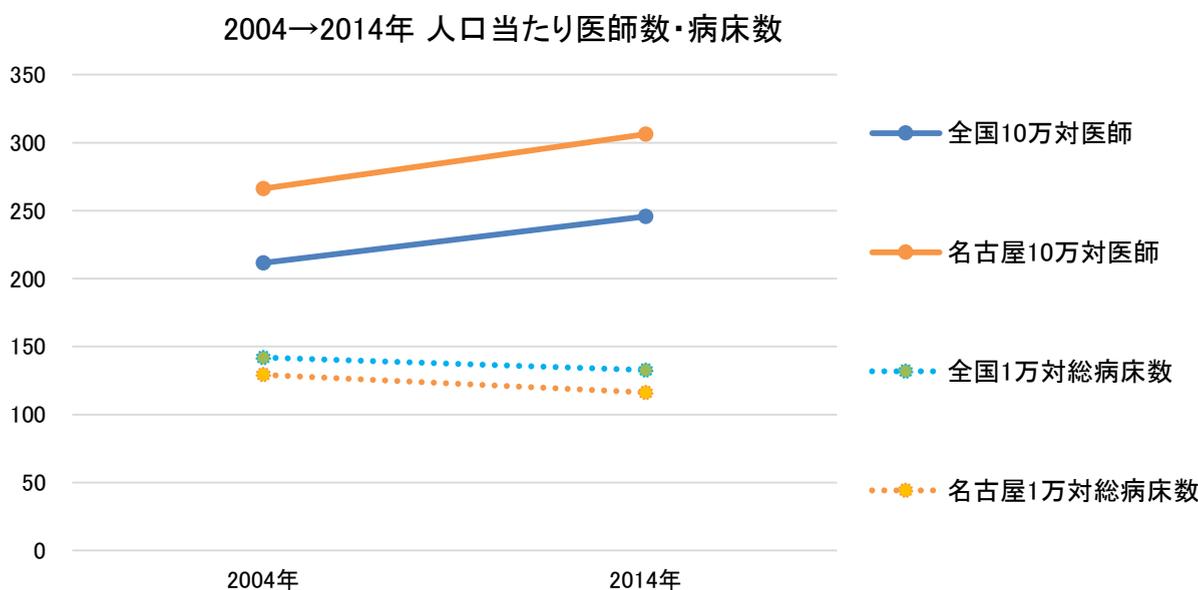
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が141(人口10万人当たり6.4病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に129(人口10万人当たり5.6病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で12病院が減少した。

2004年の診療所数が1869(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に2040(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、171診療所が増加した。

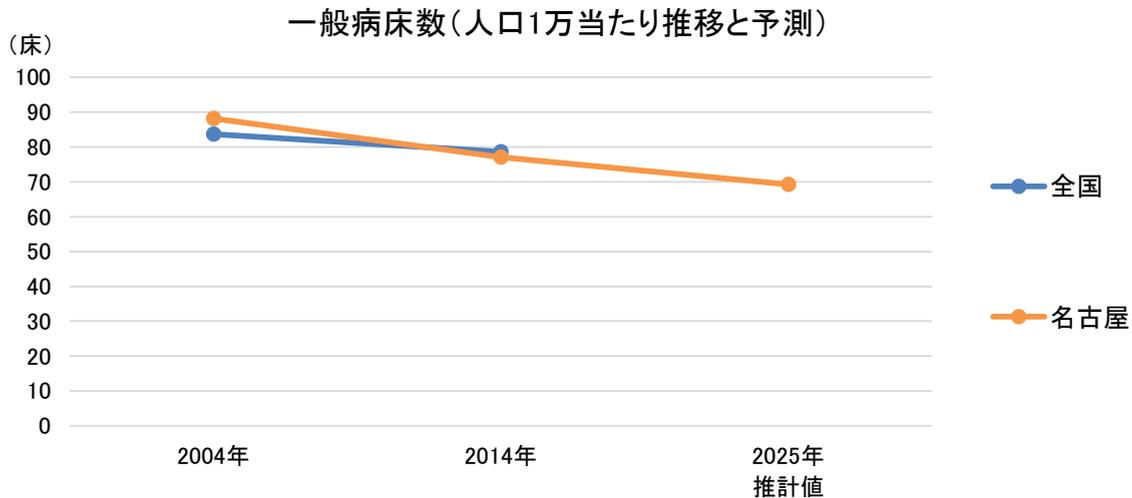
2004年の総病床数が28641床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に26594床(人口1万人当たり116(全国平均133)偏差値47)と、2047床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が5895人(人口10万人当たり266人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2014年に7008人(人口10万人当たり306人(全国平均246人)偏差値56)と、1113人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



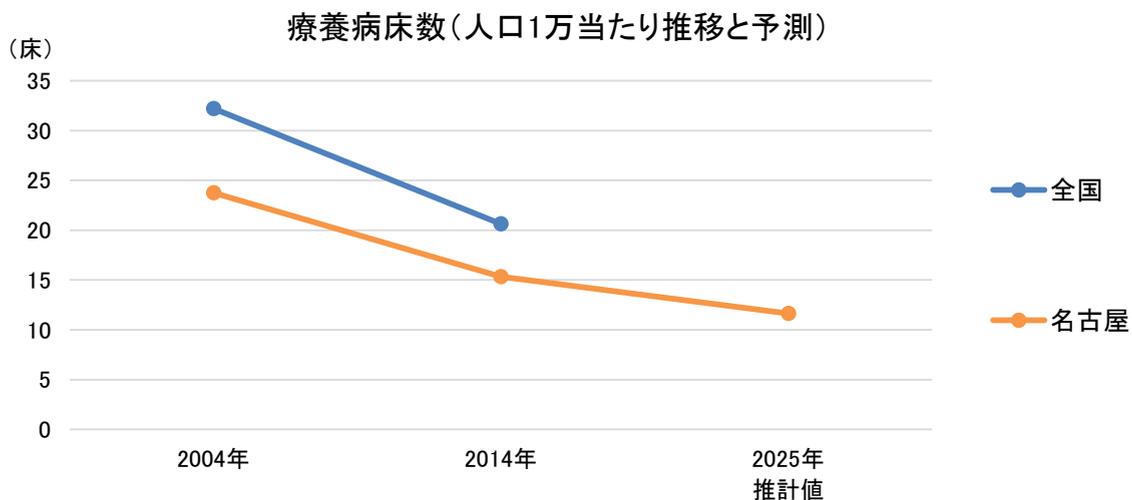
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が19527床(人口1万人当たり88(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に17641床(人口1万人当たり77(全国平均79)偏差値49)と、1886床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には15566床(2025年の推計人口1万人当たり69)になることが予想される。



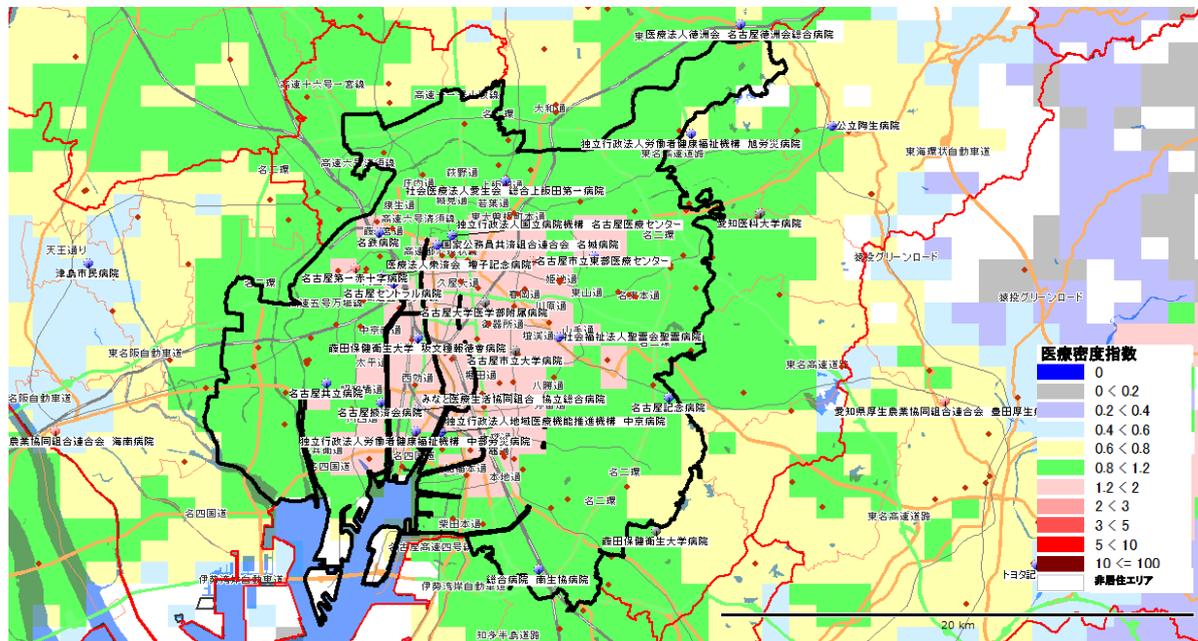
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4073床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に4224床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、151床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4390床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

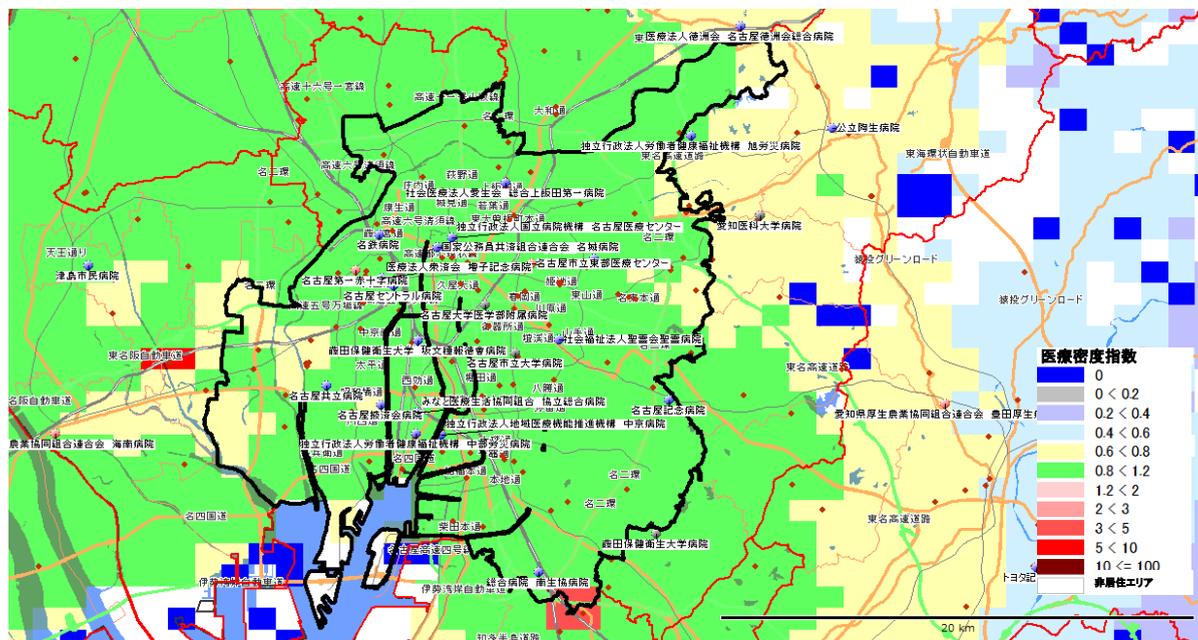


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-1-1 急性期医療密度指数マップ



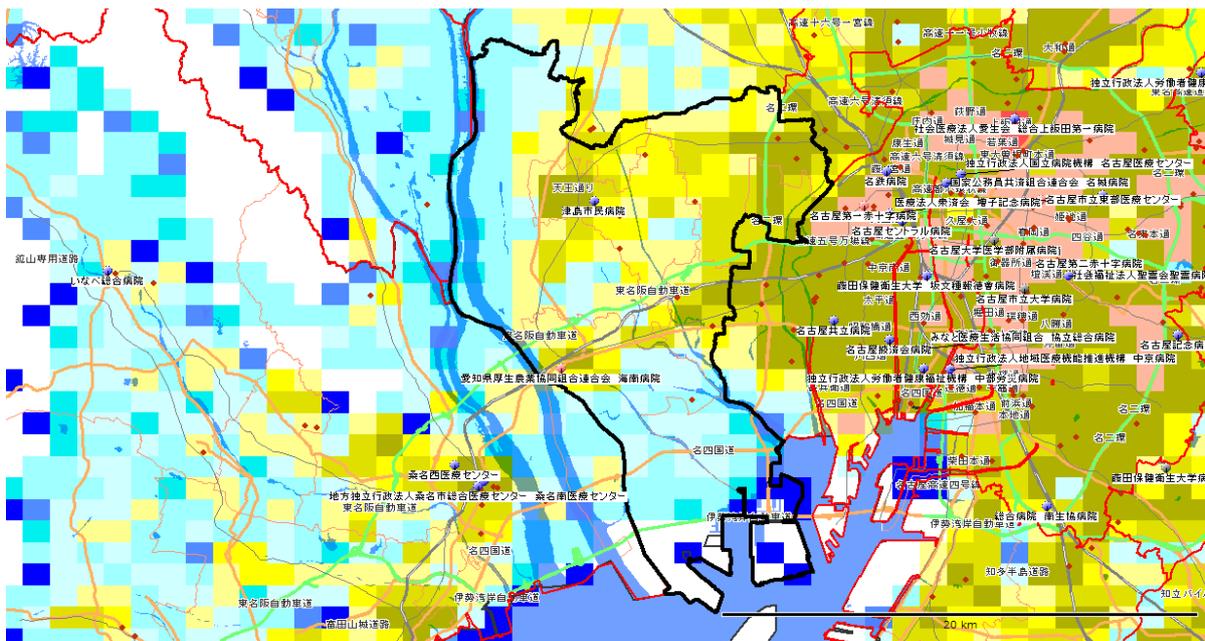
図表23-1-2 慢性期医療密度指数マップ



# あま 23-2. 海部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [津島市](#) [愛西市](#) [弥富市](#) [あま市](#)  
[大治町](#) [蟹江町](#) [飛島村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群  
一般病院

## （海部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 海部（津島市）は、総人口約329千人（2015年推計）、面積208km<sup>2</sup>、人口密度は1579人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 海部の総人口は2025年に316千人へと減少し（2015年比-4%）、2040年に283千人へと減少する（2025年比-10%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて54千人へと増加し（2015年比+46%）、2040年には50千人へと減少する（2025年比-7%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 海部の一人当たり医療費（国保）は292千円（偏差値44）、介護給付費は201千円（偏差値36）であり、医療費、介護給付費ともに低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 海部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.69、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.51で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40（病院医師数40、診療所医師数42）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は35で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。海部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の海南病院（Ⅱ群・救命）、500例以上の津島市民病院（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 海部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、3277人（75歳以上1000人当たりの偏差値43）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2305床（偏差値52）、高齢者住宅等が972床（偏差値41）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2607人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム41、軽費ホーム69、グループホーム45、サ高住42である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値39と少ない。介護職員（在宅）の合計は、288人（75歳以上1000人当たりの偏差値39）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-42%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

海部医療圏の総人口は、2005年328605人が、2015年に329082人と1%未満増加し、2025年の人口が315544人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

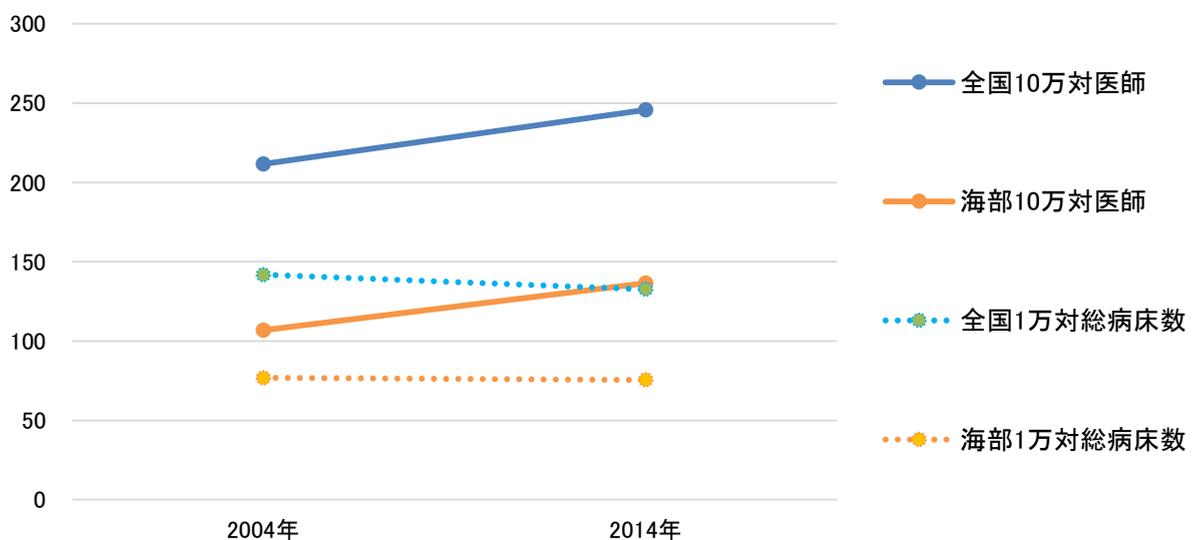
2004年の病院数が12(人口10万人当たり3.7病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に10(人口10万人当たり3病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が184(人口10万人当たり56診療所(全国平均76)偏差値40)であったが、2014年に204(人口10万人当たり62診療所(全国平均79)偏差値41)と、20診療所が増加した。

2004年の総病床数が2523床(人口1万人当たり77(全国平均142)偏差値38)であったが、2014年に2484床(人口1万人当たり75(全国平均133)偏差値40)と、39床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が351人(人口10万人当たり107人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2014年に449人(人口10万人当たり136人(全国平均246人)偏差値39)と、98人の増加、率にして28%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

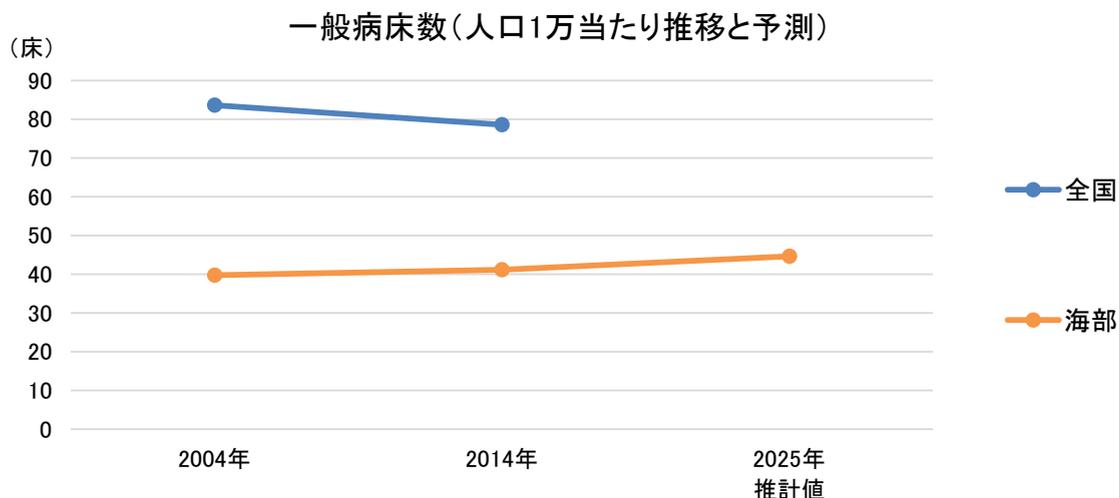
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



## 23. 愛知県（2016年版）

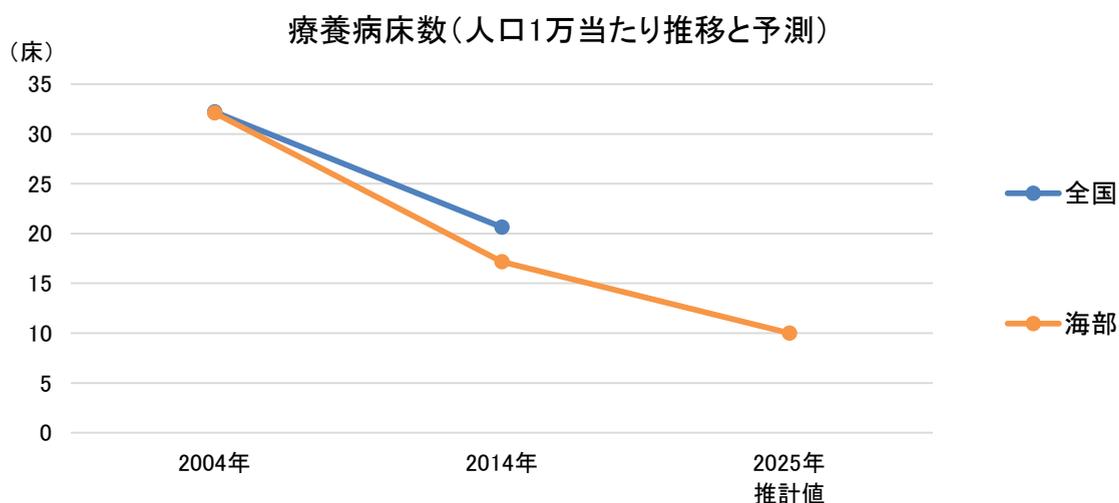
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1306床(人口1万人当たり40(全国平均84)偏差値34)であったが、2014年に1355床(人口1万人当たり41(全国平均79)偏差値36)と、49床の増加、率にして4%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1409床(2025年の推計人口1万人当たり45)になることが予想される。



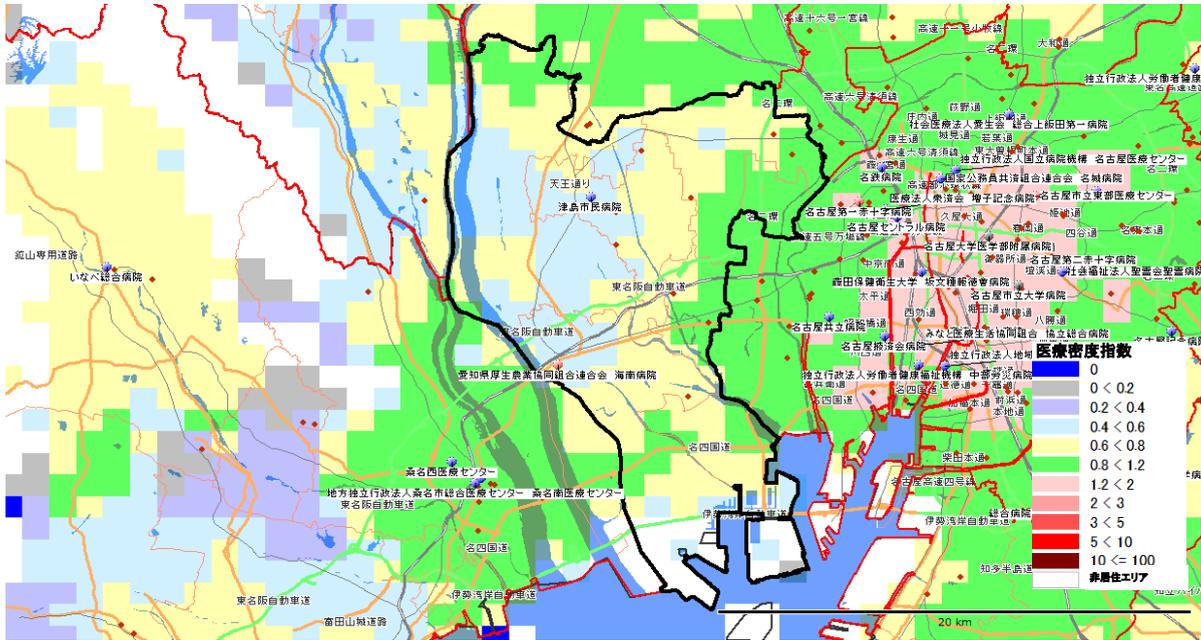
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が725床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に637床(75歳以上1000人当たり17(全国平均21)偏差値47)と、88床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には540床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

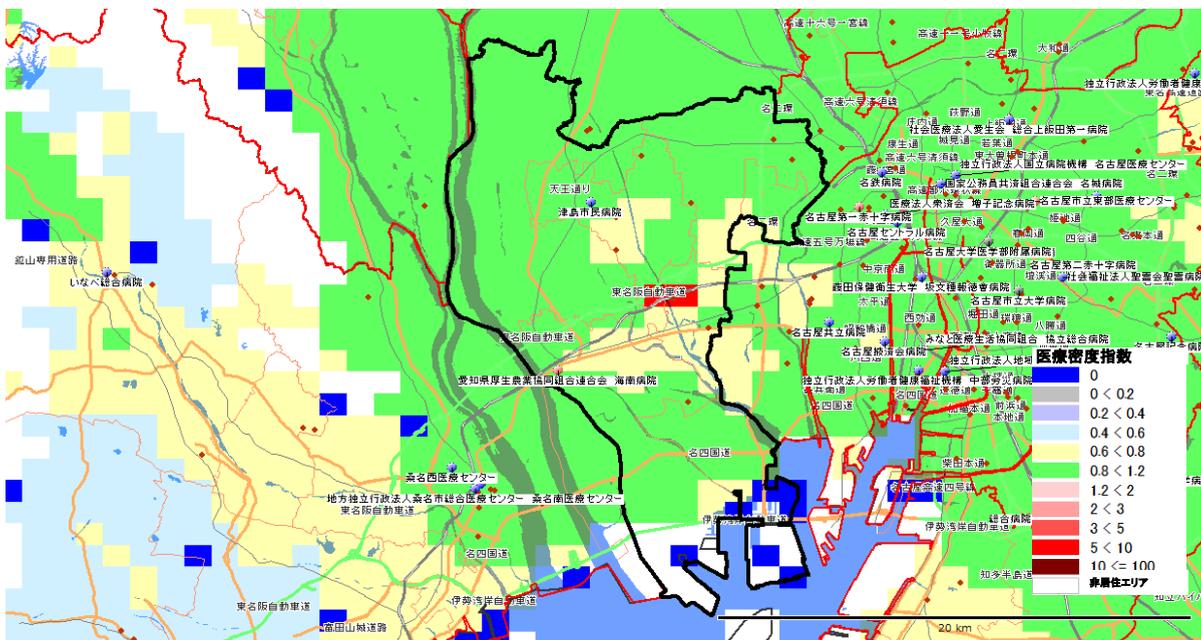


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-2-1 急性期医療密度指数マップ



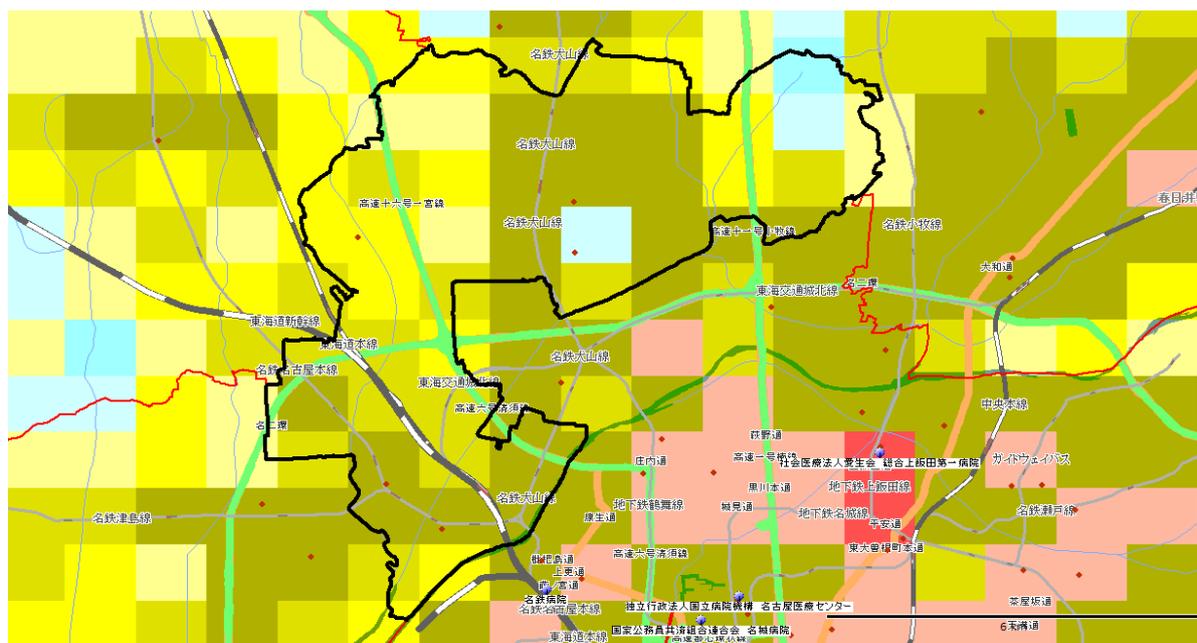
図表23-2-2 慢性期医療密度指数マップ



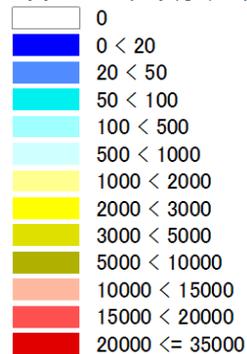
# 23-3. おわりちゅうぶ 尾張中部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [清須市](#)      [北名古屋市](#)      [豊山町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

## (尾張中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 尾張中部(清須市)は、総人口約165千人(2015年推計)、面積42km<sup>2</sup>、人口密度は3947人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 尾張中部の総人口は2025年に166千人へと増加し(2015年比+1%)、2040年に160千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の17千人が、2025年にかけて25千人へと増加し(2015年比+47%)、2040年には23千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 尾張中部の一人当たり医療費(国保)は281千円(偏差値41)、介護給付費は196千円(偏差値34)であり、医療費は低く、介護給付費は非常に低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 尾張中部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.85、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.64で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が32(病院医師数31、診療所医師数38)と、総医師数と病院医師数は非常に少なく、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は30と非常に少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は27で、一般病床は非常に少ない。全身麻酔数の偏差値は32と非常に少ない。尾張中部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 尾張中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1418人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が828床(偏差値42)、高齢者住宅等が590床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1187人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設55、有料老人ホーム52、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住50である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値49と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、125人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-52%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

尾張中部医療圏の総人口は、2005年155001人が、2015年に165321人と7%増加し、2025年の人口が166044人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に23%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

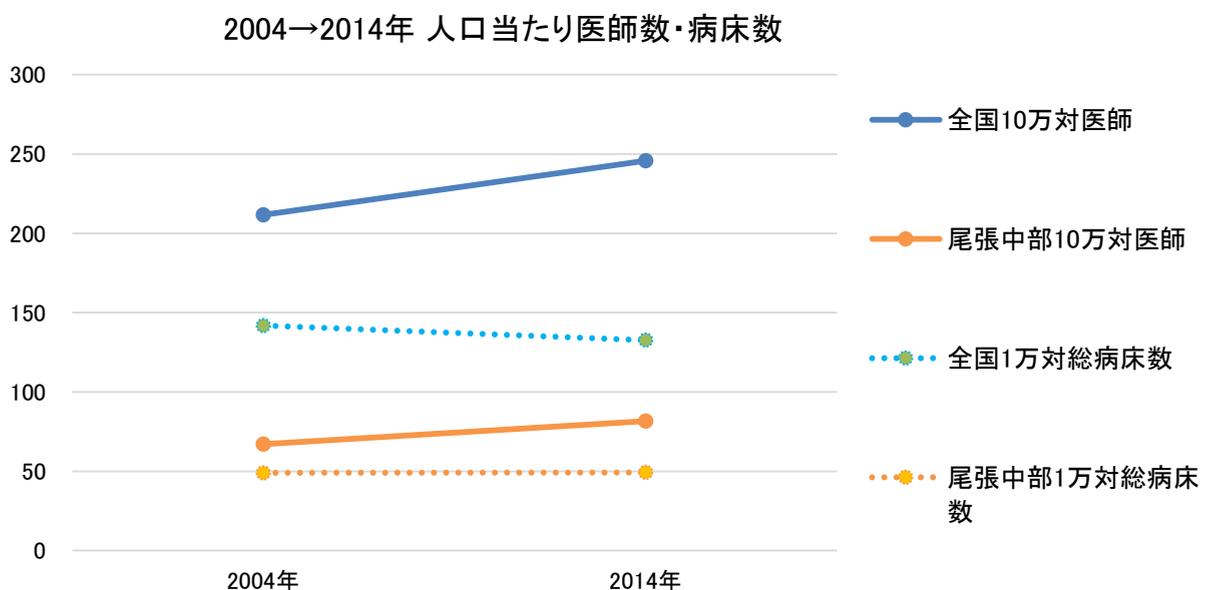
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり3.9病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に5(人口10万人当たり3病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり50診療所(全国平均76)偏差値37)であったが、2014年に92(人口10万人当たり56診療所(全国平均79)偏差値38)と、14診療所が増加した。

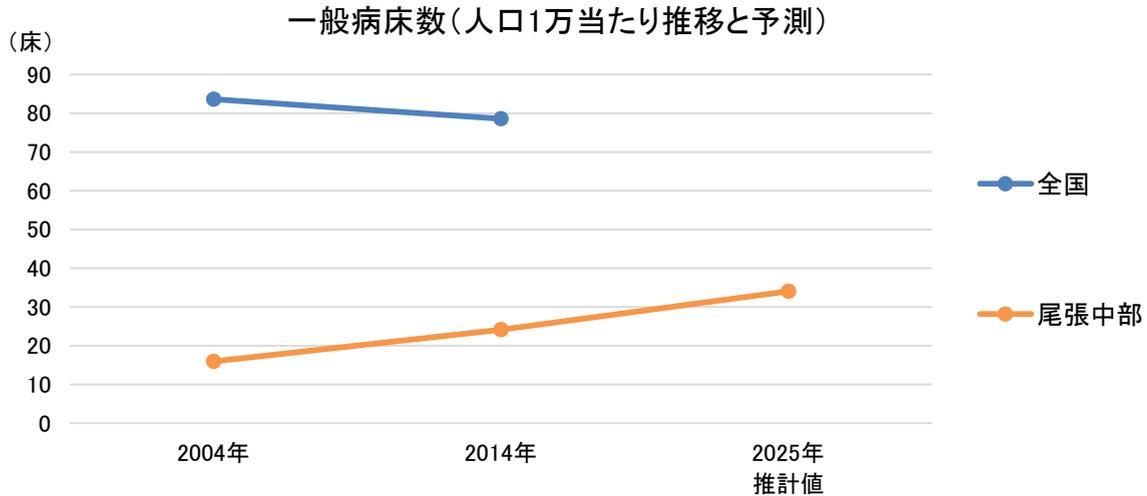
2004年の総病床数が759床(人口1万人当たり49(全国平均142)偏差値33)であったが、2014年に815床(人口1万人当たり49(全国平均133)偏差値35)と、56床の増加、率にして7%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が104人(人口10万人当たり67人(全国平均212人)偏差値33)であったが、2014年に135人(人口10万人当たり82人(全国平均246人)偏差値33)と、31人の増加、率にして30%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



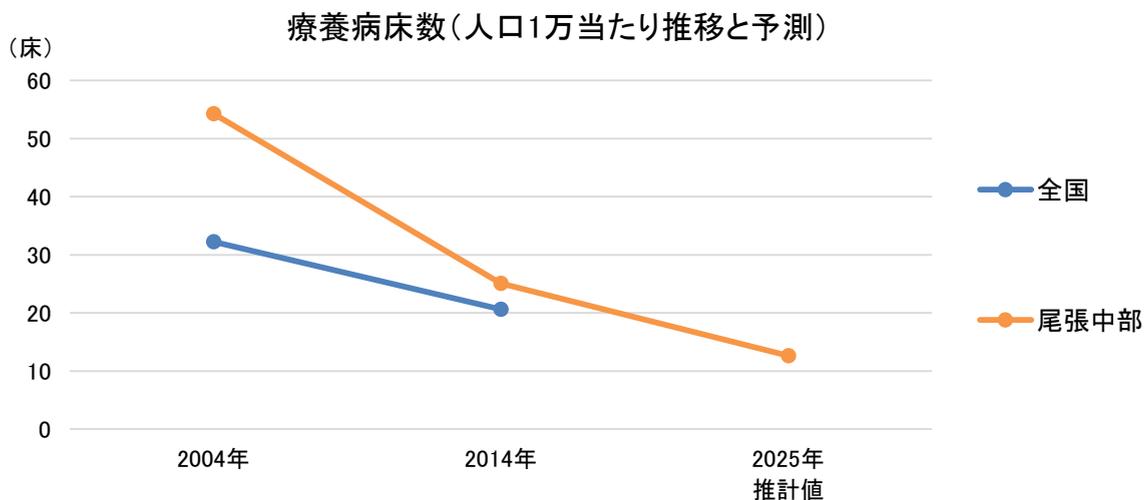
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が248床(人口1万人当たり16(全国平均84)偏差値26)であったが、2014年に399床(人口1万人当たり24(全国平均79)偏差値30)と、151床の増加、率にして61%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には565床(2025年の推計人口1万人当たり34)になることが予想される。



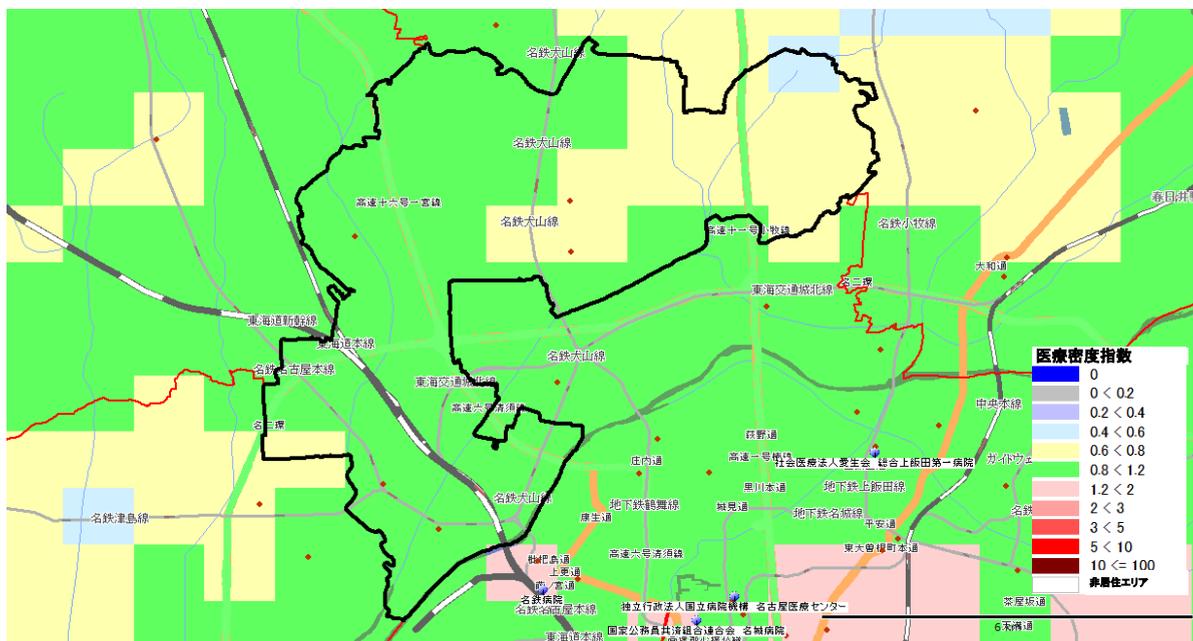
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が511床(75歳以上1000人当たり54(全国平均32)偏差値63)であったが、2014年に416床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、95床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には312床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

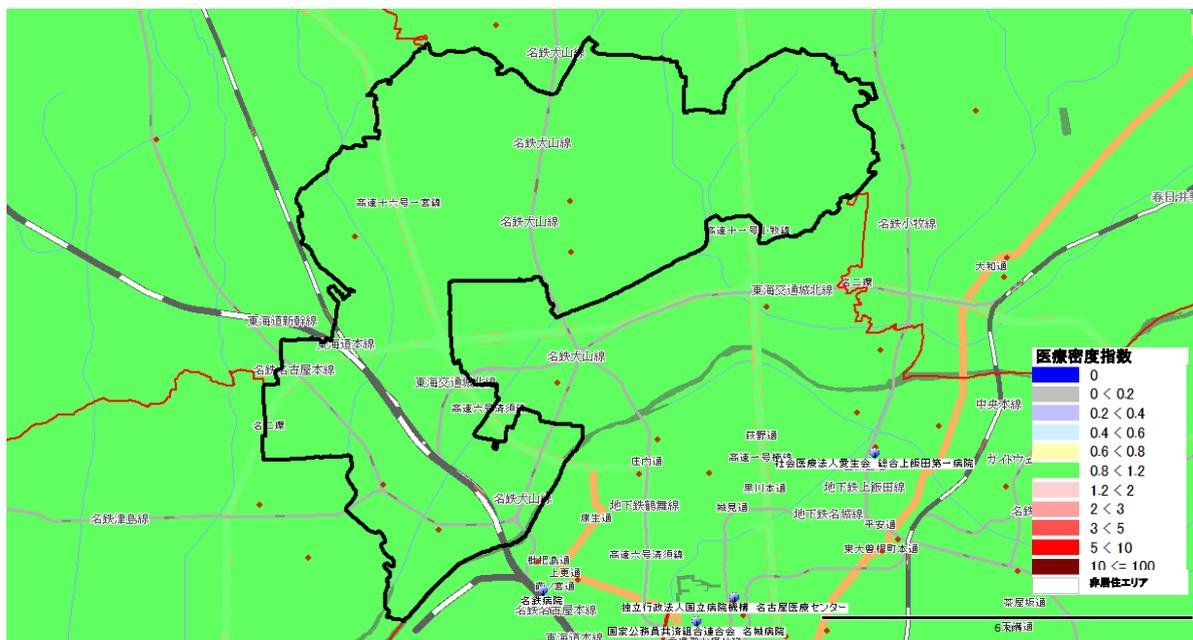


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-3-1 急性期医療密度指数マップ



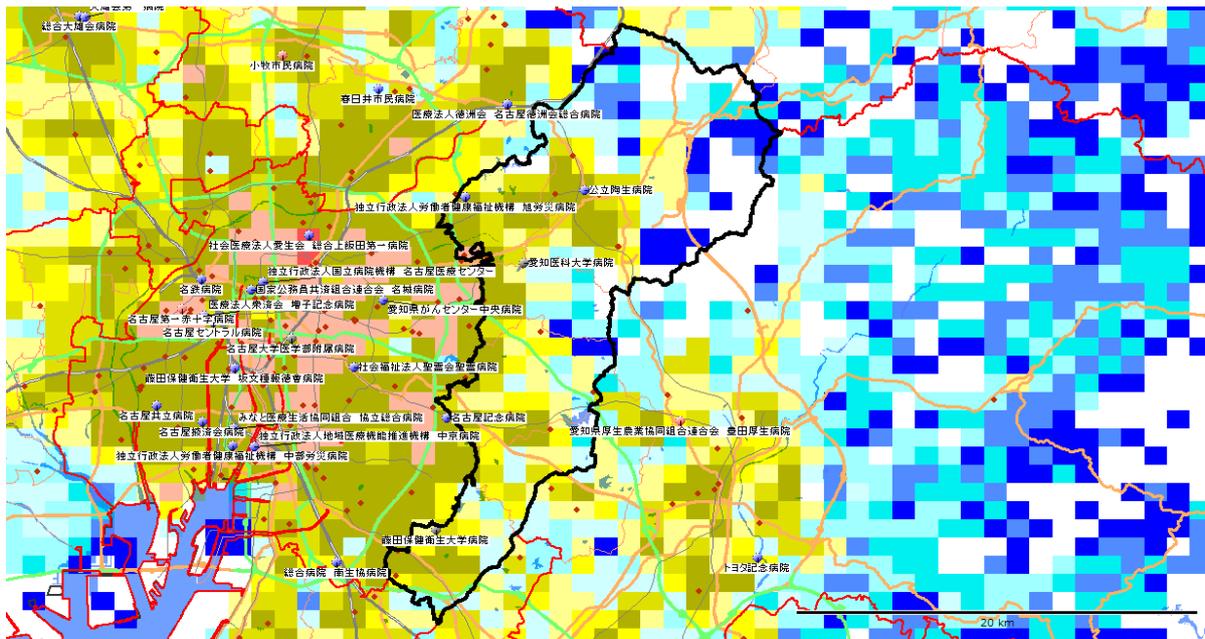
図表23-3-2 慢性期医療密度指数マップ



# 23-4. おわりとうぶ 尾張東部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [瀬戸市](#) [尾張旭市](#) [豊明市](#) [且進市](#)  
[長久手市](#) [東郷町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （尾張東部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 尾張東部（瀬戸市）は、総人口約472千人（2015年推計）、面積230km<sup>2</sup>、人口密度は2048人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 尾張東部の総人口は2025年に475千人へと増加し（2015年比+1%）、2040年に457千人へと減少する（2025年比-4%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の48千人が、2025年にかけて73千人へと増加し（2015年比+52%）、2040年には76千人へと増加する（2025年比+4%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 尾張東部の一人当たり医療費（国保）は309千円（偏差値48）、介護給付費は206千円（偏差値37）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 尾張東部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.8、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が62（病院医師数69、診療所医師数46）と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は58と多い。尾張東部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の愛知医科大学病院（Ⅰ群・救命）、藤田保健衛生大学病院（Ⅰ群・救命）、1000例以上の公立陶生病院（Ⅲ群・救命）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値44と少なく、回復期病床数は偏差値40と少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 尾張東部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、4675人（75歳以上1000人当たりの偏差値49）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2690床（偏差値47）、高齢者住宅等が1985床（偏差値51）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員（介護施設等）の合計は、3164人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム54、軽費ホーム58、グループホーム44、サ高住49である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値57と多く、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員（在宅）の合計は、765人（75歳以上1000人当たりの偏差値54）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-52%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

尾張東部医療圏の総人口は、2005年443072人が、2015年に471683人と6%増加し、2025年の人口が474542人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に23%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

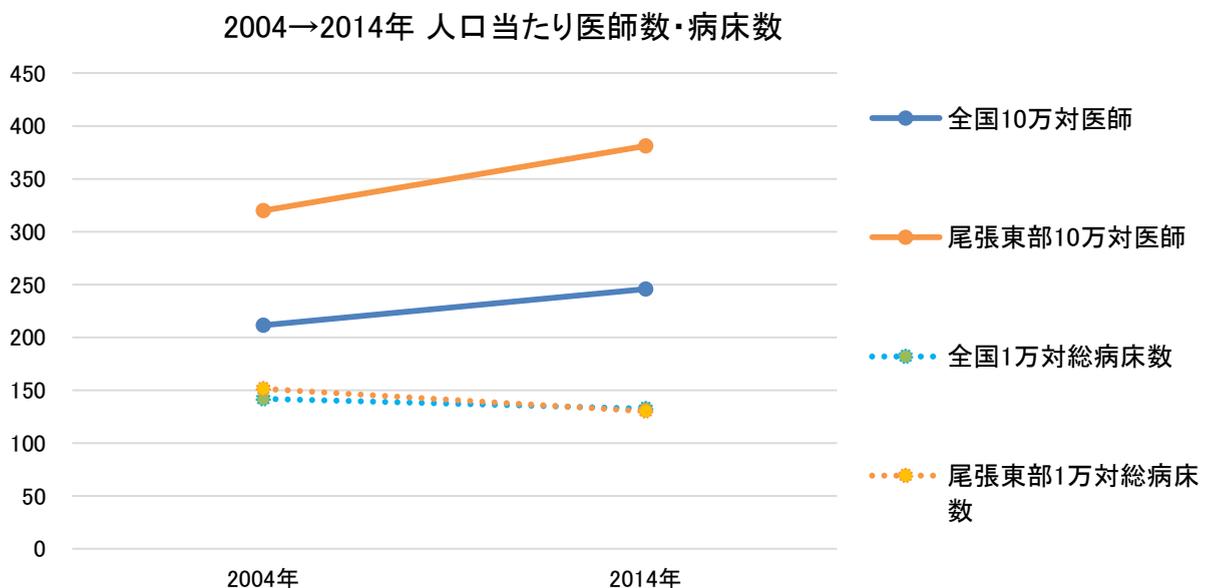
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が19(人口10万人当たり4.3病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に19(人口10万人当たり4病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が262(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値42)であったが、2014年に312(人口10万人当たり66診療所(全国平均79)偏差値43)と、50診療所が増加した。

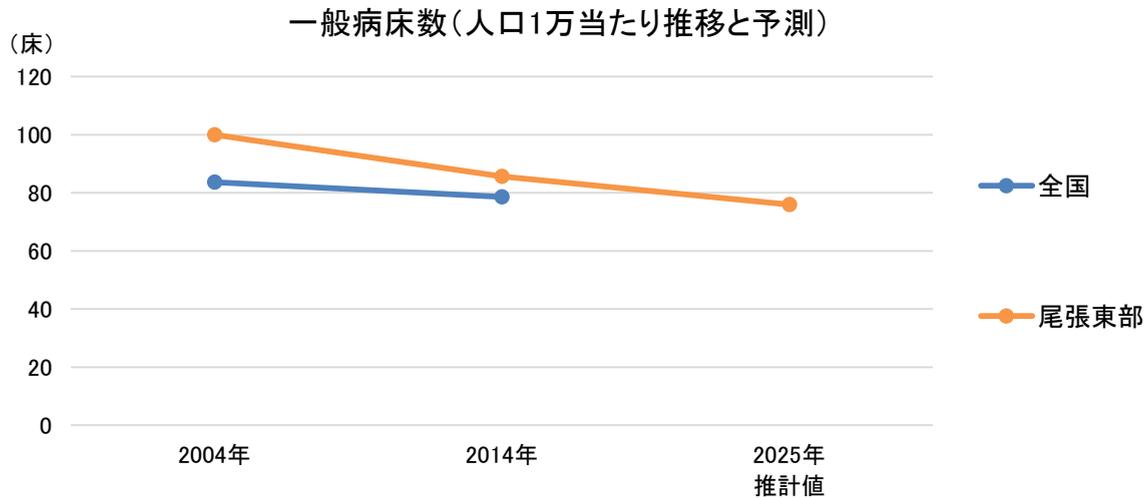
2004年の総病床数が6710床(人口1万人当たり151(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に6145床(人口1万人当たり130(全国平均133)偏差値50)と、565床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1417人(人口10万人当たり320人(全国平均212人)偏差値63)であったが、2014年に1798人(人口10万人当たり381人(全国平均246人)偏差値64)と、381人の増加、率にして27%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



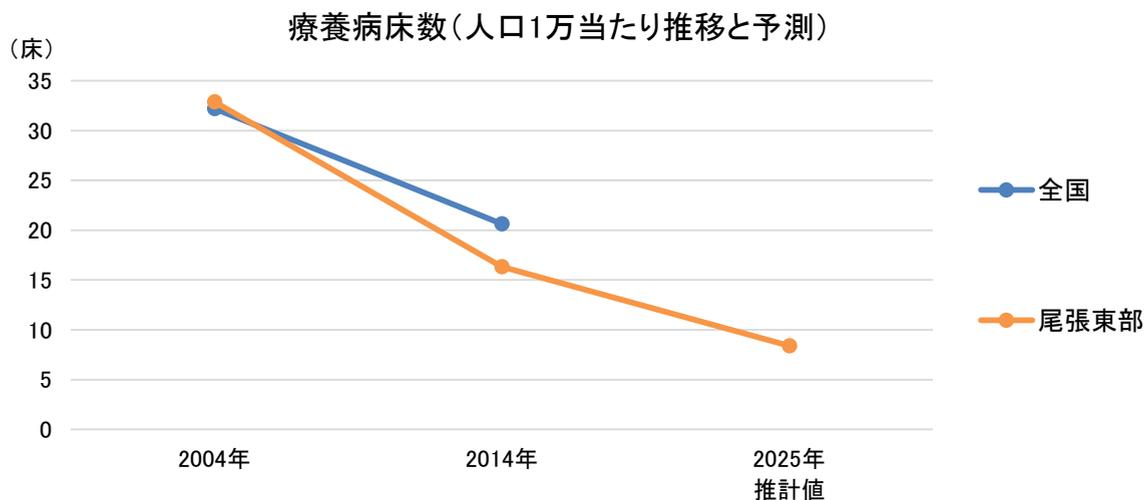
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4431床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に4038床(人口1万人当たり86(全国平均79)偏差値53)と、393床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3606床(2025年の推計人口1万人当たり76)になることが予想される。



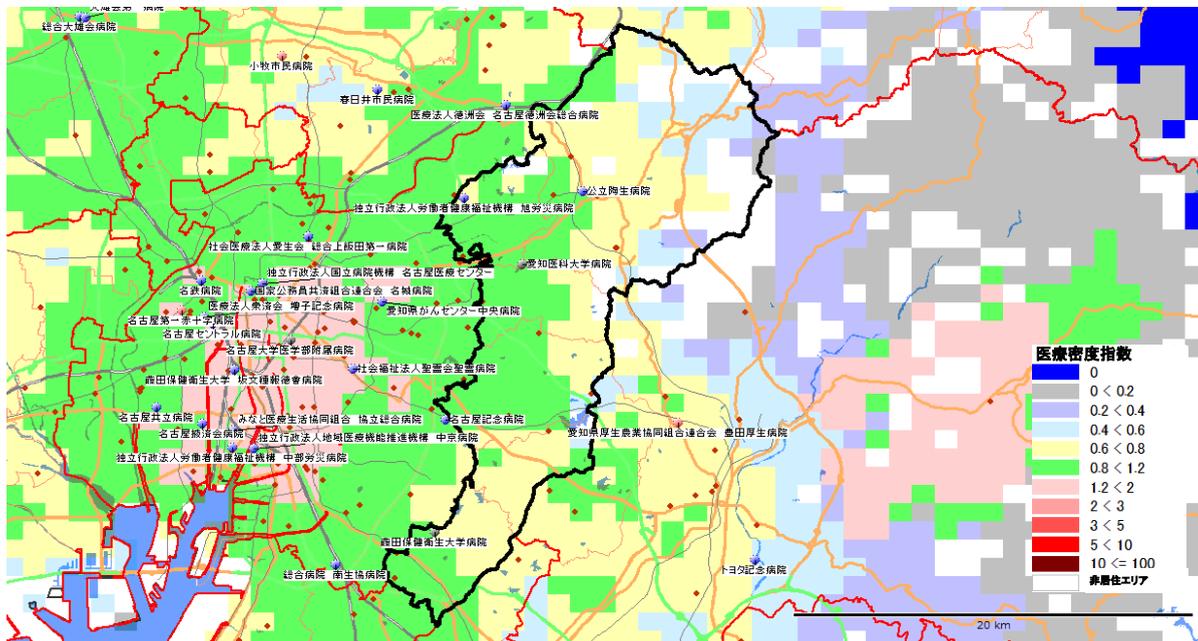
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が931床(75歳以上1000人当たり33(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に781床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、150床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には616床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

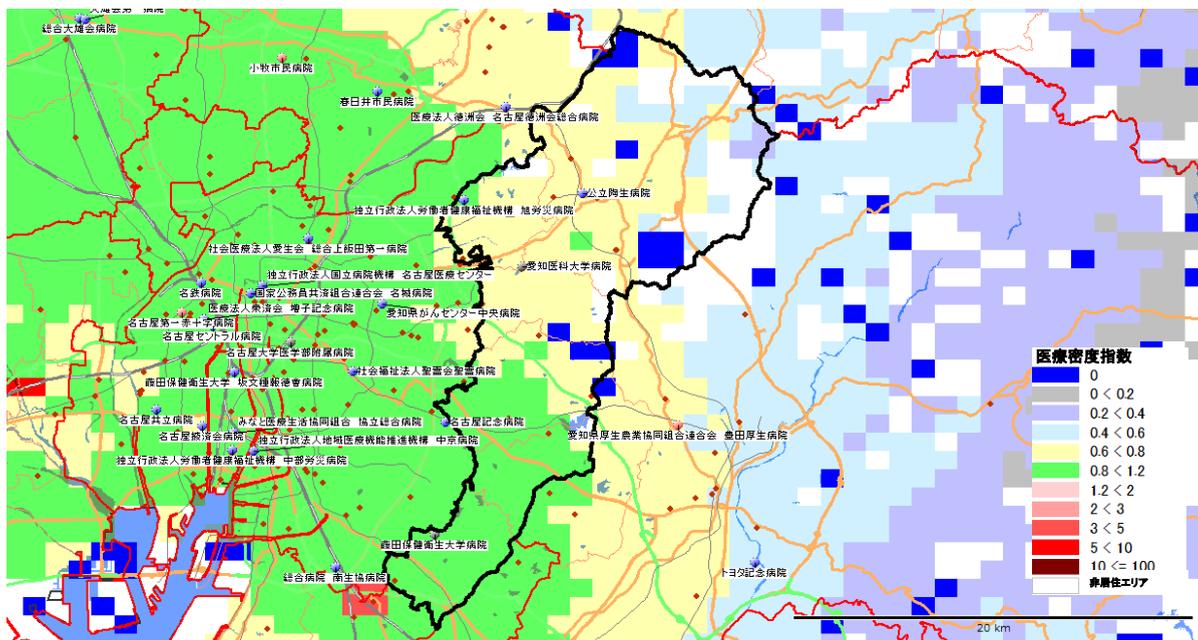


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-4-1 急性期医療密度指数マップ



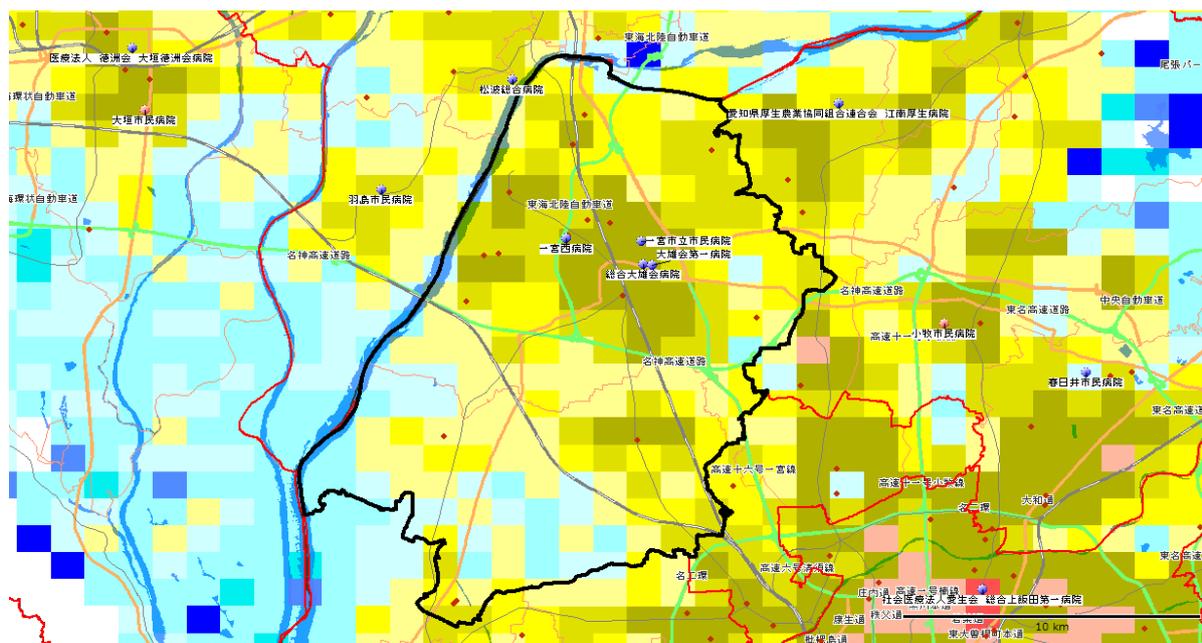
図表23-4-2 慢性期医療密度指数マップ



# 23-5. おわりせいぶ 尾張西部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [二宮市](#) [稲沢市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (尾張西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 尾張西部(一宮市)は、総人口約513千人(2015年推計)、面積193km<sup>2</sup>、人口密度は2657人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 尾張西部の総人口は2025年に495千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に447千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の59千人が、2025年にかけて83千人へと増加し(2015年比+41%)、2040年には80千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 尾張西部の一人当たり医療費(国保)は294千円(偏差値44)、介護給付費は211千円(偏差値39)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 尾張西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42(病院医師数42、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は43で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。尾張西部には、年間全身麻酔件数が1000例以上の一宮西病院(Ⅲ群)、一宮市立市民病院(Ⅲ群・救命)、総合大雄会病院(Ⅲ群・救命)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 尾張西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4481人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2991床(偏差値43)、高齢者住宅等が1490床(偏差値40)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3967人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設41、有料老人ホーム42、軽費ホーム55、グループホーム46、サ高住42である。

- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、823人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-65%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

尾張西部医療圏の総人口は、2005年508652人が、2015年に513312人と1%増加し、2025年の人口が494710人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

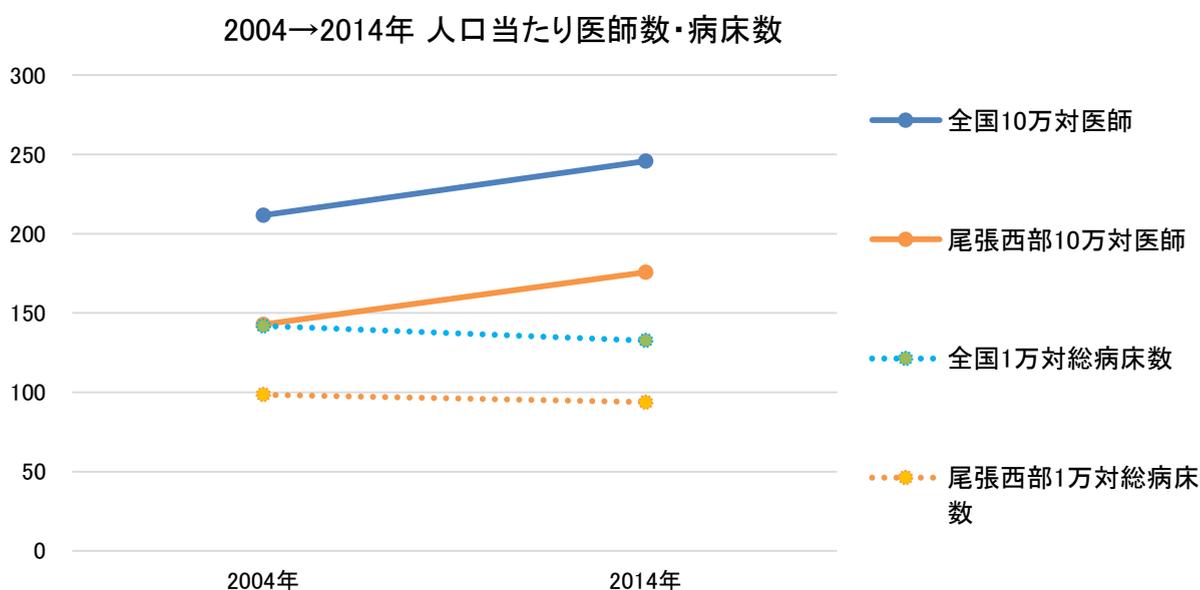
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が21(人口10万人当たり4.1病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に19(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が291(人口10万人当たり57診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に324(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値42)と、33診療所が増加した。

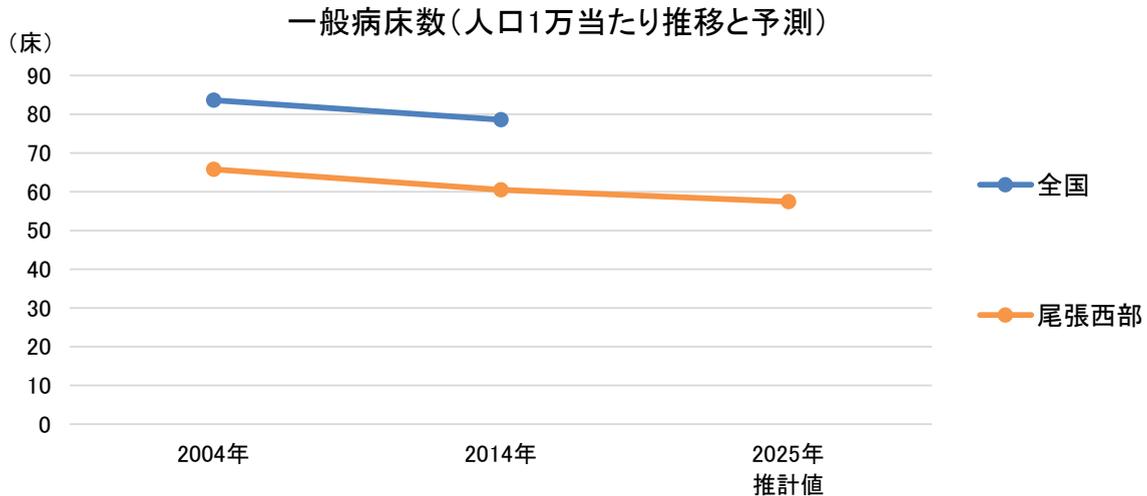
2004年の総病床数が5010床(人口1万人当たり98(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に4815床(人口1万人当たり94(全国平均133)偏差値43)と、195床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が726人(人口10万人当たり143人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2014年に902人(人口10万人当たり176人(全国平均246人)偏差値43)と、176人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



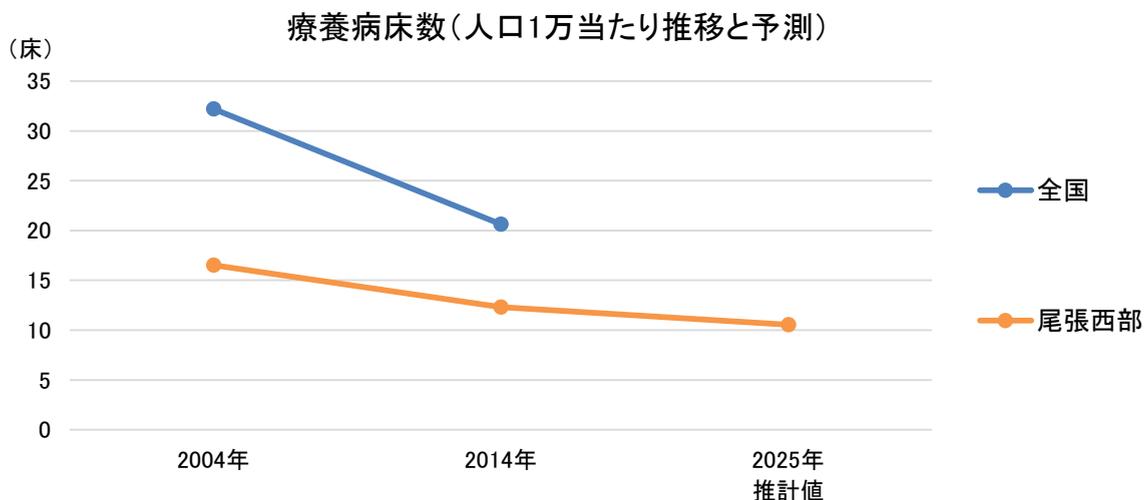
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3348床(人口1万人当たり66(全国平均84)偏差値44)であったが、2014年に3107床(人口1万人当たり61(全国平均79)偏差値43)と、241床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2842床(2025年の推計人口1万人当たり57)になることが予想される。



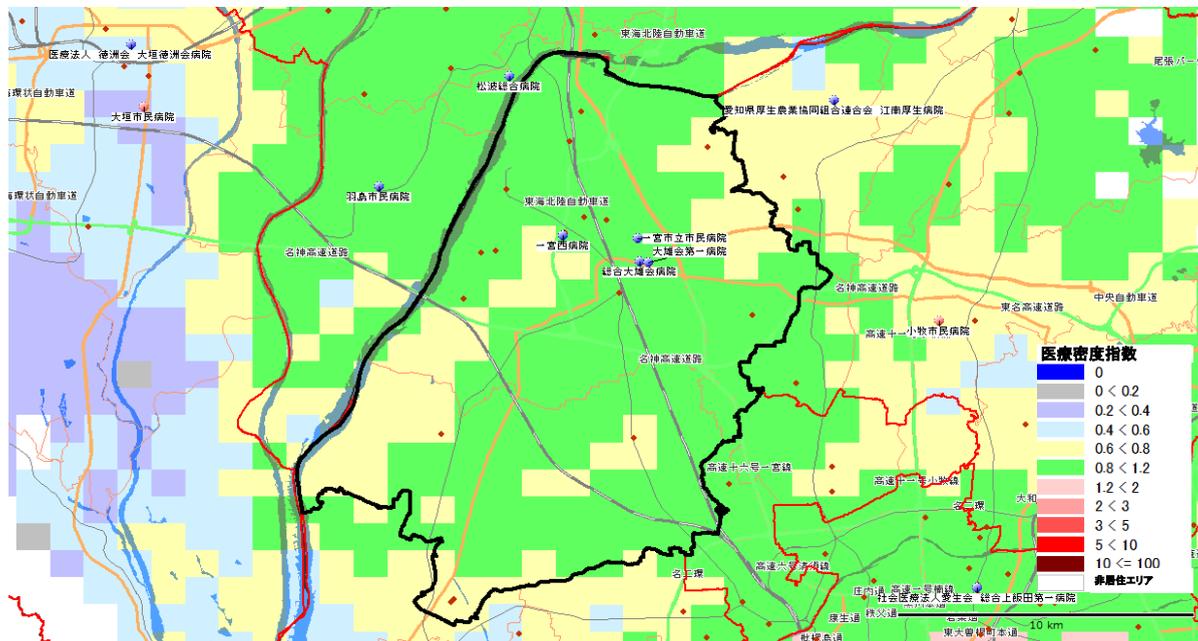
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が597床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に731床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値43)と、134床の増加、率にして22%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には878床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。

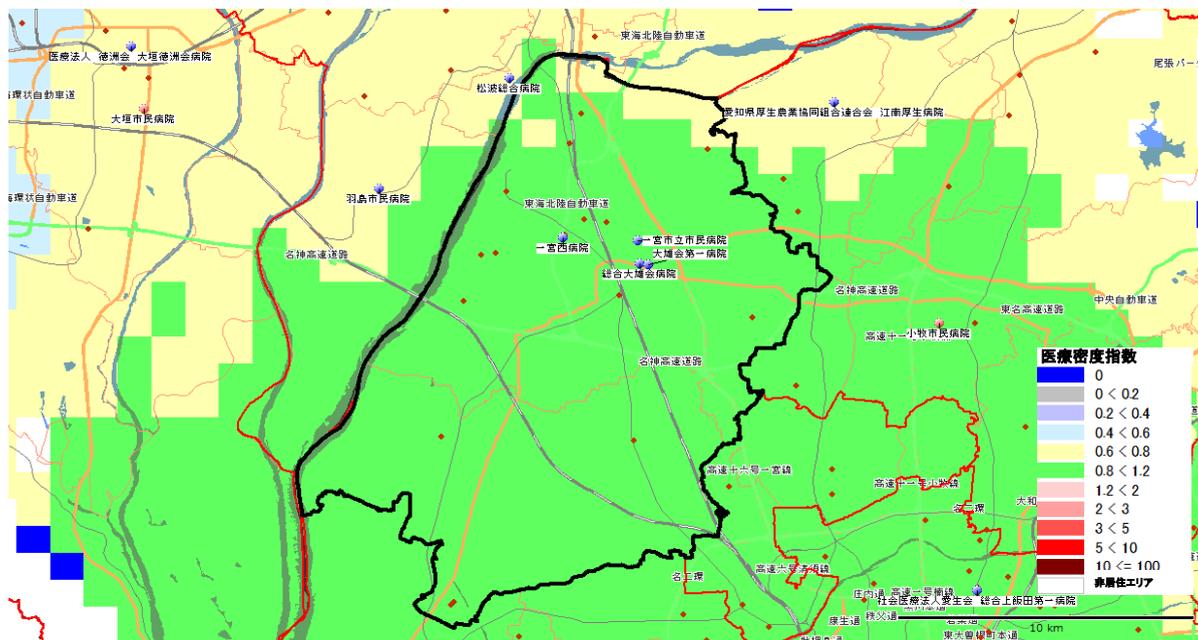


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-5-1 急性期医療密度指数マップ



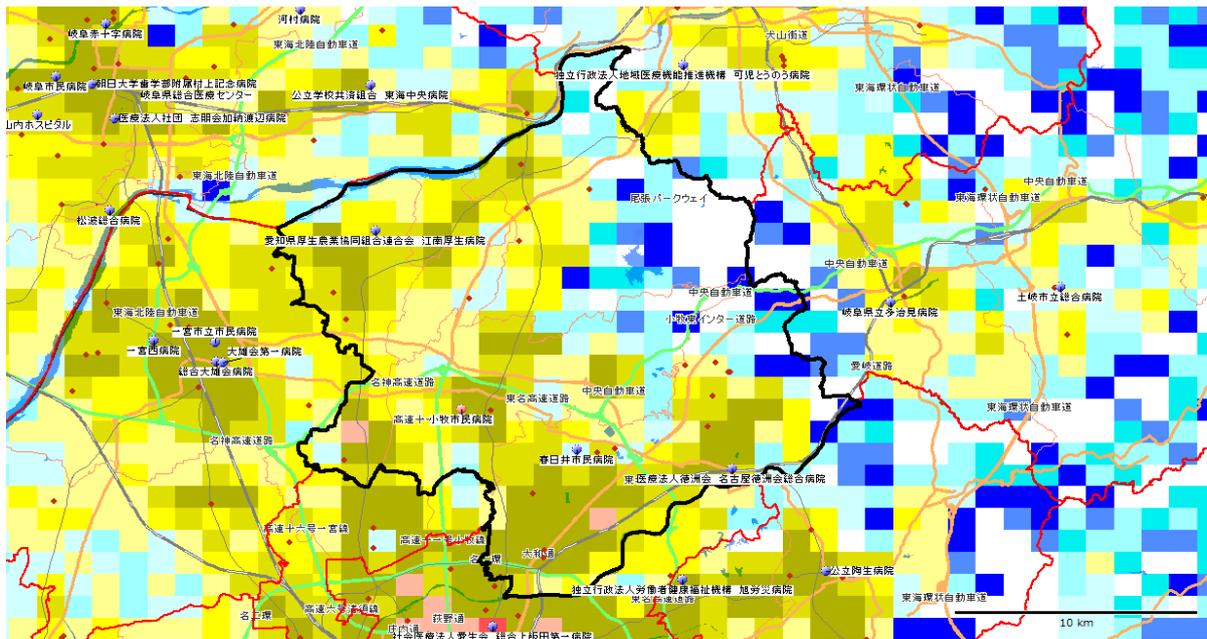
図表23-5-2 慢性期医療密度指数マップ



# 23-6. おわりほくぶ 尾張北部医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [春日井市](#) [犬山市](#) [江南市](#) [小牧市](#)  
[岩倉市](#) [大口町](#) [扶桑町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## （尾張北部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 尾張北部（春日井市）は、総人口約734千人（2015年推計）、面積296km<sup>2</sup>、人口密度は2481人/km<sup>2</sup>の大都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 尾張北部の総人口は2025年に718千人へと減少し（2015年比-2%）、2040年に661千人へと減少する（2025年比-8%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて118千人へと増加し（2015年比+51%）、2040年には113千人へと減少する（2025年比-4%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 尾張北部の一人当たり医療費（国保）は297千円（偏差値45）、介護給付費は190千円（偏差値33）であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 尾張北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.74、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.35で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が41（病院医師数40、診療所医師数44）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は39で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。尾張北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の小牧市民病院（Ⅱ群・救命）、1000例以上の江南厚生病院（Ⅲ群・救命）、名古屋徳洲会総合病院（Ⅲ群）、春日井市民病院（Ⅲ群・救命）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 尾張北部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、5475人（75歳以上1000人当たりの偏差値33）と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3834床（偏差値42）、高齢者住宅等が1641床（偏差値38）である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、5204人（75歳以上1000人当たりの偏差値42）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム45、軽費ホーム46、グループホーム45、サ高住36である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員（在宅）の合計は、927人（75歳以上1000人当たりの偏差値47）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-81%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

尾張北部医療圏の総人口は、2005年718396人が、2015年に734273人と2%増加し、2025年の人口が718415人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

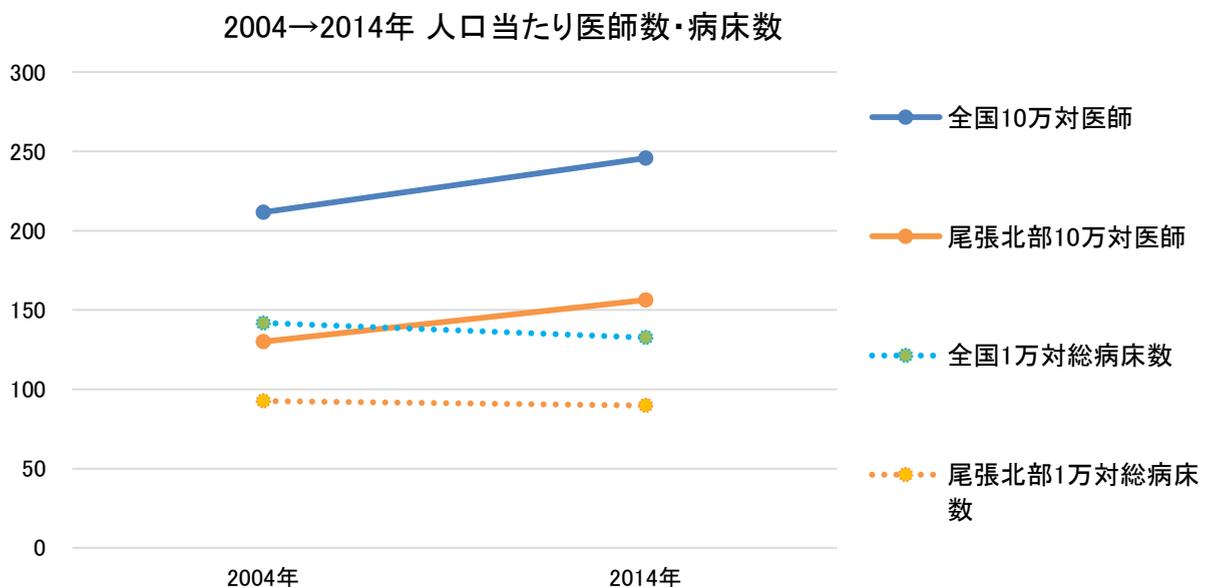
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が25(人口10万人当たり3.5病院(全国平均7.1)偏差値41)であったが、2014年に24(人口10万人当たり3.3病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が423(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に475(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値42)と、52診療所が増加した。

2004年の総病床数が6655床(人口1万人当たり93(全国平均142)偏差値41)であったが、2014年に6597床(人口1万人当たり90(全国平均133)偏差値42)と、58床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

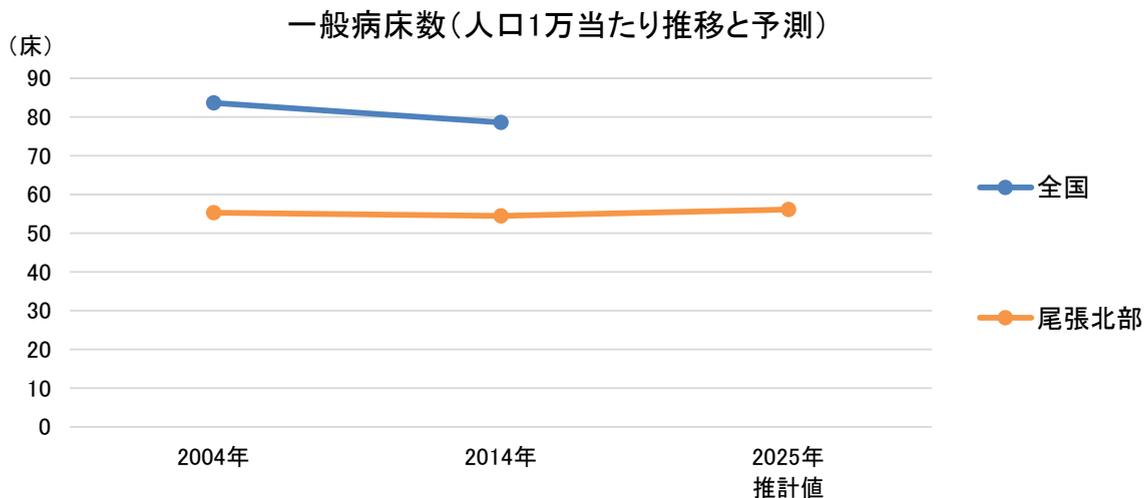
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が934人(人口10万人当たり130人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に1148人(人口10万人当たり156人(全国平均246人)偏差値41)と、214人の増加、率にして23%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 23. 愛知県（2016年版）

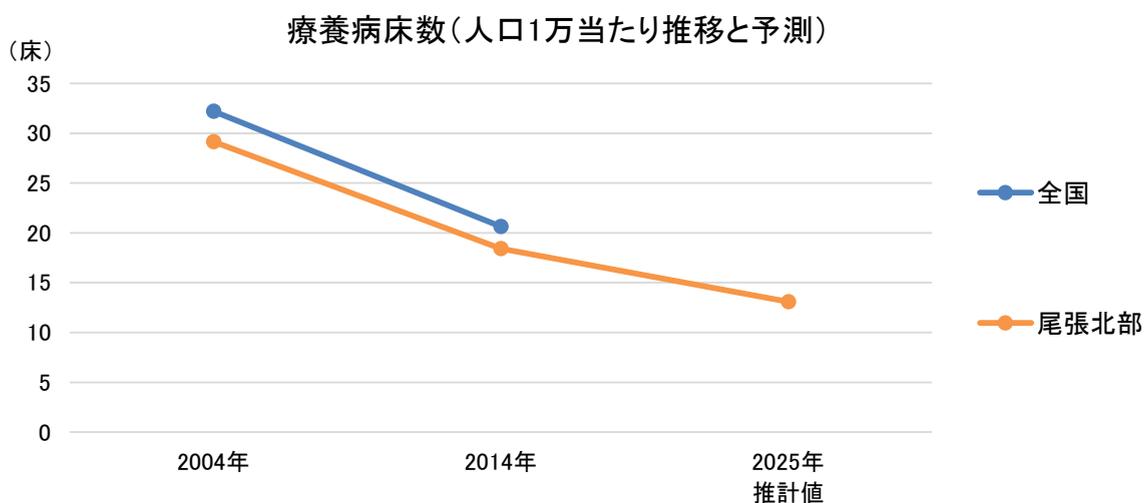
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3971床(人口1万人当たり55(全国平均84)偏差値40)であったが、2014年に4000床(人口1万人当たり54(全国平均79)偏差値41)と、29床の増加、率にして1%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には4032床(2025年の推計人口1万人当たり56)になることが予想される。



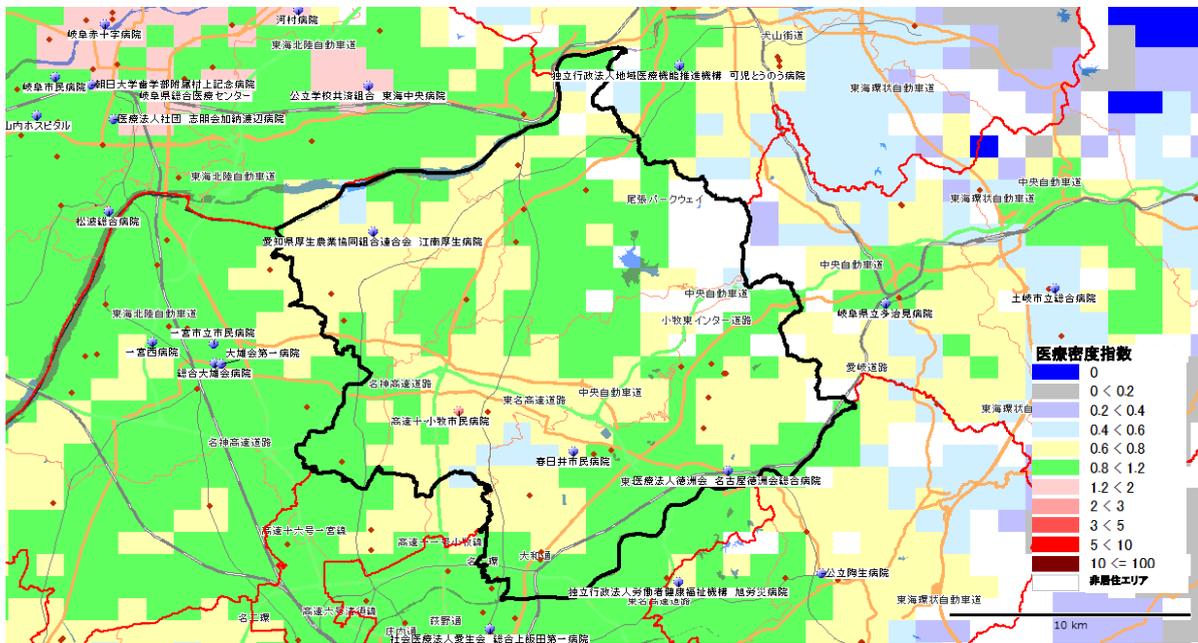
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1333床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に1437床(75歳以上1000人当たり18(全国平均21)偏差値48)と、104床の増加、率にして8%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1551床(2025年の推計75歳以上1000人当たり13)になることが予想される。

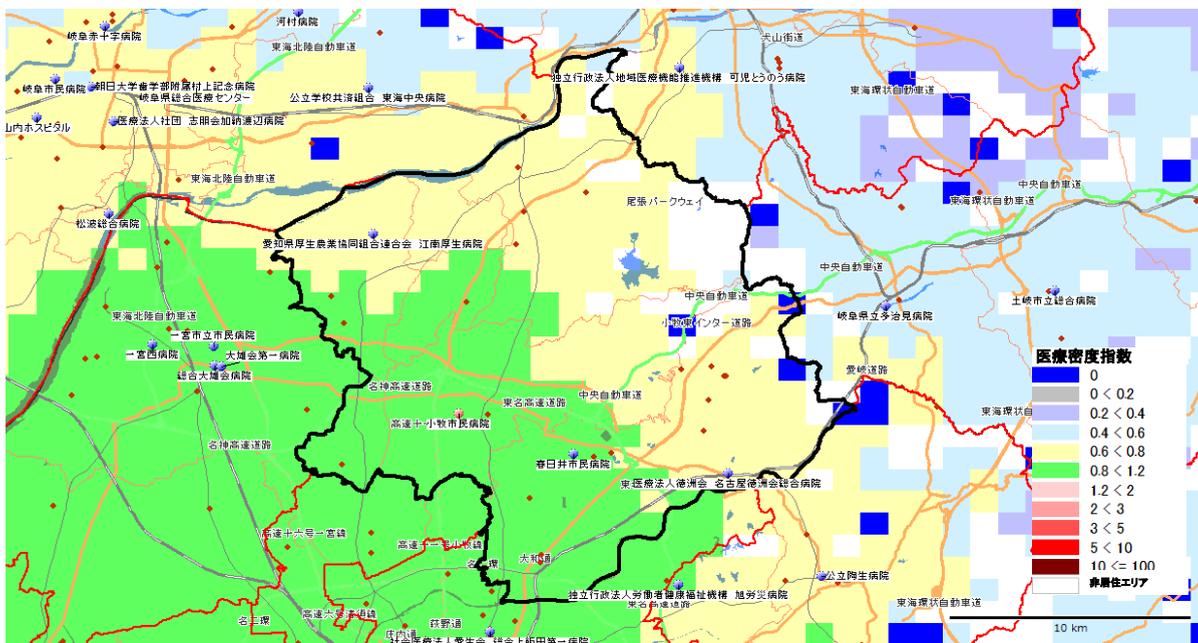


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-6-1 急性期医療密度指数マップ



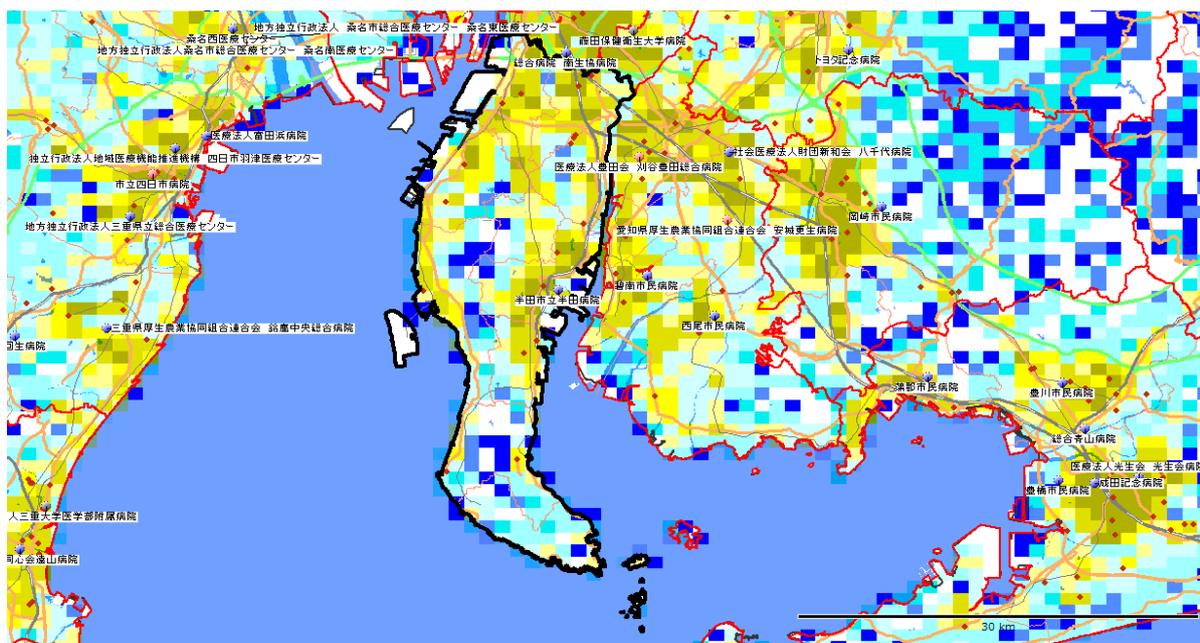
図表23-6-2 慢性期医療密度指数マップ



# ち た は ん と う 23-7. 知多半島医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> 半田市                      常滑市                      東海市                      大府市  
知多市                      阿久比町                      東浦町                      南知多町  
美浜町                      武豊町

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (知多半島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

- \*人口、面積など： 知多半島(半田市)は、総人口約621千人(2015年推計)、面積391km<sup>2</sup>、人口密度は1587人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。
- \*人口の将来予測： 知多半島の総人口は2025年に613千人へと減少し(2015年比-1%)、2040年に577千人へと減少する(2025年比-6%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の66千人が、2025年にかけて93千人へと増加し(2015年比+41%)、2040年には93千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。
- \*医療費と介護給付費： 知多半島の一人当たり医療費(国保)は300千円(偏差値45)、介護給付費は218千円(偏差値40)であり、医療費はやや低く、介護給付費は低い。

## 【医療の現状】

- \*入院医療の充実度： 知多半島の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.67、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.4で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。
- \*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が38(病院医師数38、診療所医師数43)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。
- \*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。知多半島には、年間全身麻酔件数が1000例以上の半田市立半田病院(Ⅲ群・救命)がある。
- \*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は41と療養病床数は少ない。
- \*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。
- \*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。
- \*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は41で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

- \*介護施設の現状： 知多半島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6190人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3949床(偏差値50)、高齢者住宅等が2241床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4792人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。  
施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設55、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム51、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム49、サ高住43である。
- \*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、555人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- \*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-42%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

知多半島医療圏の総人口は、2005年596891人が、2015年に620641人と4%増加し、2025年の人口が612917人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

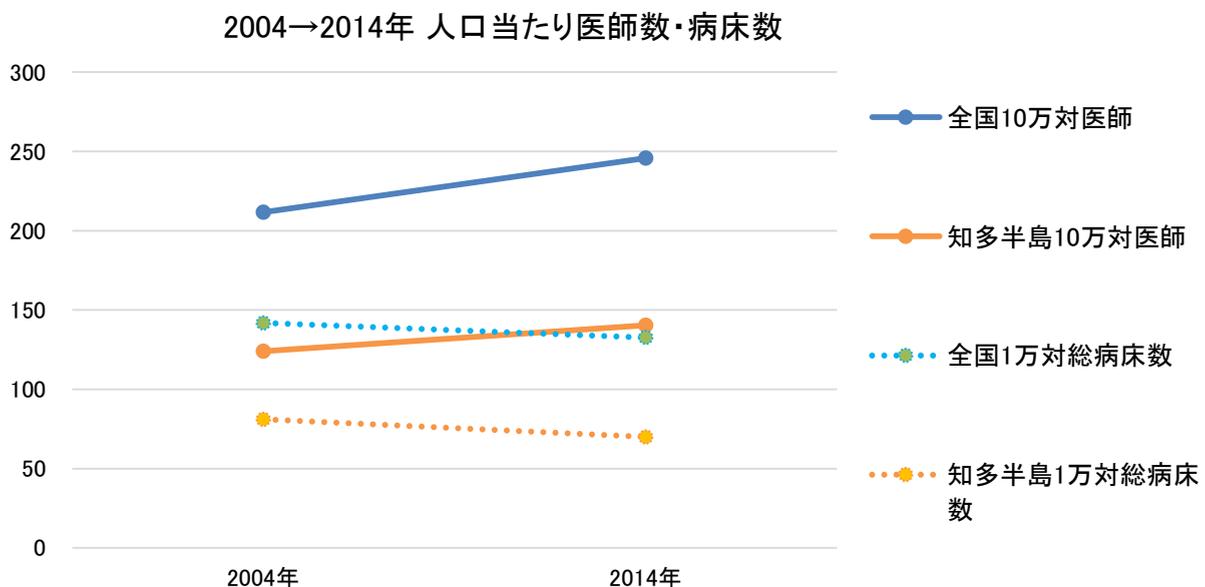
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が19(人口10万人当たり3.2病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2014年に19(人口10万人当たり3.1病院(全国平均6.7)偏差値41)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が318(人口10万人当たり53診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2014年に378(人口10万人当たり61診療所(全国平均79)偏差値41)と、60診療所が増加した。

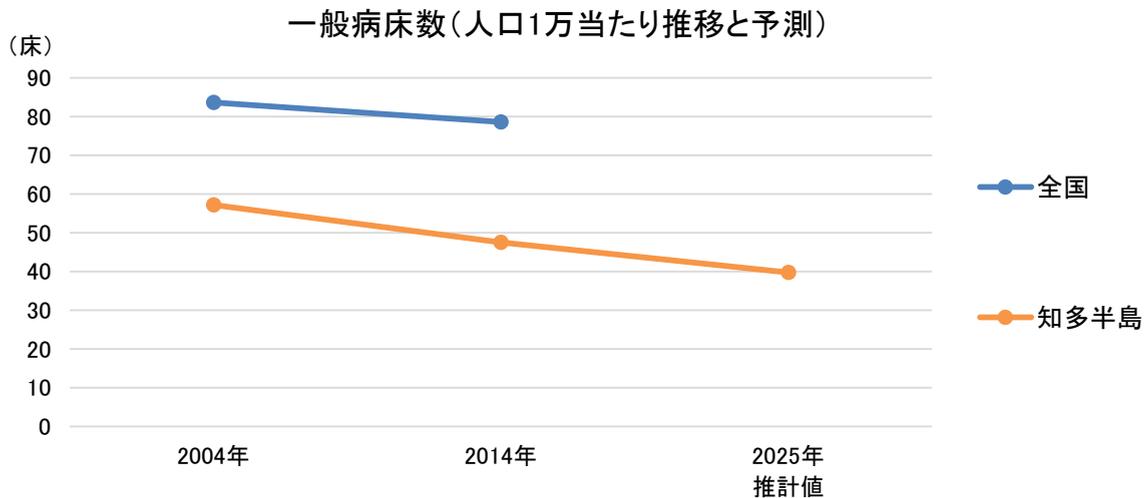
2004年の総病床数が4839床(人口1万人当たり81(全国平均142)偏差値39)であったが、2014年に4341床(人口1万人当たり70(全国平均133)偏差値39)と、498床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が740人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に871人(人口10万人当たり140人(全国平均246人)偏差値39)と、131人の増加、率にして18%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



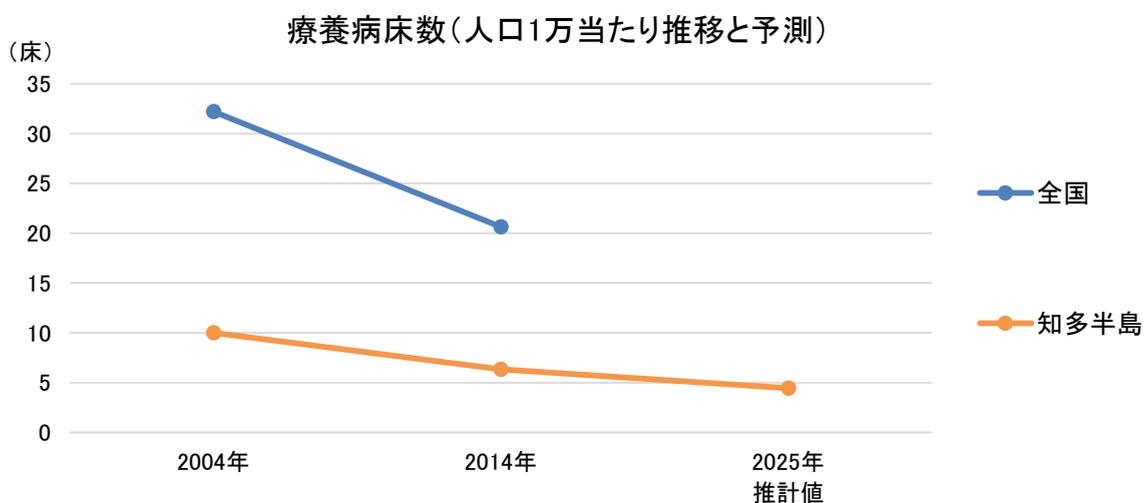
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3413床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に2948床(人口1万人当たり47(全国平均79)偏差値39)と、465床の減少、率にして14%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2437床(2025年の推計人口1万人当たり40)になることが予想される。



### 【療養病床の推移と今後の予測】

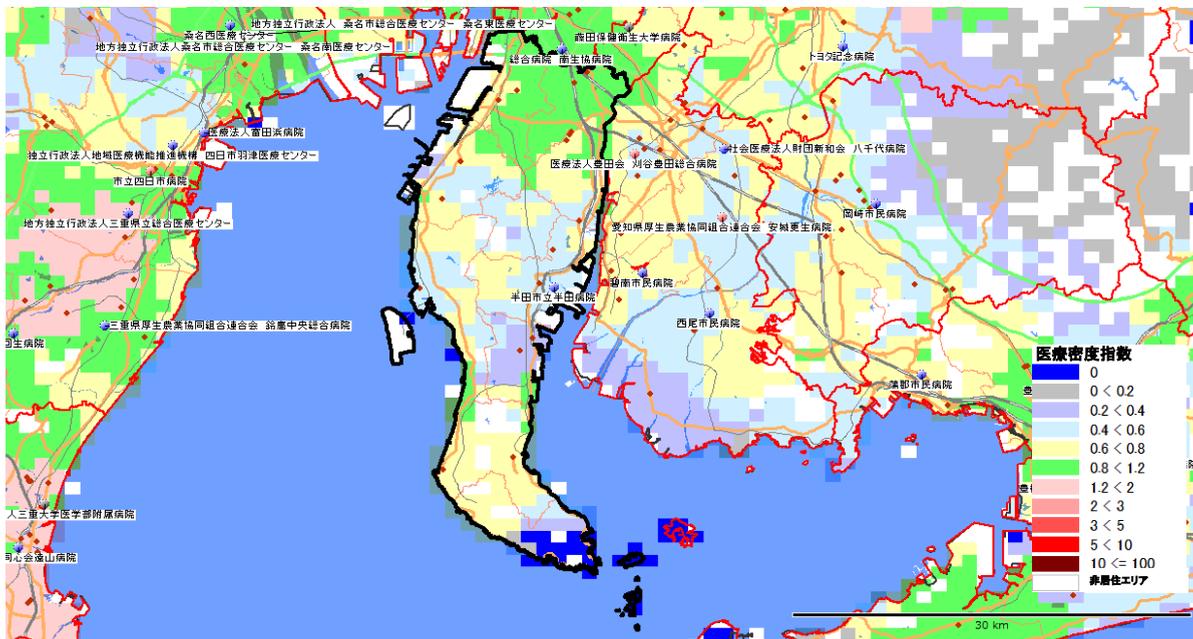
2004年の療養病床(病院+診療所)が418床(75歳以上1000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2014年に416床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値38)と、2床の減少、率にして1%未満の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には414床(2025年の推計75歳以上1000人当たり4)になることが予想される。



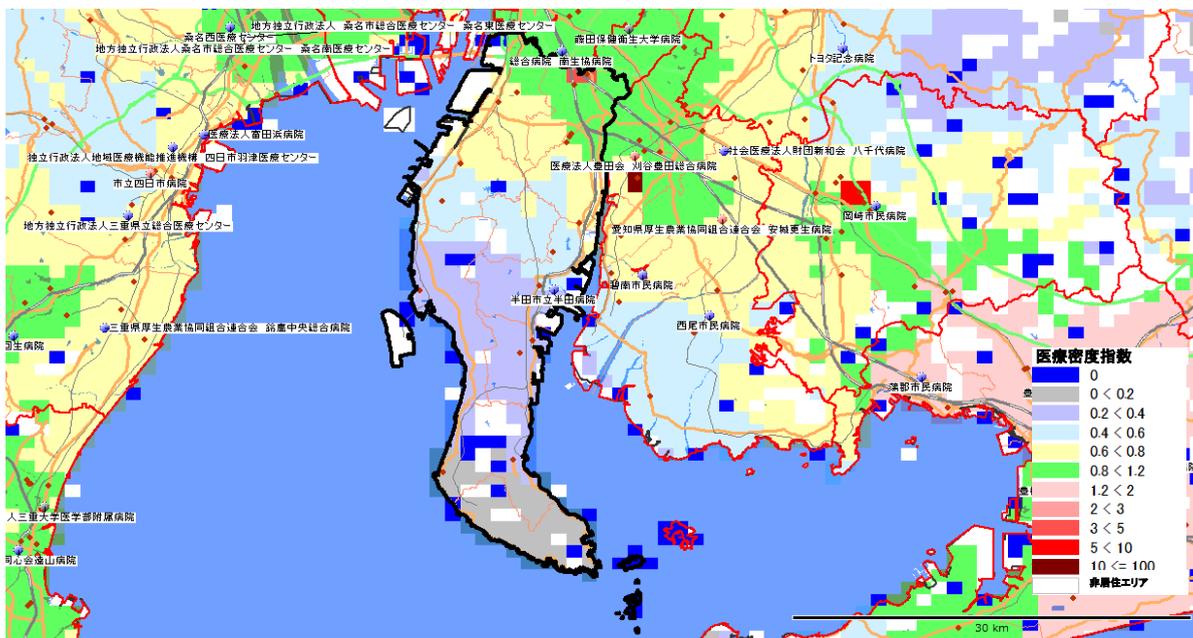
## 23. 愛知県 (2016年版)

### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-7-2 慢性期医療密度指数マップ

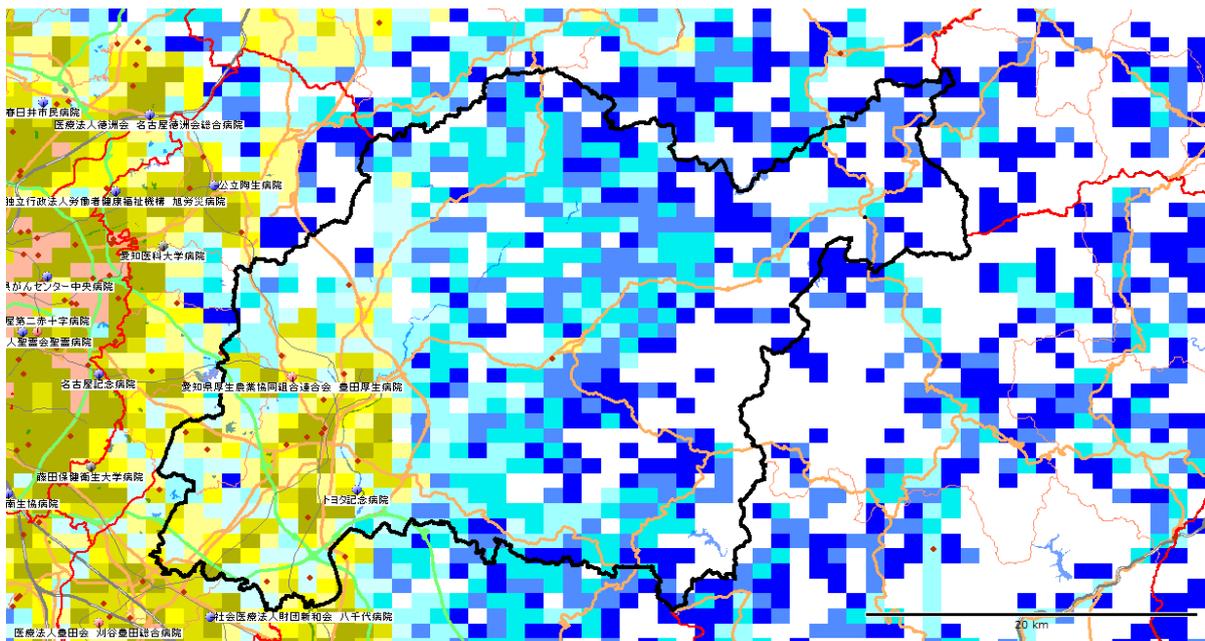


# 23-8. にし み か わ ほ く ぶ 西三河 北 部 医 療 圏

構成市区町村<sup>10</sup> [豊田市](#)

[みよし市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （西三河北部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 西三河北部（豊田市）は、総人口約489千人（2015年推計）、面積951km<sup>2</sup>、人口密度は515人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 西三河北部の総人口は2025年に492千人へと増加し（2015年比+1%）、2040年に473千人へと減少する（2025年比-4%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて66千人へと増加し（2015年比+65%）、2040年には74千人へと増加する（2025年比+12%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 西三河北部の一人当たり医療費（国保）は297千円（偏差値45）、介護給付費は186千円（偏差値32）であり、医療費はやや低く、介護給付費は非常に低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 西三河北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.62、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.58で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40（病院医師数40、診療所医師数41）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は36で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。西三河北部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の豊田厚生病院（Ⅱ群・救命）、1000例以上のトヨタ記念病院（Ⅲ群・救命）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値39と少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 西三河北部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、3085人（75歳以上1000人当たりの偏差値37）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2187床（偏差値46）、高齢者住宅等が898床（偏差値39）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2493人（75歳以上1000人当たりの偏差値37）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム45、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム48、サ高住36である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員（在宅）の合計は、302人（75歳以上1000人当たりの偏差値39）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-114%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

西三河北部医療圏の総人口は、2005年468393人が、2015年に489468人と4%増加し、2025年の人口が492104人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて12%程度の増加が予測される。

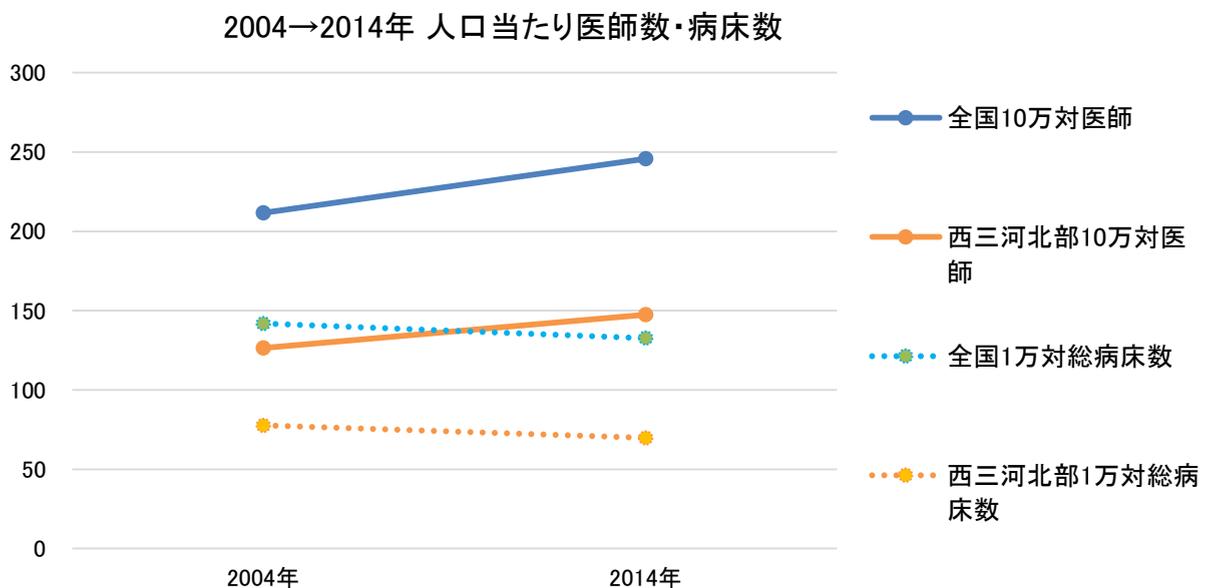
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が22(人口10万人当たり4.7病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に18(人口10万人当たり3.7病院(全国平均6.7)偏差値43)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が215(人口10万人当たり46診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2014年に260(人口10万人当たり53診療所(全国平均79)偏差値37)と、45診療所が増加した。

2004年の総病床数が3637床(人口1万人当たり78(全国平均142)偏差値39)であったが、2014年に3414床(人口1万人当たり70(全国平均133)偏差値39)と、223床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

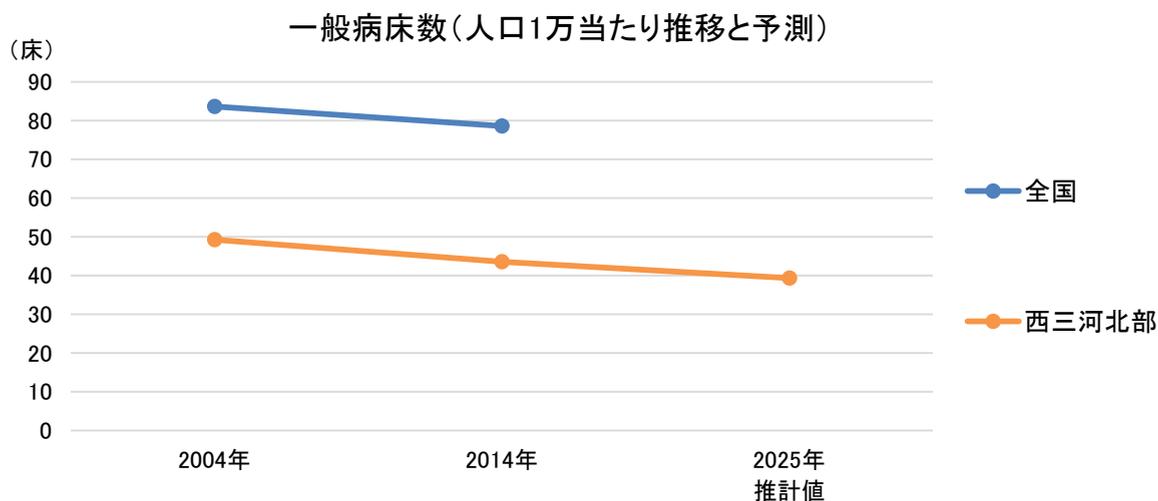
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が592人(人口10万人当たり126人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に722人(人口10万人当たり148人(全国平均246人)偏差値40)と、130人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 23. 愛知県（2016年版）

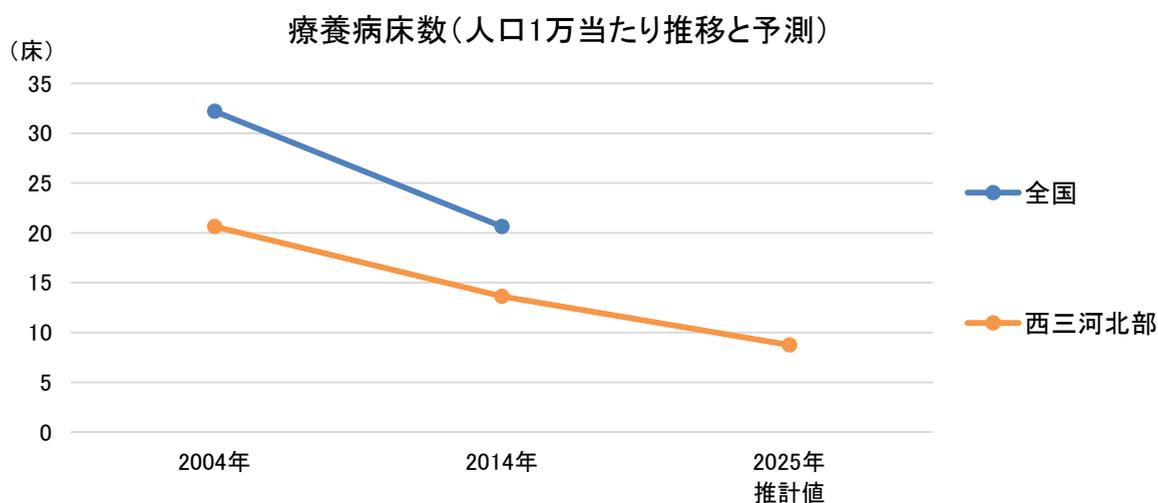
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2309床(人口1万人当たり49(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に2132床(人口1万人当たり44(全国平均79)偏差値37)と、177床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1937床(2025年の推計人口1万人当たり39)になることが予想される。



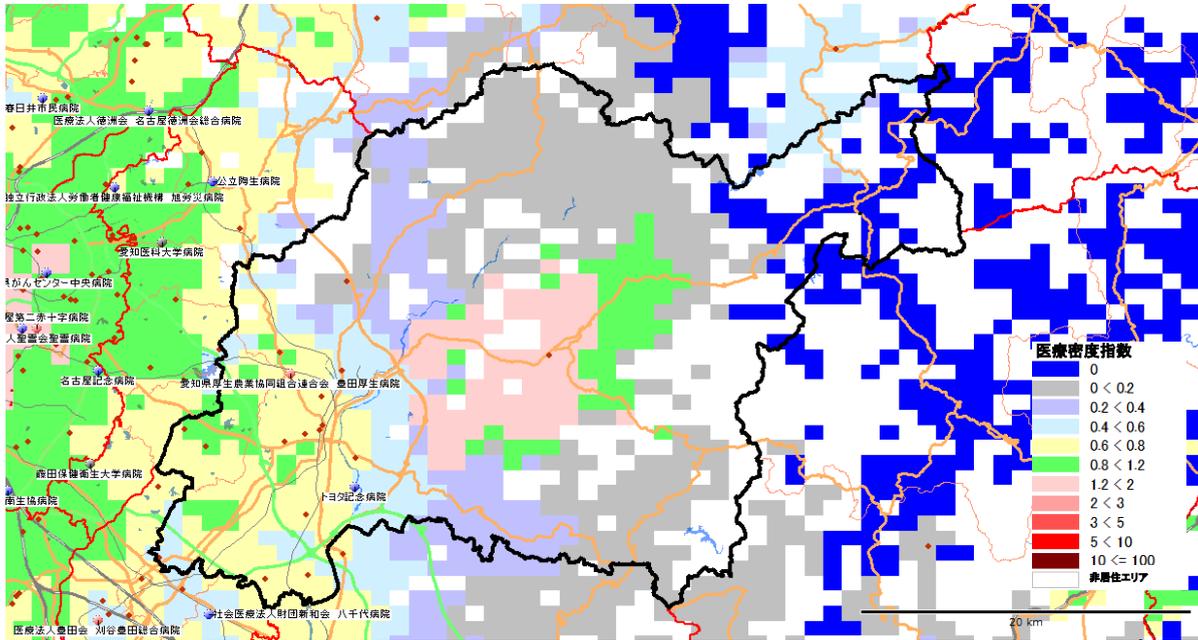
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が516床(75歳以上1000人当たり21(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に547床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、31床の増加、率にして6%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には581床(2025年の推計75歳以上1000人当たり9)になることが予想される。

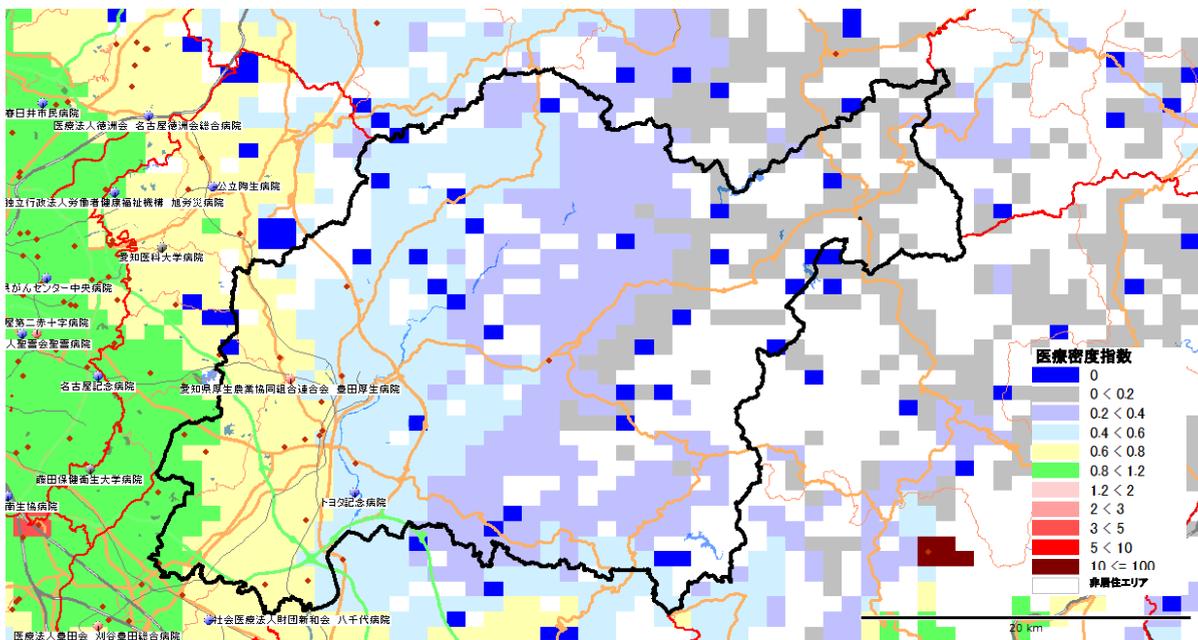


### 3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-8-1 急性期医療密度指数マップ



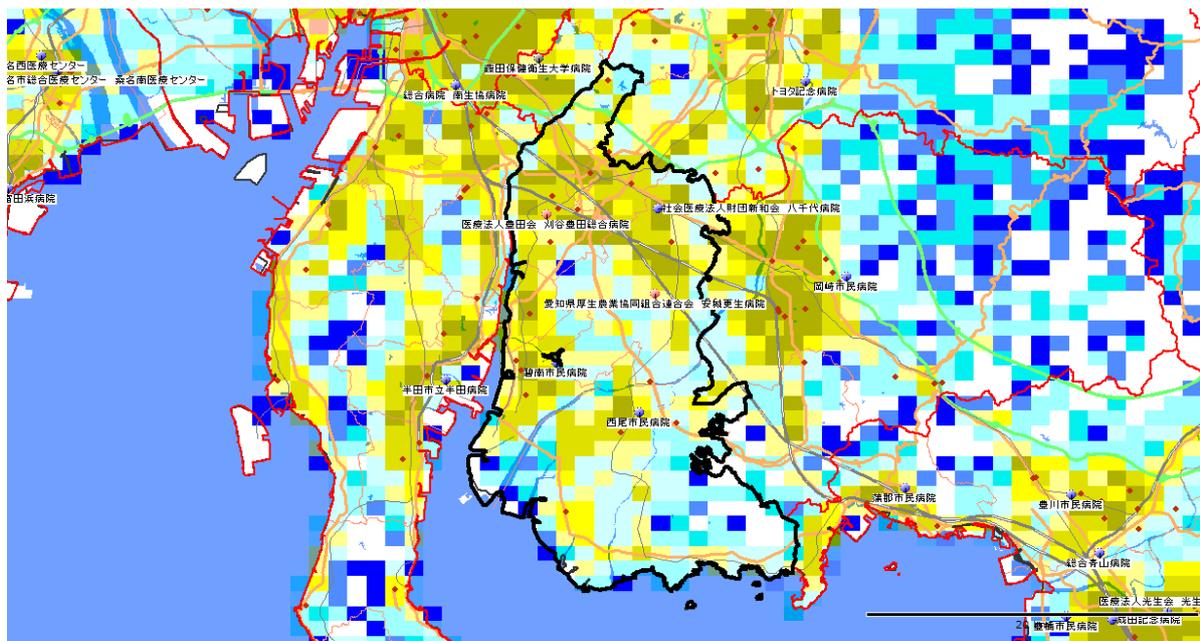
図表23-8-2 慢性期医療密度指数マップ



# にし みか わ な ん ぶ に し 23-9. 西三河南部西医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [碧南市](#) [刈谷市](#) [安城市](#) [西尾市](#)  
[知立市](#) [高浜市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



## (西三河南部西医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 西三河南部西(碧南市)は、総人口約685千人(2015年推計)、面積362km<sup>2</sup>、人口密度は1891人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 西三河南部西の総人口は2025年に686千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に661千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の65千人が、2025年にかけて93千人へと増加し(2015年比+43%)、2040年には104千人へと増加する(2025年比+12%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 西三河南部西の一人当たり医療費(国保)は284千円(偏差値41)、介護給付費は209千円(偏差値38)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 西三河南部西の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.57、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.67で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が40(病院医師数42、診療所医師数40)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は38で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。西三河南部西には、年間全身麻酔件数が2000例以上の安城更生病院(Ⅱ群・救命)、刈谷豊田総合病院(Ⅱ群・救命)、500例以上の西尾市民病院(Ⅲ群)、八千代病院(Ⅲ群)、碧南市民病院(Ⅲ群)がある。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 西三河南部西の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、5447人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3461床(偏差値45)、高齢者住宅等が1986床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4208人(75歳以上1000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設44、有料老人ホーム40、軽費ホーム51、グループホーム43、サ高住57である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、613人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-97%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

西三河南部西医療圏の総人口は、2005年654460人が、2015年に684538人と5%増加し、2025年の人口が685700人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて9%程度の増加が予測される。

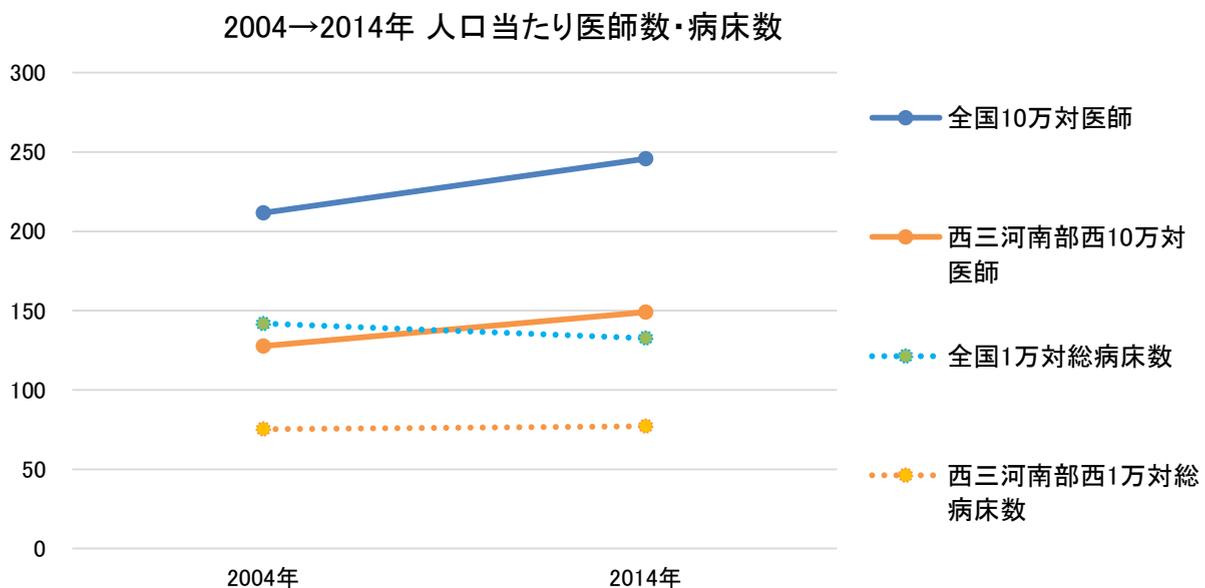
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が22(人口10万人当たり3.4病院(全国平均7.1)偏差値40)であったが、2014年に22(人口10万人当たり3.2病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が338(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に387(人口10万人当たり57診療所(全国平均79)偏差値38)と、49診療所が増加した。

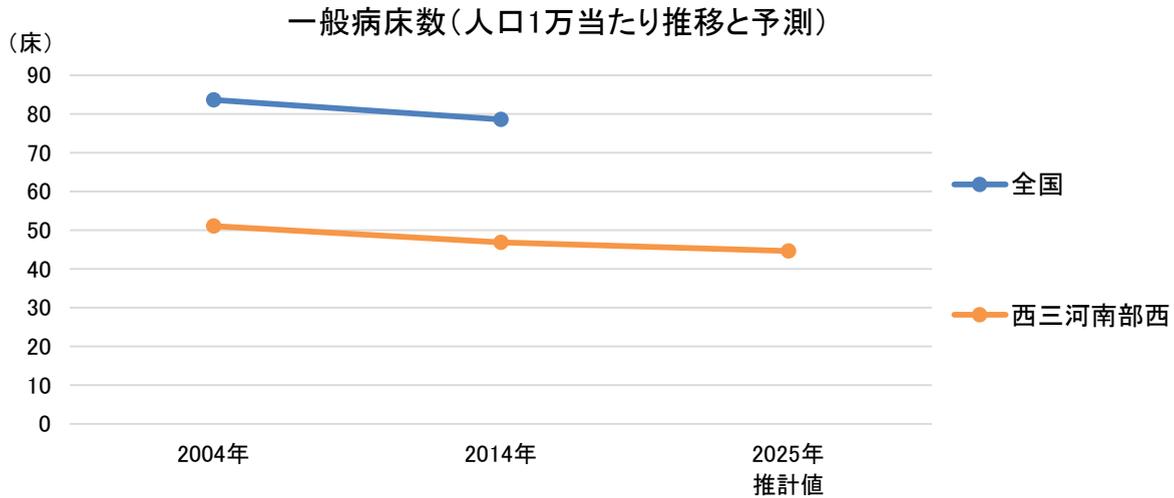
2004年の総病床数が4929床(人口1万人当たり75(全国平均142)偏差値38)であったが、2014年に5276床(人口1万人当たり77(全国平均133)偏差値40)と、347床の増加、率にして7%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が836人(人口10万人当たり128人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に1021人(人口10万人当たり149人(全国平均246人)偏差値40)と、185人の増加、率にして22%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



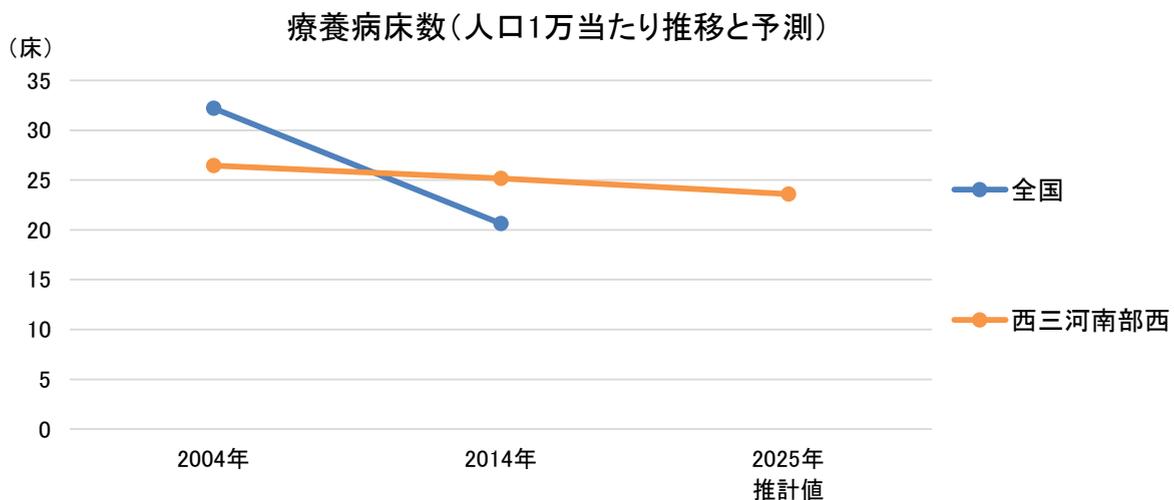
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3345床(人口1万人当たり51(全国平均84)偏差値38)であったが、2014年に3210床(人口1万人当たり47(全国平均79)偏差値38)と、135床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3062床(2025年の推計人口1万人当たり45)になることが予想される。



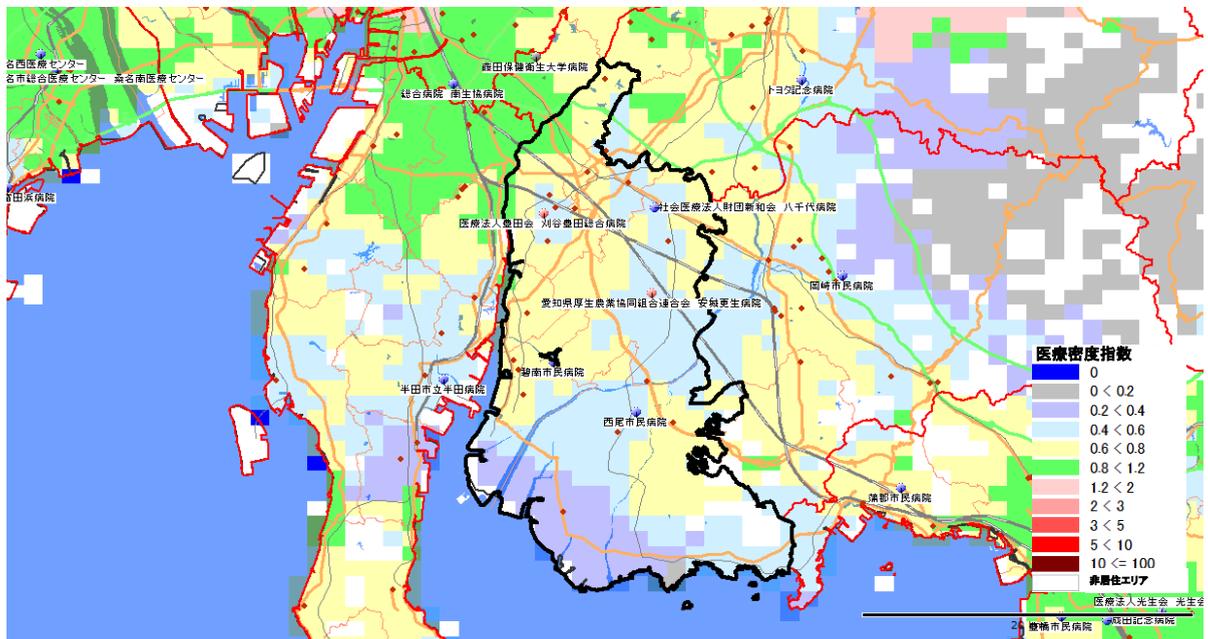
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1151床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値47)であったが、2014年に1645床(75歳以上1000人当たり25(全国平均21)偏差値54)と、494床の増加、率にして43%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2188床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

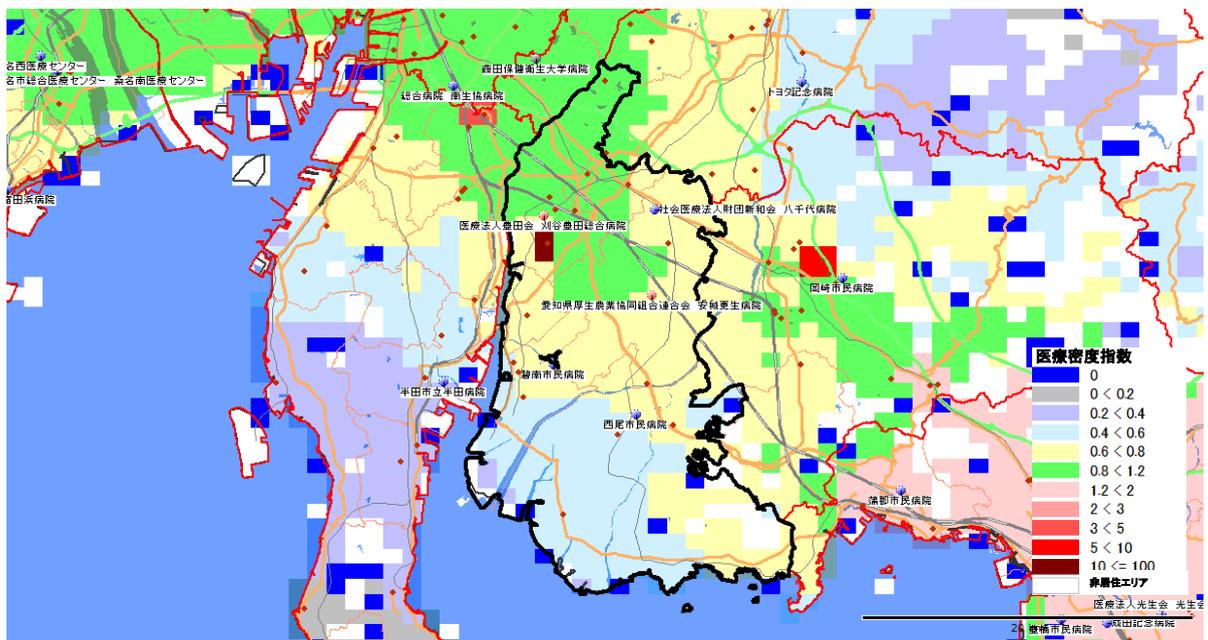


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-9-1 急性期医療密度指数マップ



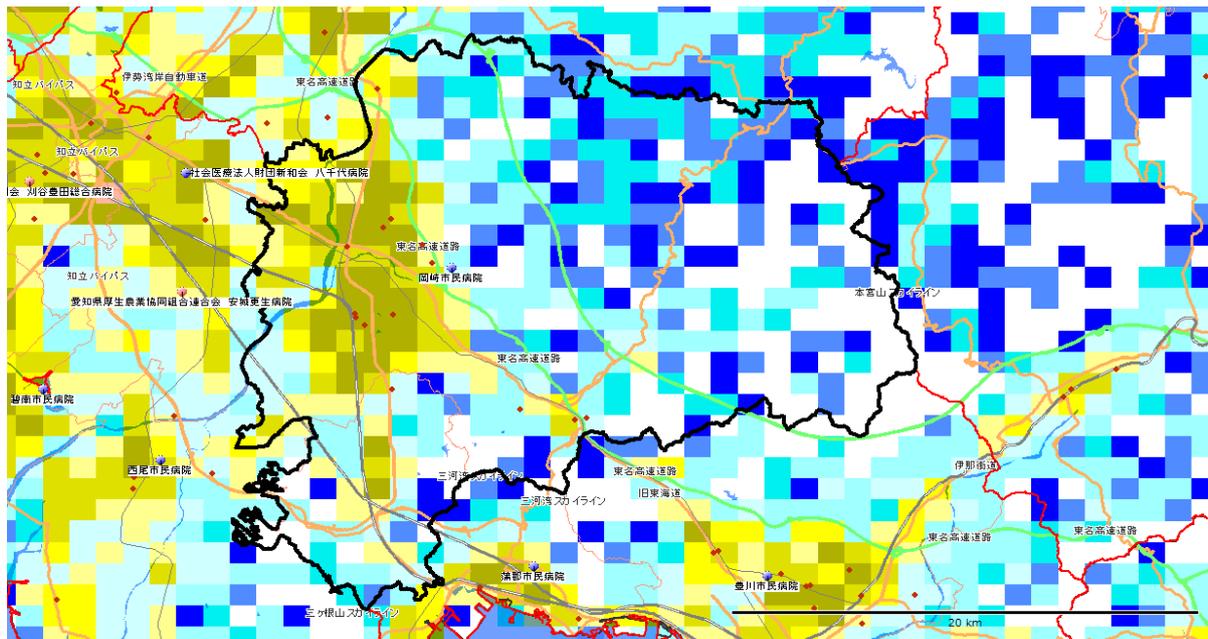
図表23-9-2 慢性期医療密度指数マップ



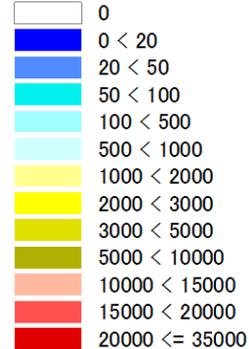
# にしみかわなんぶひがし 23-10. 西三河南部東医療圏

構成市区町村<sup>10</sup> [岡崎市](#) [幸田町](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （西三河南部東医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 西三河南部東(岡崎市)は、総人口約416千人(2015年推計)、面積444km<sup>2</sup>、人口密度は936人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 西三河南部東の総人口は2025年に414千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年に394千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の39千人が、2025年にかけて59千人へと増加し(2015年比+51%)、2040年には67千人へと増加する(2025年比+14%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 西三河南部東の一人当たり医療費(国保)は278千円(偏差値40)、介護給付費は212千円(偏差値39)であり、医療費、介護給付費ともに低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 西三河南部東の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.59、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.36で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が37(病院医師数37、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は39と少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は34で、一般病床は非常に少ない。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。西三河南部東には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岡崎市民病院(Ⅲ群・救命)、500例以上の愛知県がんセンター愛知病院(Ⅲ群)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 西三河南部東の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3276人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1932床(偏差値41)、高齢者住宅等が1344床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2741人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム50、軽費ホーム47、グループホーム45、サ高住47である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値51と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、340人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-102%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

西三河南部東医療圏の総人口は、2005年399403人が、2015年に415515人と4%増加し、2025年の人口が414317人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の増加が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて10%程度の増加が予測される。

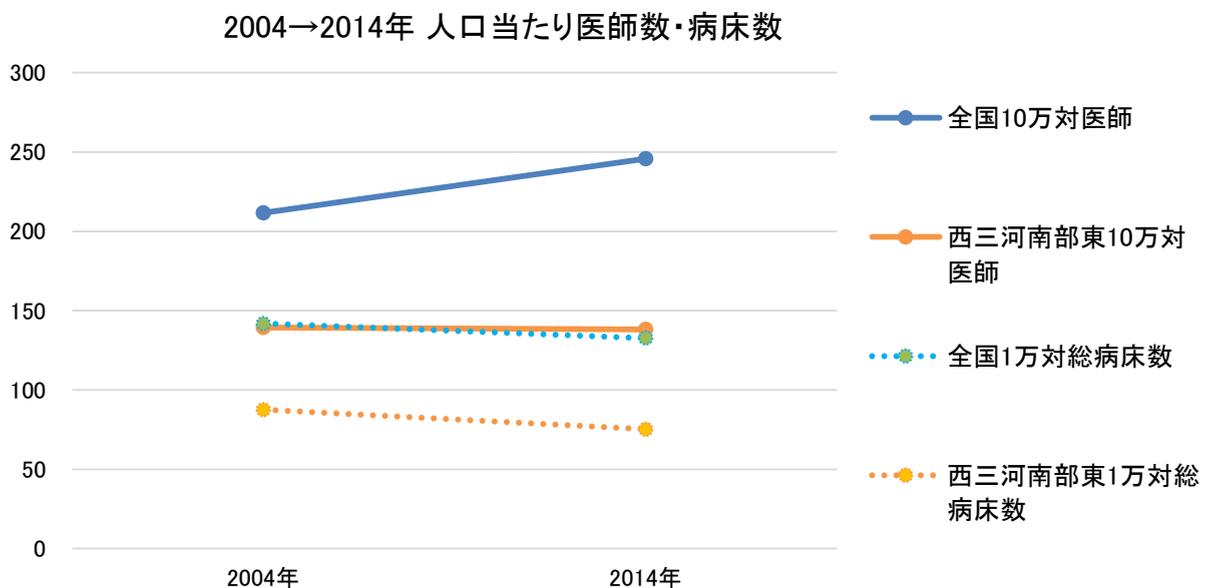
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が18(人口10万人当たり4.5病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に15(人口10万人当たり3.6病院(全国平均6.7)偏差値42)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が232(人口10万人当たり58診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2014年に251(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、19診療所が増加した。

2004年の総病床数が3494床(人口1万人当たり87(全国平均142)偏差値40)であったが、2014年に3124床(人口1万人当たり75(全国平均133)偏差値40)と、370床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

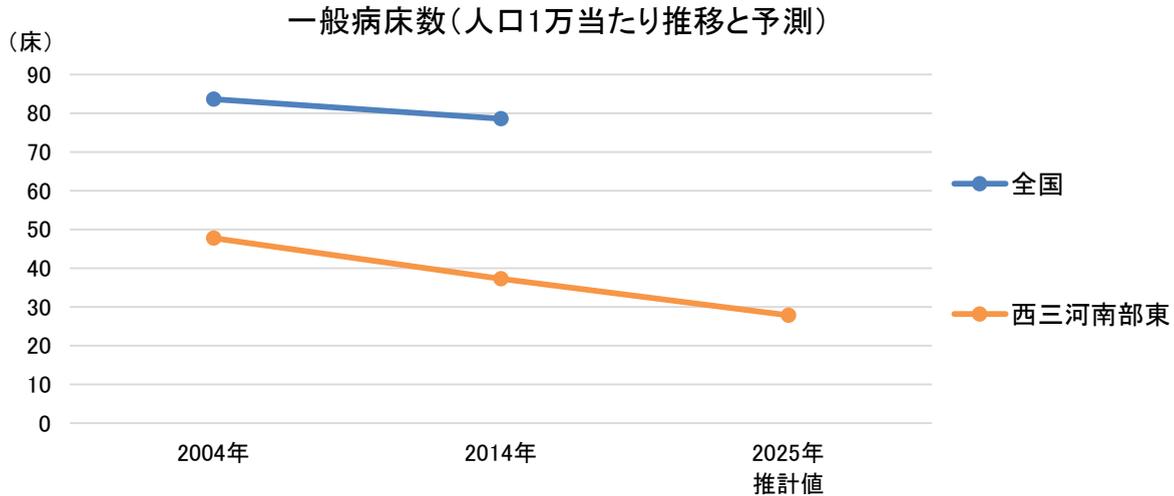
2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が557人(人口10万人当たり139人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に574人(人口10万人当たり138人(全国平均246人)偏差値39)と、17人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



## 23. 愛知県（2016年版）

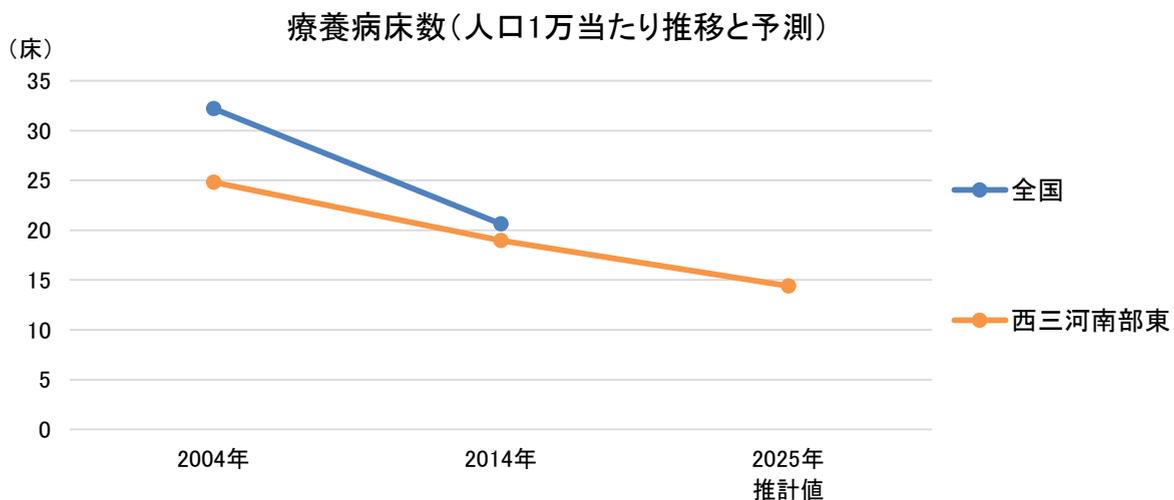
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1907床(人口1万人当たり48(全国平均84)偏差値37)であったが、2014年に1548床(人口1万人当たり37(全国平均79)偏差値35)と、359床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1153床(2025年の推計人口1万人当たり28)になることが予想される。



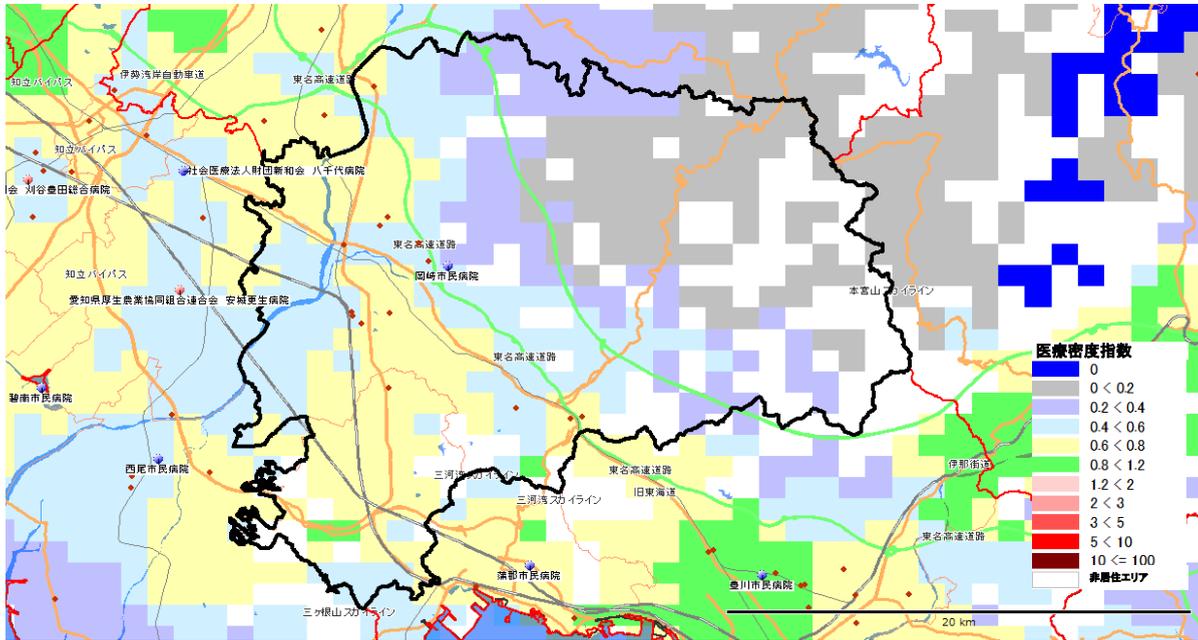
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が660床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に749床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、89床の増加、率にして13%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には847床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

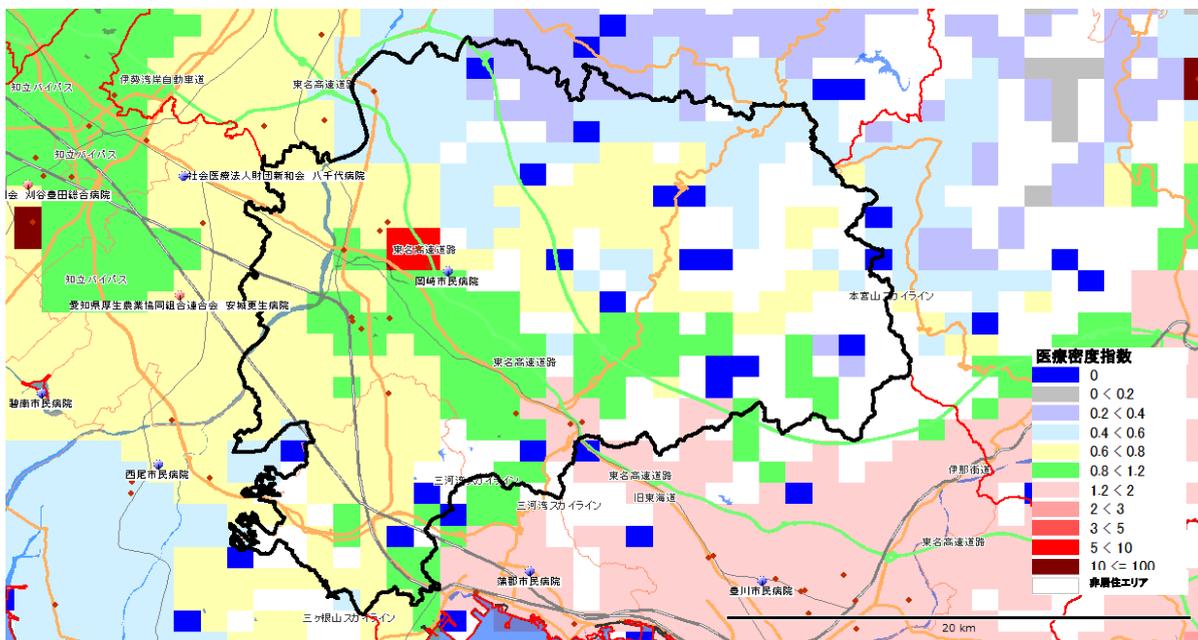


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-10-1 急性期医療密度指数マップ



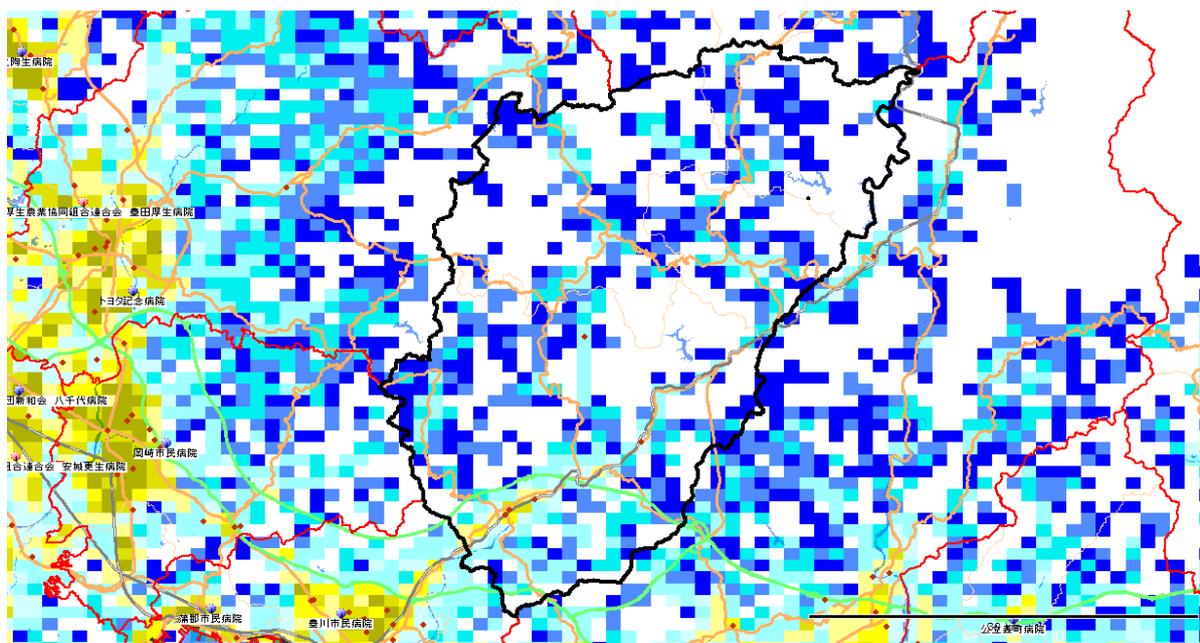
図表23-10-2 慢性期医療密度指数マップ



ひがしみかわほくぶ  
**23-11. 東三河北部医療圏**

構成市区町村<sup>10</sup> [新城市](#) [設楽町](#) [東栄町](#) [豊根村](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## (東三河北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

## 【地域の概要】

\*人口、面積など： 東三河北部(新城市)は、総人口約57千人(2015年推計)、面積1052km<sup>2</sup>、人口密度は54人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 東三河北部の総人口は2025年に50千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に40千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて12千人へと増加し(2015年比+9%)、2040年には11千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 東三河北部の一人当たり医療費(国保)は304千円(偏差値47)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

## 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 東三河北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は1.5で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

\*医師・看護師の現状： 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が38(病院医師数38、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は32と非常に少ない。東三河北部には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は54と療養病床数はやや多い。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

\*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

## 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 東三河北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1021人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が706床(偏差値53)、高齢者住宅等が315床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、757人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設73、有料老人ホーム41、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム61、サ高住40である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、66人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

\*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は+6%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

## 2. 推移と将来推計

## 【人口と医療需要】

東三河北部医療圏の総人口は、2005年64348人が、2015年に57144人と11%減少し、2025年の人口が50004人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

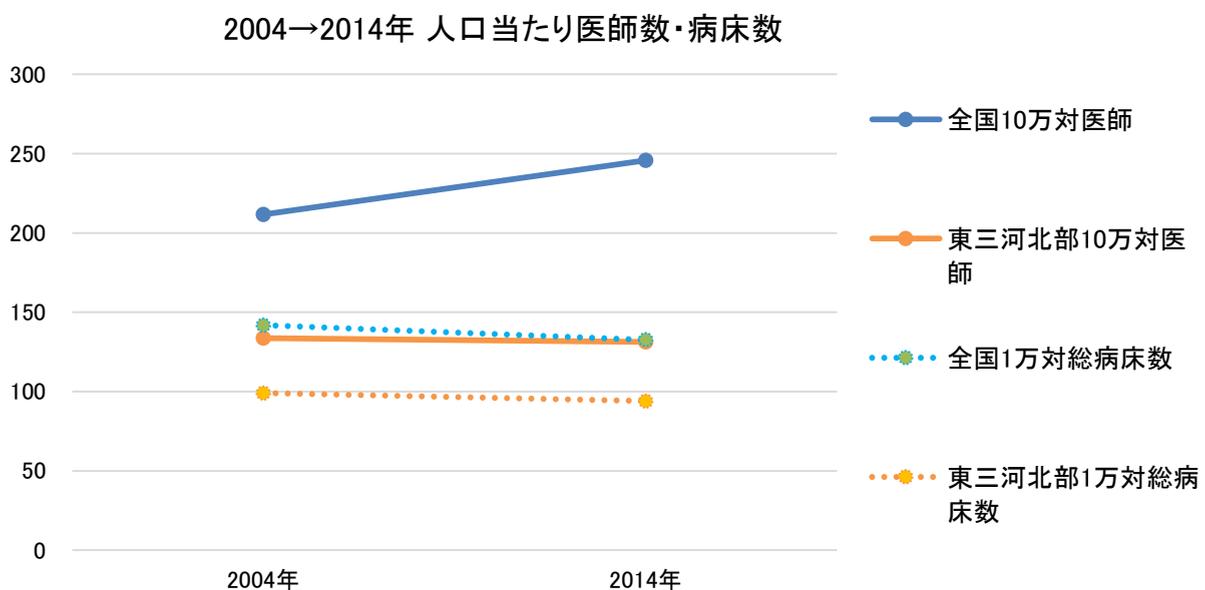
## 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に6(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が54(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に49(人口10万人当たり86診療所(全国平均79)偏差値53)と、5診療所が減少した。

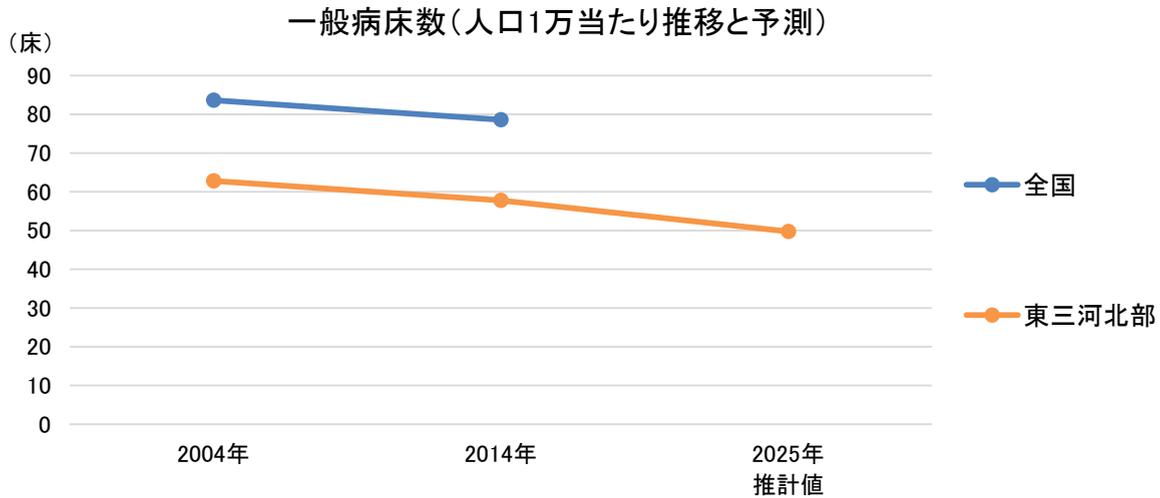
2004年の総病床数が637床(人口1万人当たり99(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に537床(人口1万人当たり94(全国平均133)偏差値43)と、100床の減少、率にして16%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が86人(人口10万人当たり134人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2014年に75人(人口10万人当たり131人(全国平均246人)偏差値38)と、11人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



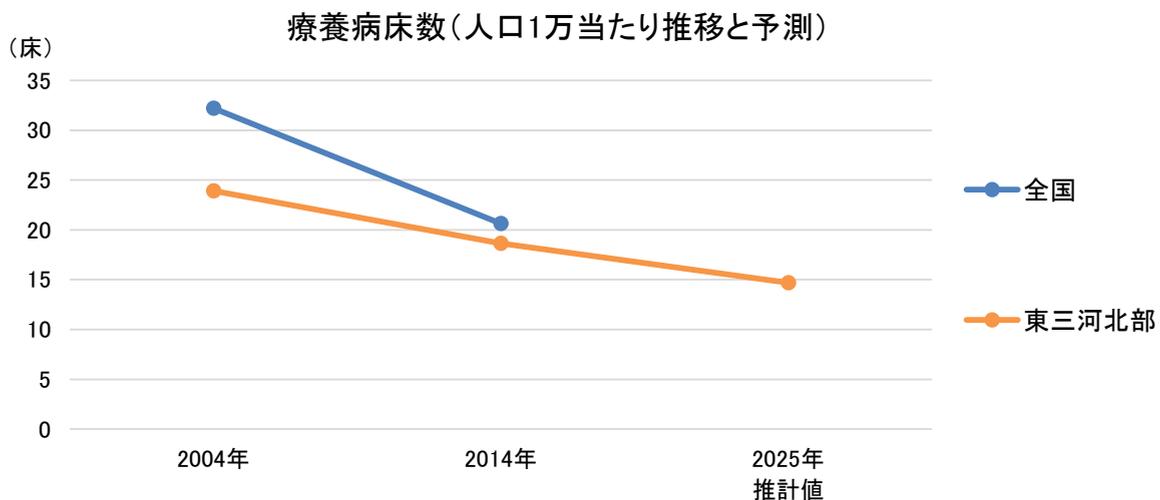
### 【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が404床(人口1万人当たり63(全国平均84)偏差値43)であったが、2014年に330床(人口1万人当たり58(全国平均79)偏差値42)と、74床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には249床(2025年の推計人口1万人当たり50)になることが予想される。



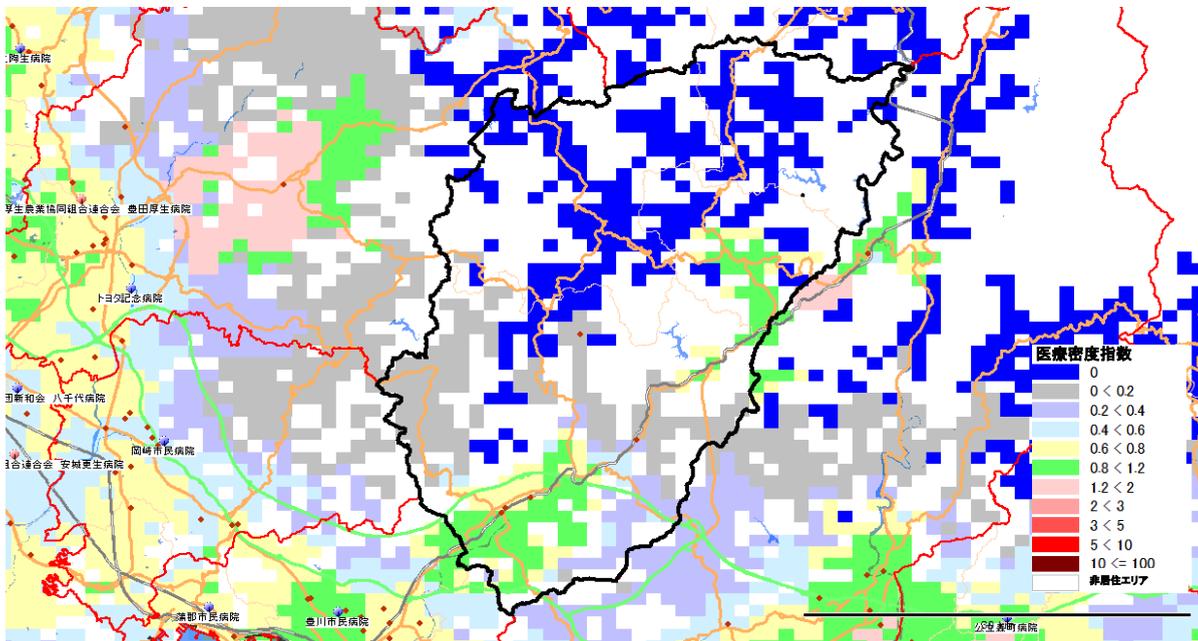
### 【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が233床(75歳以上1000人当たり24(全国平均32)偏差値45)であったが、2014年に207床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値48)と、26床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には178床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

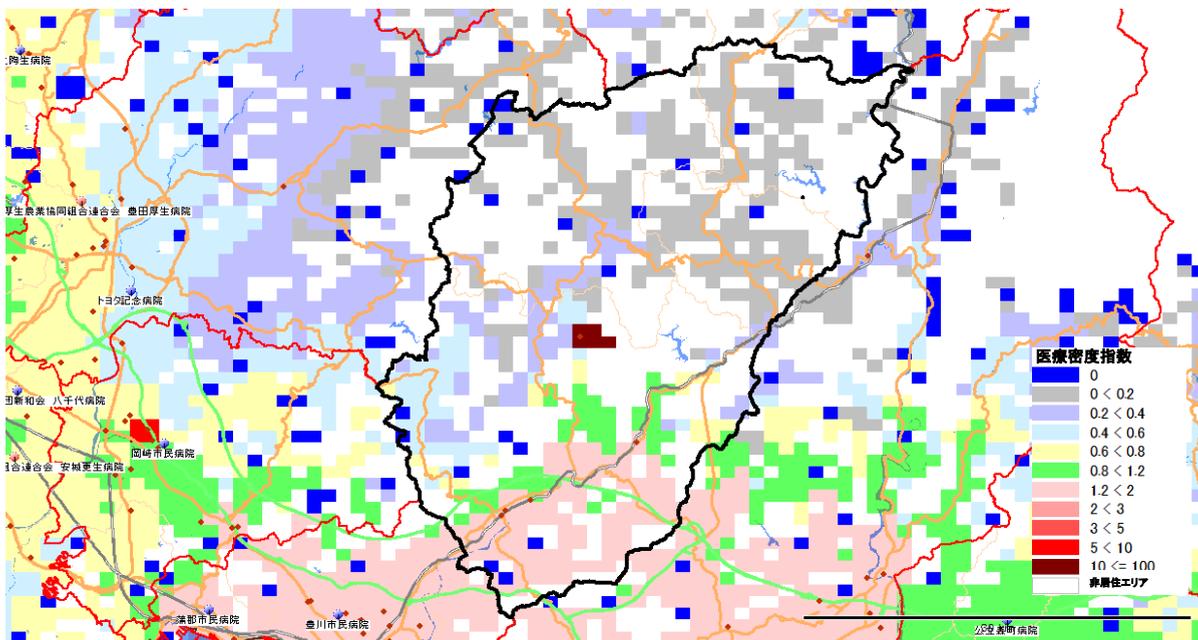


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-11-1 急性期医療密度指数マップ



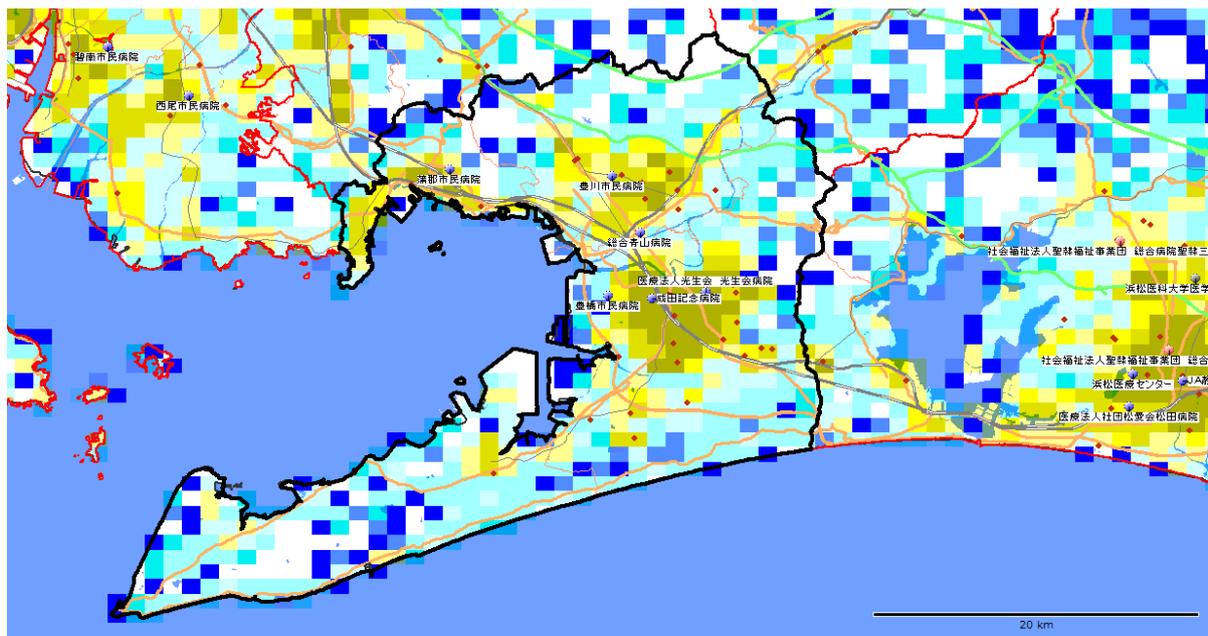
図表23-11-2 慢性期医療密度指数マップ



ひがしみかわなんぶ  
**23-12. 東三河南部医療圏**

構成市区町村<sup>10</sup> [豊橋市](#)      [豊川市](#)      [蒲郡市](#)      [田原市](#)

人口分布<sup>1</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

## （東三河南部医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 東三河南部（豊橋市）は、総人口約701千人（2015年推計）、面積668km<sup>2</sup>、人口密度は1049人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 東三河南部の総人口は2025年に676千人へと減少し（2015年比-4%）、2040年に614千人へと減少する（2025年比-9%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の81千人が、2025年にかけて112千人へと増加し（2015年比+38%）、2040年には116千人へと増加する（2025年比+4%）ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 東三河南部の一人当たり医療費（国保）は281千円（偏差値41）、介護給付費は214千円（偏差値39）であり、医療費、介護給付費ともに低い。

### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 東三河南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.73、一人当たり慢性期医療密度指数<sup>2</sup>は0.65で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数<sup>3</sup>の偏差値が42（病院医師数42、診療所医師数44）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は40で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。東三河南部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の豊橋市民病院（Ⅱ群・救命）、1000例以上の豊川市民病院（Ⅲ群）、500例以上の成田記念病院（Ⅲ群）がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 東三河南部の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、6425人（75歳以上1000人当たりの偏差値38）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4325床（偏差値45）、高齢者住宅等が2100床（偏差値41）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、5368人（75歳以上1000人当たりの偏差値41）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設59、有料老人ホーム42、軽費ホーム52、グループホーム47、サ高住44である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値46とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値43と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員（在宅）の合計は、644人（75歳以上1000人当たりの偏差値40）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

**\*介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数<sup>4</sup>は-65%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

## 2. 推移と将来推計

### 【人口と医療需要】

東三河南部医療圏の総人口は、2005年702421人が、2015年に700585人と1%未満減少し、2025年の人口が676191人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に13%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

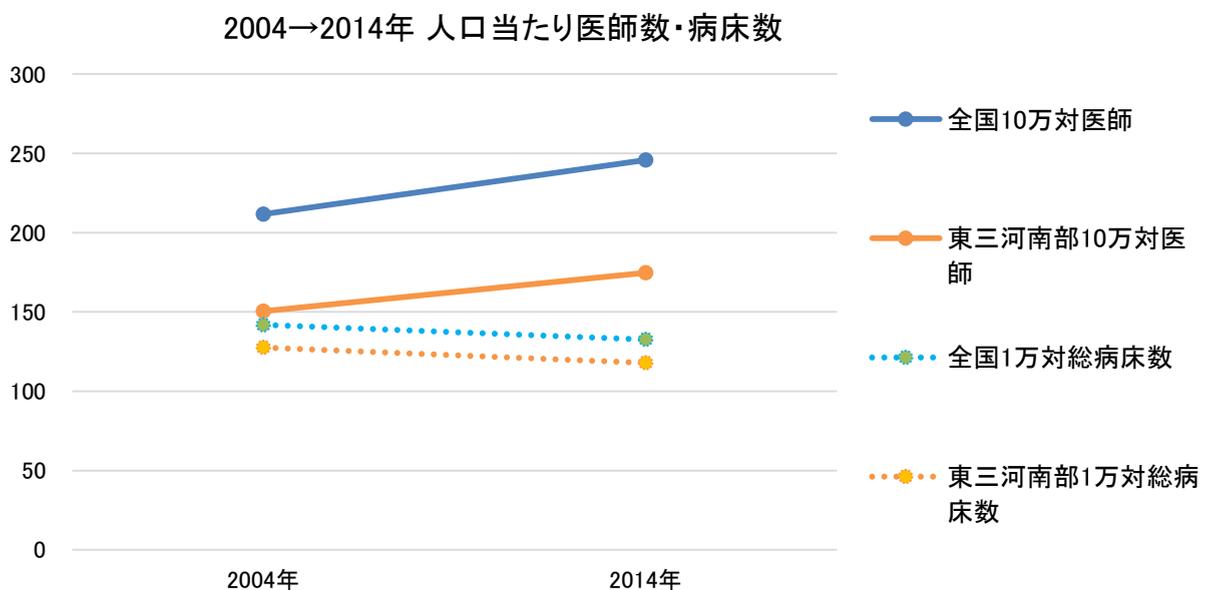
### 【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が42(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に35(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が443(人口10万人当たり63診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2014年に455(人口10万人当たり65診療所(全国平均79)偏差値43)と、12診療所が増加した。

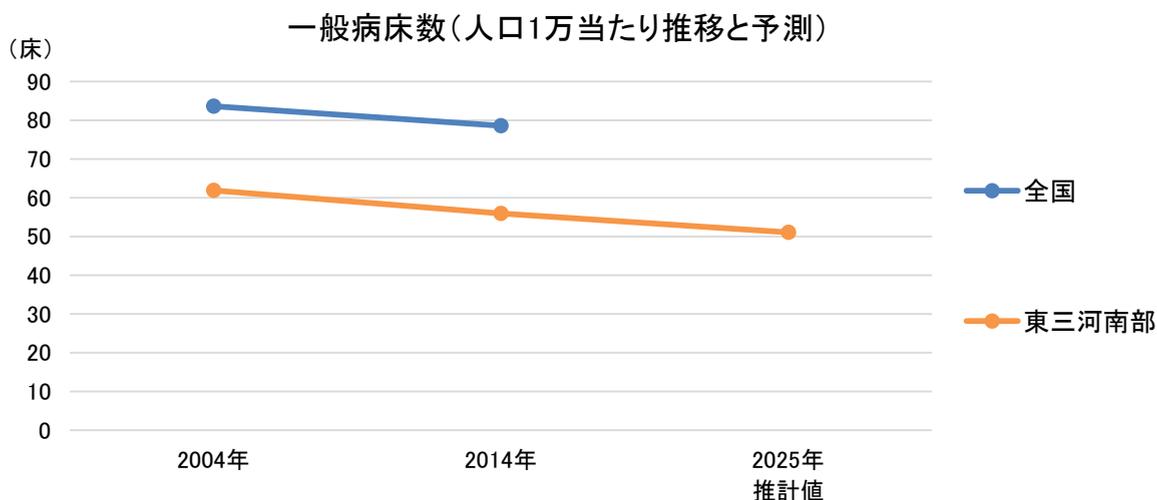
2004年の総病床数が8965床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に8262床(人口1万人当たり118(全国平均133)偏差値47)と、703床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数<sup>3</sup>が1057人(人口10万人当たり150人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に1224人(人口10万人当たり175人(全国平均246人)偏差値43)と、167人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



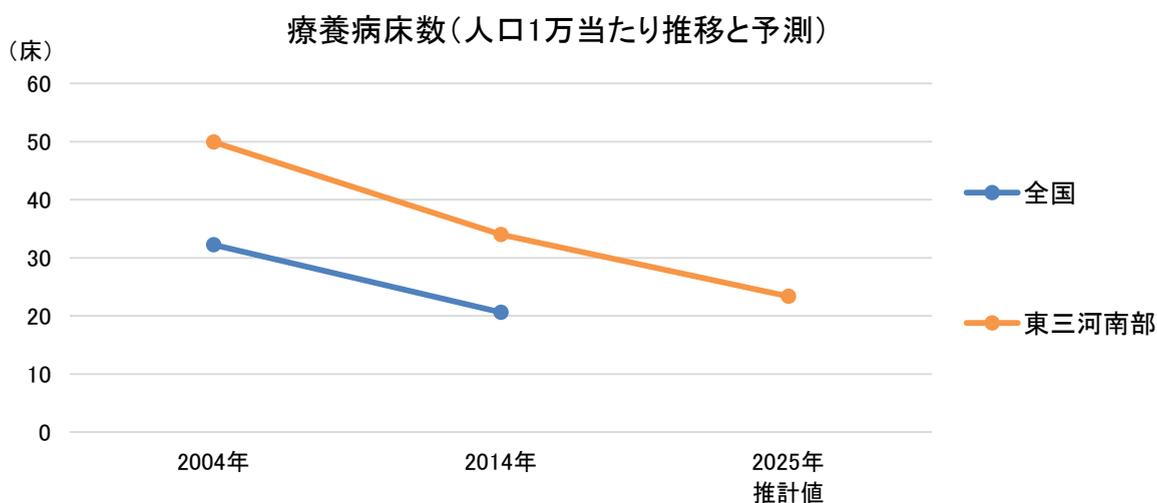
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4347床(人口1万人当たり62(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に3923床(人口1万人当たり56(全国平均79)偏差値42)と、424床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3457床(2025年の推計人口1万人当たり51)になることが予想される。



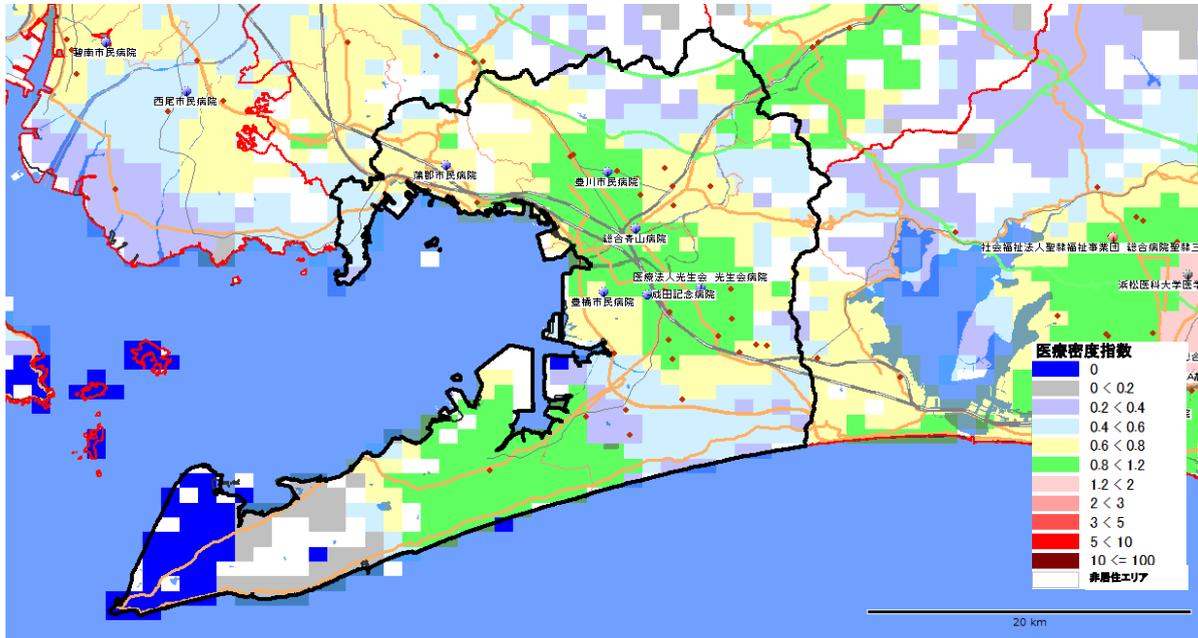
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2873床(75歳以上1000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2014年に2748床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値62)と、125床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2611床(2025年の推計75歳以上1000人当たり23)になることが予想される。

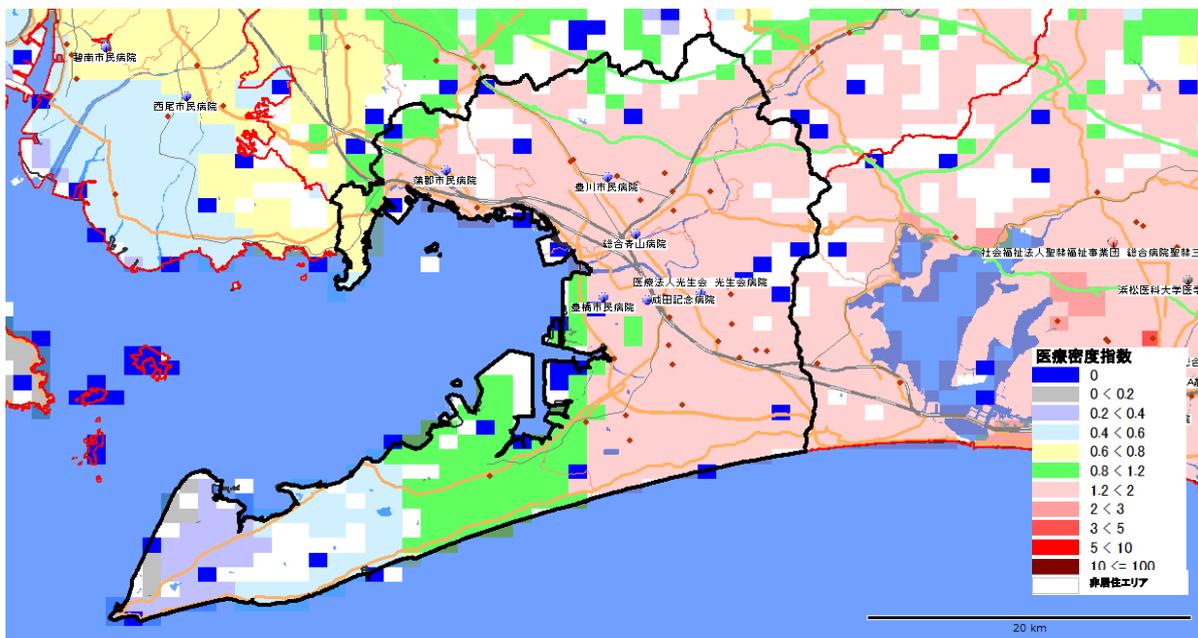


3. 医療密度<sup>5</sup>

図表23-12-1 急性期医療密度指数マップ



図表23-12-2 慢性期医療密度指数マップ



## 23. 愛知県（2016年版）

### 注

<sup>1</sup>1km<sup>2</sup>区画（1km<sup>2</sup>メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km<sup>2</sup>以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km<sup>2</sup>）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km<sup>2</sup>未満）。白色は非居住地。  
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

<sup>3</sup>【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

<sup>6</sup>日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

<sup>7</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

<sup>8</sup>近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

<sup>9</sup>市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

<sup>10</sup>日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。